



研修プログラムガイド 2012



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク



研修プログラムガイド2012の発刊にあたって

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）」は、平成20年度文部科学省戦略的・大学連携支援事業の採択を機に設立されました。平成22年度に3年間の補助金事業を終了し、平成23年度からは全SPOD加盟校である33校からの分担金による自主運営体制に切り替わり、地方にある国公立大学、短期大学及び高等専門学校が連携しながら自立の方向性を目指す、実質的で先進的な取組が開始しました。

本ガイドブックは、SPODネットワーク内で開催され、かつ加盟校が参加可能なすべてのFD/SDプログラムを掲載するものです。平成21年度より毎年作成され、加盟校の全教職員約8,000名に配布しています。ここに掲載されているプログラムは、授業改善のためのスキルから、カリキュラム改善、組織改善に関するものまで多彩な内容であり、各加盟校の抱える実状や教職員のニーズに応じて受講できるものとなっています。昨年度より、新規事業としてSPOD内講師派遣プログラムがスタートし、「様々な授業改善の技法」や「大学職員のための企画力養成講座」等、23のプログラムが実施され、654名が受講しました。SPOD内講師派遣プログラムは、SPOD内の大学から加盟校に無料で研修講師を派遣する取組で、この取組によりさらに多くの教職員の方に参加していただくことが可能となりました。このような取組の結果、昨年度、SPODが提供したプログラム受講者数は延べ2,000人となりました。前年度を上回る参加を得られたことは、本事業に対する皆さまのご協力あつてのことです。SPODを代表して改めて御礼申し上げます。

こうしたSPODの取組は大学間連携の好例として全国的にも注目を集めており、これからも全国の高等教育機関の教育力向上を図ることができれば幸いです。

今後とも加盟校の皆様には、引き続きご協力・ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会長
愛媛大学長 柳澤康信

研修プログラムガイド2012目次

SPODについて	4	FD/SDプログラム(教職員対象)	41
日程別プログラム一覧	10	講義のための話し方入門	42
開催大学別プログラム一覧	12	大人数講義法の基本	42
テーマ別プログラム一覧	14	大人数講義法の基本(遠隔配信プログラム)	43
SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧	16	ルーブリック評価入門ーブレない・速い・楽チン成績評価のスズメー	43
研修プログラム		New!! 学生を眠らせない講義法のコツ	44
FDプログラム(教員対象)	17	New!! 動機を高める第1回目の授業づくり	44
教育力開発基礎プログラム	18	New!! 動機を高め記憶に残る講義法ー動機と記憶の理論ー	45
新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	19	Adobe Premiere Elementsを使った動画教材作成法	45
愛媛大学授業デザインワークショップ	20	パワーポイント2010基本技・便利技	46
学生の学びを支援する授業準備ワークショップ(新任教員FDワークショップ)	21	New!! 学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	46
学生の学びを促すシラバスの書き方	22	New!! 学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	47
学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	22	New!! 学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	47
グラフィック・シラバスの作成方法	23	New!! 学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	48
学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方	23	New!! 学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	48
New!! 基礎から学ぶ学習評価法	24	New!! 学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	49
New!! 学生の能力を高める評価の方法	24	New!! 学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	49
成績評価とフィードバックー評価の原則からルーブリック評価までー	25	New!! 高専生を元気にする学生指導法のコツ	50
大人数講義を魅力的にするテクニック	25	障がい学生に対応した授業方法入門編	50
大人数講義を魅力的にするテクニック	26	New!! 教育系競争的資金獲得のための申請書作成ワークショップ	51
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方ー「レポートの書き方」の教え方ー	26	New!! 学習成果をどう測定し、活用するか?	51
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方ー「プレゼンテーションの方法」の教え方ー	27	FD・SDセミナー	52
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方ー「日本語技法」の教え方①ー	27	メンタルヘルス研修	52
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方ー「日本語技法」の教え方②ー	28	人権啓発研修	53
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方ー「情報整理の方法」の教え方ー	28	高等教育機関における安全衛生	53
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方ー協同学習の基本(入門編)ー	29	FDe養成プログラム	
New!! 初年次教育の構成と実践:カスタマイズをどのようにするか	29	(ファカルティ・ディベロッパー対象)	55
教室の雰囲気を変えるクラスルーム・コントロール術	30	FDファシリテーター(FD担当者)養成研修	56
効果的なグループワークの技法	30	SDプログラム(職員対象)	57
New!! グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法ー教員も学生も楽しい授業にするためにー	31	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)	58
New!! グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法ー教員も学生も楽しい授業にするためにー	31	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)	60
New!! 学生の参加を促す授業方法	32	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅢ)	61
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザインー考え方と進め方ー	32	New!! 学務系職員プログラム研修(レベルⅡ)	62
New!! アクティブラーニングー学生参加型授業の作り方ー	33	次世代リーダー養成プログラム	63
初年次科目のためのグループワークの技法	33	高等教育トップリーダーセミナー	65
能動的学習支援者必須!グループワークのためのファシリテーション入門	34	大学職員のための企画力養成講座	65
クリッカーで教育・研究が変わる!	34	大学職員のための企画力養成講座	66
Eラーニング入門	35	講師養成研修	67
自習を助ける教材を創る・発信するためのPowerPoint&Moodle入門	35	プレFDプログラム(大学院生対象)	69
ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ(東四国対象)	36	教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ	70
ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ(西四国対象)	36	New!! ファシリテーション力養成道場	71
高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	37	総合プログラム	73
New!! 授業アンケートを見直しませんか?ーアンケートの効果的実施と活用方法ー	38	大学教育カンファレンスin徳島	74
New!! 授業アンケートを見直しませんか?ーアンケートの効果的実施と活用方法ー	38	愛媛大学教育改革シンポジウム	75
New!! マンネリ化しない公開授業の秘訣ー公開授業の効果的実施方法ー	39	SPODフォーラム2012	76
New!! マンネリ化しない公開授業の秘訣ー公開授業の効果的実施方法ー	39	学内向け研修プログラム	77
New!! 教育の質保証とIR(インスティテューショナル・リサーチ)	40	各種研修プログラムの お申し込み・お問い合わせについて	83

研修プログラムガイド利用の手引き

〈検索方法について〉

本ガイドブックは、教職員の皆様に、様々なニーズから研修プログラムを探していただくために下記の3つの検索方法があります。

○日程別プログラム一覧 p.10 ~ 11

各研修プログラムを、日程順に掲載しています。日程から研修プログラムを検索したい場合に便利です。また、開催大学や内容（教員対象か職員対象かなど）についてもあわせて掲載しておりますので、ご参照ください。

○開催大学別プログラム一覧 p.12 ~ 13

各研修プログラムを、開催大学別に掲載しています。開催大学から研修プログラムを検索したい場合に便利です。なお、遠隔配信の欄にマークが付いているプログラムは、システムが整備されている加盟校への遠隔配信を予定しているものです。遠隔配信の申し込み方法については、p.86 をご参照ください。

○テーマ別プログラム一覧 p.14 ~ 15

各研修プログラムを、テーマ別に掲載しています。内容から研修プログラムを検索したい場合に便利です。なお、開催大学についてもあわせて掲載しておりますので、ご参照ください。

〈研修プログラムの表記について〉

申し込みの際に利用するプログラム番号です。

遠隔配信予定プログラムです。

プログラムの内容を表しています。

プログラムに関連する参考資料や写真を掲載しています。

申し込み方法については、86ページをご参照ください。

開催（もしくは開催大学）を表しています。

プログラム番号 1-019

研究室運営方法のコツ—先輩が後輩を指導するシステムづくり

遠隔 **FD/SD**

対象校
研究室の運営に関わる教職員
*対象校
SPOD加盟校

目標
右記参照

講師
城間祥子, 山内一祥, 大竹奈津子 (愛媛大学教育企画室)

日時
9月17日(金)13:00~15:00

場所
秋ノ葉1階 アクティブ ラーニングスペース2

受講定員
30名

主催
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

予約
開講日2週間前、先着順

申込先・問合せ
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標*
1. 研究室のルールを作ることができる。
2. 研究室内で先輩が後輩を指導するシステムを作ることができる。

内容*
1. 〈ワーク〉研究室運営に関する問題点の共有
2. 研究室教育をとりまく状況
(1) 中教審答申「新時代の大学院教育」
(2) なぜ研究室教育はうまく機能しなくなったのか
3. 研究室教育は必要ないのか?
(1) 工学系卒業業者への調査から
(2) 愛媛大学大学院教育WG報告書
4. ケーススタディ
5. 研究室への参加を促す仕組み
(1) 新しいメンバーがスムーズに研究室に入れるようにするには
(2) ルール作りのコツ
6. 先輩が後輩の面倒を見るシステムづくり
7. 〈ワーク〉研究室のルール作成

参考資料

4 ケーススタディ ~とある研究室の一年~

前編
・ 新学連ミーティング
・ 新入生歓迎会
・ 中教審答申
・ 夏の大掃除+境内バーベキュー
・ 秋祭実行
・ いんぷろ
・ 卒業ゼミ発表+臨場練習
・ 卒業会
・ 卒業生壮行会

後編
・ 空熟生のメンターを決定
・ 月1で研究室掃除
・ 月1で研究室掃除
・ 卒業会
・ 卒業生壮行会

夕暮やお茶は別席

〈注〉各研修プログラムの日時、講師等の詳細が未定の箇所につきましては、問い合わせ先にご確認ください。また、プログラムの詳しい内容が決まり次第、SPODホームページ (<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>) に掲載していきますので、ご参照ください。

SPOD (四国地区大学教職員能力開発ネットワーク) について

◇概要

四国地区大学教職員能力開発ネットワークは、FD／SD事業のネットワークであり、平成20年度の文部科学省戦略的・大学連携支援事業としてスタートし、現在、四国地区にある33の全ての高等教育機関が加盟するネットワークへと成長しています。

四国地区大学教職員能力開発ネットワークは、「Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education」の頭文字をとって「SPOD」と呼ばれています。

◇目標

SPODの全加盟校が連携してネットワーク事業を展開し、FDとSDという2つの事業の効率化、高度化、実質化を行うことで、教育の質の保証を図り、学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的な力量をもった高等教育のプロフェッショナルの輩出を目指しています。



◇運営体制

SPODは、安定した運営体制に特徴があります。徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学の4大学をネットワークコア校とし、FD/S D/事務担当者が月に1回程度集まり、ネットワークコア運営協議会を開催し、教職協働で事業の実施、運営上の諸課題を協議しています。このことが、ネットワークコア校間の教職員の関係を密にし、事業の推進力となっています。ネットワークコア校は、各県内加盟校のとりまとめや、県内加盟校会議を通じての情報提供のほか、各加盟校に対して、各種プログラムを提供し、プログラムに対する意見収集や、ニーズ把握調査の実施により、SPOD加盟校全体のニーズに対応できるよう日々プログラムの見直しを行っています。また、ネットワークコア校のFD/S D担当者が直接、加盟校を訪問する研修講師派遣事業も行っています。

さらに、全加盟校へ本事業の情報を提供するため、ホームページ上への研修講師プロフィールの掲載や研修資料の提供、定期的なメールマガジンの配信を行っています。

SPODでは、取組をよりよいものに改善していくため、外部の有識者3名を含む5名で構成される事業評価委員会を設置しています。事業評価委員会では、毎年、SPODが作成した活動報告書をもとに、書面により事業評価を行っています。その評価結果をもとに、事業の改善や推進を行っています。

◇取組内容

(FD)

1. 全学的なFDの実践的指導者であるFDer（ファカルティ・ディベロッパー）を養成するための体系的プログラムの開発、実施
2. 教員としてのキャリアパスの早い段階において、基礎的な内容を学習できるように新任教員、大学院生、ポスドク向け標準的FD・ブレFDプログラムの開発、実施
※特に、新任教員を対象とする研修の標準化を目指し取組に力を入れています。
3. 各種FDプログラムの体系化・標準化に向けた開発、実施
4. 教員の教育業績記録を可視化するためのティーチング・ポートフォリオの開発
※1～3の取組を進めるにあたり、国立教育政策研究所高等教育研究部での研究成果を積極的に活用し、SPOD内のみならず、日本全国のモデルになるようプログラム開発を推進しています。また4は、大学評価・学位授与機構と連携しながら取組を推進しています。

(SD)

1. 階層別、専門分野別のSDプログラムの開発、実施
 - a) 経営者、管理者養成プログラムの開発、実施
 - b) 専門職養成プログラムの開発、実施
 - c) 次世代リーダー養成プログラムの開発、実施
2. 職員の職歴や業績を可視化するためのスタッフ・ポートフォリオ（職員業績記録）の開発
3. 1と2の取組を実質化するための職員キャリアアップサポートの実施
具体的には、開発したスタッフ・ポートフォリオを活用しながら、キャリアアップ支援の実施や、国公私を通じた職員人事交流などを実施していきます。

(SPODフォーラム) ※p.76参照

SPODが、大学・高専の教職員自らの能力開発のために、多種多様で質の高いFD/S Dプログラムを集中的に実施し、組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場として毎年夏期4日間にわたり提供しているイベントで、本事業の目玉企画です。

SPOD-FDについて

【SPOD-FDの定義】

SPODにおけるFDは、教育・学習効果を最大限に高めることを目指した、

(1)授業改善、(2)カリキュラム改善、(3)組織整備・改革 への組織的な取組の総称です。

(1) 授業改善 (Instructional Development)

個々の授業をより良いものにするための取組です。具体的には、授業評価アンケート、教員相互の授業参観、授業コンサルテーション、教授法に関する講演会、シンポジウム、ワークショップ、セミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

・新任教員研修 ・各種スキルアップ系研修 ・各種公開セミナー

〈各大学での取組例〉

・教員相互の授業参観、授業講評会 ・学生による授業評価アンケート
・各種セミナー ・学生との意見交換会

(2) カリキュラム改善 (Curriculum Development)

学部、学科、課程、コース等において提供されるカリキュラムや教育プログラムをより良いものにするための取組です。具体的には、カリキュラム・ポリシーの制定、授業科目の新設・改廃、授業科目間の関連性の検討、カリキュラムの現状診断・評価・開発、またこれらに関わるセミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

・ファカルティ・ディベロッパー*養成研修、FDファシリテーター養成研修
・カリキュラム改善に関するセミナー

〈各大学での取組例〉

・カリキュラム・ポリシー制定に関する学内FD研修会
・カリキュラム・ポリシーに対応した各授業科目の授業内容の検討
・カリキュラム・マップの作成 ・副専攻制導入の検討

(3) 組織の整備・改革 (Organizational Development)

教育・学生支援に関わる組織の構造や組織間の関係をより機能的なものにするための取組です。具体的には、教育・学生支援に関わる委員会の設置・改廃、各委員会の役割の検討、組織の現状診断・評価・再編、組織間での連携協力、管理職等を対象とした各種研修会がこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

・ファカルティ・ディベロッパー*養成研修、FDファシリテーター養成研修

〈各大学での取組例〉

・SPODに関するFD実施体制の構築
・FD委員会等組織の見直し
・学科・コースの再編及びそれに伴う教員の再配置
・教育重点型教員の配置

(1)、(2)においては、組織レベルのみならず教員個人レベルにおける取組も重要です。そして、(1)、(2)、(3)いずれにおいても、常にPDCAサイクルを意識して、持続的に改善を図る姿勢が肝要であると考えます。

*ファカルティー・ディベロッパー (FDer) とは、FDの責任者として、各種研修プログラムの企画・実施や各教員への教育技術の支援を行う専門家です。教育技術のみならず、カリキュラムの改善や組織整備等も担います。高等教育センター等に所属しますが、学部にも所属している教員が、兼任でその役割を担うことも多くあります。

【SPOD-FDプログラムのレベルについて】

国立教育政策研究所が開発したFDマップを利用して、本ガイドブックに掲載されているSPOD-FDプログラムのレベル分類をおこなっています。FDマップとは、FDプログラムを体系的に整理できる枠組です(図参照)。FDマップでは、横軸にFDプログラムを実施する対象を示し、「ミクロ・レベル (授業・教授法の開発)」「ミドル・レベル (カリキュラム・プログラム開発)」「マクロ・レベル (組織の教育環境・教育制度の開発)」に分類しています。そして縦軸にFDを実施する対象者の能力開発の段階を示し、「Ⅰ. 導入 (気づく・わかる)」「Ⅱ. 基本 (実践できる)」「Ⅲ. 応用 (開発・報告できる)」「Ⅳ. 支援 (教えられる)」と4つのフェーズに分かれています。

本ガイドブック「テーマ別索引」(p.14)に、各プログラムのレベルとフェーズを提示しておりますのでご参照ください。

フェーズ \ レベル	ミクロ 個々の教員 授業・教授法	ミドル 教務委員 カリキュラム・ プログラム	マクロ 管理者 組織の教育環境・ 教育制度
Ⅰ. 導入 (気づく・わかる)			
Ⅱ. 基本 (実践できる)			
Ⅲ. 応用 (開発・報告できる)			
Ⅳ. 支援 (教えられる)			

図. FDマップのフレームワーク

参考・引用文献

国立教育政策研究所 FDer研究会「大学・短大でFDに携わる人のためのFDマップと利用ガイドライン」国立教育政策研究所, 2009

SPOD-SDについて

(1) SPOD-SDの定義

SPOD-SDとは、地域の「知の拠点」である四国内の大学等の職員が組織的に共同開発した職員養成プログラムにより、『大学、短期大学、高等専門学校ジェネラリストとしての広汎な素養に加え、スペシャリストとして特定の分野における能力開発を行うことにより、高等教育のプロフェッショナルを育成する』取組を指す。このSPOD-SDにおける職員養成プログラムをSPOD-SDプログラムという。

学士課程答申では、大学職員の職能開発について現状と課題を整理し、改善に向けた方策を示しています。SPOD-SDにおいては、この現状と課題を踏まえ、大学等の職員として一般的に求められる大学人・社会人基礎力及び大学等における複数の業務領域での知見（総務、財務、人事、企画、教務、研究、社会連携、生涯学習など）を持ち、大学等における問題に関する知識・理解などを備えたジェネラリストの育成に加え、教育方法の改革の実践を支える人材、経営を支援する人材、国際交流を支援する人材及び地域連携を支援する人材など、特定の分野において、より高度な専門性を備えたスペシャリストの育成を目指しています。

また、SPOD-SDでは、大学等の職員に必要な資質とは、ジェネラリスト的な要素とスペシャリスト的な要素を統合したハイブリッドな要素を備えることであり、これが、高等教育のプロフェッショナルの養成につながると考えております。このため、SPOD-SDの定義を「大学等のジェネラリストとしての広汎な素養に加え、スペシャリストとして特定の分野における能力開発を行うことにより、高等教育のプロフェッショナルを育成する」こととしました。

(2) SPOD-SDプログラムの開発

高等教育機関の職員は、大学人として社会人基礎力を持ち、高等教育を取り巻く環境や職員の果たすべき役割を的確に把握し、企画立案等に積極的に参画できる資質が求められています。このためSPOD-SDプログラムでは、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組を可視化し、職場外研修（OFF-JT）及び職場内研修（OJT）を「意図的・計画的・持続的」に実施することにより、職員の能力開発の実質化を図ります。

なお、SPOD-SDプログラム等の開発・実施は、全加盟校による協働を目指しています。各県のコア校が中心となり、1) 職員がSDプログラム開発手法を学び、2) その上で、具体的なSDプログラムを開発し、3) 開発されたSDプログラムを実施し、4) 実施したSDプログラムの評価・改善を行います。

(3) SPOD-SDプログラムの構成

SPOD-SDプログラムは次の3つの柱で構成されています。

1) SPOD-SD大学（OFF-JT）

SPODにおける職員養成プログラムは、その養成プログラム全体を大学における課程の履修と想定しています。そのカリキュラムは共通教育、専門教育及び大学院における履修方式をとることとし、その課程認定については、認定必要単位を設定しています。

具体的には、SPOD-SD大学としてSDプログラムの単位認定制度を図のように構想しています。専門職養成課程として共通教育と専門教育の各プログラムを構築し、リーダー養成課程として次世代リーダー養成プログラム及び管理者・経営者養成プログラムを構築しました。

1. 専門職養成課程

大学職員の専門性を育成するSDプログラムを学士、修士、博士課程として位置づける。そのため、各専門領域を学部や研究科として位置づける。

	専門教育 (専門職養成プログラム)	共通教育 (基礎力養成プログラム)
学士課程 レベル1 専門〇〇単位 共通〇〇単位	学務学部(研究科) 研究協力学部(研究科) 総務学部(研究科) 財務学部(研究科) 施設学部(研究科) 図書学部(研究科) 国際交流学部(研究科) 情報処理学部(研究科) 医事学部(研究科)	大学人・社会人としての基礎力を養成するための共通研修科目
修士課程(専門) レベル2 専門〇〇単位 共通〇〇単位		
博士課程(専門) レベル3 専門〇〇単位 共通〇〇単位		

2. リーダー養成課程

大学のミドルリーダー、トップリーダーに必要な知識・技術・姿勢を育成するSDプログラムを修士、博士課程として位置づける。なお、修士課程(リーダー)を受講する際は、修士課程(専門)以上のプログラムを受講中または修了していることを原則とする。

修士課程(リーダー) 〇〇単位	次世代リーダー養成プログラム
博士課程(リーダー) 〇〇単位	経営者・管理者養成プログラム(高等教育トップリーダーセミナー)

図. SPOD – SD 大学構想図

さらに、SPOD – SDプログラムにより知識・能力を身につけた職員自らが、次のSPOD – SDプログラムの講師となり、次世代の職員を育成していくというサイクルを確立することで、SPOD – SDの取り組みを継続的に実施していくことが可能となります。

2) スタッフ・ポートフォリオ(職員業績記録)の作成(OJT)

職員個々人のキャリア形成に向けて、スタッフ・ポートフォリオ(職員業績記録)を作成します。これにより、大学等職員としての自己認識と方向性を明確にします。スタッフ・ポートフォリオの導入に当たっては、職員のキャリア・アップの参考となるものとします。

3) 職員キャリア・アップ・サポート制度(OJT)

キャリア・アップ・サポートとして、スタッフ・ポートフォリオに掲げる職員としてのビジョン及びゴールの目標設定や目標達成に向けて、上司が部下に対して相談、助言等を行うメンター制度を導入します。これにより、大学等の組織と職員個人の方向性を近づけることが可能となります。さらに、キャリア・アップを目指す職員が他大学への人事交流を希望する場合等のSPOD加盟校間における連絡・調整など、人事交流を円滑に推進するなどのサポートも実施します。

SPOD – SDプログラムは、国内の大学等における本格的な職員養成プログラムとなることを目指しています。このため、四国内における大学等の協働だけでなく、国内の各関係機関や学会等とも連携し、教員と職員が協働して開発することが肝要であると考えます。

日程別プログラム一覧

日程	プログラム名	開催大学	内容	ページ
4月				
4月3日(火)	学生を眠らせない講義法のコツ	愛媛大学	FD/SD	p.44
4月3日(火)	教室の雰囲気を変えるクラスルーム・コントロール術	愛媛大学	FD	p.30
4月4日(水)	動機を高める第1回目の授業づくり	愛媛大学	FD/SD	p.44
4月4日(水)	学生の能力を高める評価の方法	愛媛大学	FD	p.24
5月				
5月8日(火)	クリッカーで教育・研究が変わる!	香川大学	FD	p.34
5月中旬	講師養成研修	愛媛大学	SD	p.67
6月				
6月7日(木)~6月8日(金)	大学人、社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	SD	p.61
6月9日(土)~10日(日)	FDファシリテーター(FD担当者)養成研修	徳島大学	FDer	p.56
6月15日(金)	効果的なグループワークの技法	徳島大学	FD*	p.30
6月21日(木)~23日(土)	次世代リーダー養成プログラム(第1回)	愛媛大学	SD	p.63
6月下旬	メンタルヘルス研修	愛媛大学	FD/SD	p.52
6月~7月	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	香川短期大学	FD/SD	p.47
7月				
7月7日(土)~8日(日)	第18回愛媛大学授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	p.20
7月13日(金)	大学職員のための企画力養成講座	鳴門教育大学	SD	p.65
7月19日(木)~21日(土)	次世代リーダー養成プログラム(第2回)	徳島大学・四国大学	SD	p.63
7月23日(月)	大学職員のための企画力養成講座	高知大学	SD	p.66
7月25日(水)	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	高知工科大学	FD*/SD	p.49
7月中旬	学務系職員養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	SD	p.62
8月				
8月21日(火)	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	香川県立保健医療大学	FD/SD	p.46
8月28日(火)	動機を高め記憶に残る講義法-動機と記憶の理論-<夏季FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD	p.45
8月31日(金)	講義のための話し方入門<夏季FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD	p.42
8月31日(金)	ルーブリック評価入門-ブレない・速い・楽チン成績評価のスズメ-<夏季FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD	p.43
8月下旬(SPODフォーラム中)	大人数講義法の基本(SPODフォーラムプログラム)	愛媛大学	FD/SD	p.42
8月下旬(SPODフォーラム中)	グラフィック・シラバスの作成方法(SPODフォーラムプログラム)	愛媛大学	FD	p.23
8月下旬(SPODフォーラム中)	学習成果をどう測定し、活用するか?(SPODフォーラムプログラム)	愛媛大学	FD/SD	p.51
8月下旬(SPODフォーラム中)	高等教育トップリーダーセミナー	香川大学	SD	p.65
8月31日(金)~9月1日(土)	教育力開発基礎プログラム	徳島大学	FD	p.18
9月				
9月3日(月)~9月4日(火)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ<新任教員FDワークショップ>	高知大学	FD	p.21
9月4日(火)	Adobe Premiere Elementsを使った動画教材作成法<夏季FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD	p.45
9月5日(水)~9月6日(木)	第19回愛媛大学授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	p.20
9月6日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン-考え方と進め方-<秋季FDセミナー>	高知大学	FD	p.32
9月7日(金)	障がい学生に対応した授業方法入門編<夏季FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD	p.50
9月7日(金)	パワーポイント2010基本技・便利技<夏季FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD	p.46
9月7日(金)	Eラーニング入門<夏季FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD	p.35
9月7日(金)	自習を助ける教材を創る・発信するためのPowerPoint&Moodle入門<秋季FDセミナー>	高知大学	FD*	p.35
9月11日(火)	大人数講義法の基本(遠隔配信プログラム)<夏季FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD	p.43
9月12日(水)	成績評価とフィードバック-評価の原則からルーブリック評価まで-<秋季FDセミナー>	高知大学	FD	p.25
9月13日(木)~9月14日(金)	大学人、社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	SD	p.60
9月18日(火)	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	高知学園短期大学	FD*/SD	p.49
9月20日(木)~21日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	FD	p.19
9月21日(金)	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法-教員も学生も楽しい授業にするために-	今治明德短期大学	FD	p.31
9月22日(土)~23日(日)	教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ	愛媛大学	ブレFD	p.70
9月24日(月)	高専生を元気にする学生指導法のコツ	高知工業高等専門学校	FD/SD	p.50

9月25日(火)	大人数講義を魅力的にするテクニック	香川大学	FD	p.25
9月25日(火)~26日(水)	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<西四国対象>	愛媛大学	FD	p.36
9月上旬	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	高松大学・高松短期大学	FD/SD	p.47
9月上旬	授業アンケートを見直しませんか? -アンケートの効果的実施と活用方法-	高知県立大学・高知短期大学	FD	p.38
9月中	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	愛媛大学	FD*/SD	p.48
9月中	高等教育機関における安全衛生	愛媛大学	FD/SD	p.53
9月中	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	阿南工業高等専門学校	FD	p.37
9月中	授業アンケートを見直しませんか? -アンケートの効果的実施と活用方法-	四国大学・四国大学短期大学部	FD	p.38
10月				
10月17日(水)~19日(金)	大学人、社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルI)	愛媛大学	SD	p.58
11月				
11月13日(火)	初年次教育の構成と実践: カスタマイズをどのようにするか	香川大学	FD	p.29
11月15日(木)~16日(金)	次世代リーダー養成プログラム(第3回)	香川大学	SD	p.63
11月20日(火)	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法-教員も学生も楽しい授業にするために-	香川大学	FD	p.31
11月29日(木)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD	p.22
11月29日(木)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD	p.24
12月				
12月6日(木)	学生の参加を促す授業方法	香川大学	FD	p.32
12月21日(金)	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	愛媛県立医療技術大学	FD*/SD	p.48
12月21日(金)~23日(日)	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD	p.37
12月中旬	人権啓発研修	愛媛大学	FD/SD	p.53
12月中	教育の質保証とIR(インスティテューショナル・リサーチ)	阿南工業高等専門学校	FD	p.40
12月末~1月中	大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	FD*/SD	p.74
1月				
1月24日(木)~26日(土)	次世代リーダー養成プログラム(第4回)	高知大学・高知工科大学	SD	p.63
1月中旬	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD	p.22
1月30日(水)	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方<春季FDセミナー>	高知大学	FD*	p.23
1~3月中	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<東四国対象>	徳島大学	FD	p.36
2月				
2月12日(火)~13日(水)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	プレFD	p.71
2月中旬	講師養成研修	愛媛大学	SD	p.67
2月中	大人数講義を魅力的にするテクニック	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	FD	p.26
3月				
3月7日(木)	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「レポートの書き方」の教え方-	香川大学	FD	p.26
3月7日(木)	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「プレゼンテーションの方法」の教え方-	香川大学	FD	p.27
3月8日(金)	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「日本語技法」の教え方①-	香川大学	FD	p.27
3月8日(金)	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「日本語技法」の教え方②-	香川大学	FD	p.28
3月11日(月)	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「情報整理の方法」の教え方-	香川大学	FD	p.28
3月11日(月)	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-協同学習の基本(入門編)-	香川大学	FD	p.29
3月21日(木)	アクティブラーニング-学生参加型授業のつくり方-<春季FDセミナー>	高知大学	FD*	p.33
3月26日(火)	初年次科目のためのグループワークの技法<春季FDセミナー>	高知大学	FD	p.33
3月27日(水)	能動的学習支援者必須! グループワークのためのファシリテーション入門<春季FDセミナー>	高知大学	FD*	p.34
3月中	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	阿南工業高等専門学校	FD	p.37
3月中	教育系競争的資金獲得のための申請書作成ワークショップ	愛媛大学	FD/SD	p.51
3月中	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	FD*/SD	p.75
その他・未定				
未定	FD・SDセミナー	徳島大学	FD*/SD	p.52
未定	マンネリ化しない公開授業の秘訣-公開授業の効果的実施方法-	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD	p.39

内容についての説明

FD …… 教員対象	SD …… 職員対象
FD* …… 教員対象(学生・院生も参加可能)	FDer …… ファカルティ・ディベロPPER対象
FD/SD …… 教職員対象	プレFD …… 大学院生対象

開催大学別プログラム一覧

大学名	プログラム名	日程	遠隔配信	プログラムNo.	ページ
徳島大学	教育力開発基礎プログラム	8月31日(金)~9月1日(土)		T-001	p.18
徳島大学	効果的なグループワークの技法	6月15日(金)	遠隔	T-002	p.30
徳島大学	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<東四国対象>	1~3月中		T-003	p.36
徳島大学	FD・SDセミナー	未定	遠隔	T-004	p.52
徳島大学	FDファシリテーター (FD担当者) 養成研修	6月9日(土)~10日(日)		T-005	p.56
徳島大学・四国大学	次世代リーダー養成プログラム (第2回)	7月19日(木)~21日(土)		T-006	p.63
徳島大学	大学教育カンファレンスin徳島	12月末~1月		T-007	p.74
鳴門教育大学	大学職員のための企画力養成講座	7月13日(金)		T-008	p.65
四国大学・四国大学短期大学部	授業アンケートを見直しませんか? -アンケートの効果的実施と活用方法-	9月中		T-009	p.38
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	マンネリ化しない公開授業の秘訣-公開授業の効果的実施方法-	未定		T-010	p.39
徳島工業短期大学	マンネリ化しない公開授業の秘訣-公開授業の効果的実施方法-	4月27日(金)		T-011	p.39
阿南工業高等専門学校	教育の質保証とIR (インスティテューショナル・リサーチ)	12月中		T-012	p.40
阿南工業高等専門学校	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	9月中		T-013	p.37
阿南工業高等専門学校	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	3月中		T-014	p.37
香川大学	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	9月20日(木)~21日(金)		K-001	p.19
香川大学	学生の学びを促すシラバスの書き方	11月29日(木)		K-002	p.22
香川大学	基礎から学ぶ学習評価法	11月29日(木)		K-003	p.24
香川大学	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「レポートの書き方」の教え方-	3月7日(木)		K-004	p.26
香川大学	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「プレゼンテーションの方法」の教え方-	3月7日(木)		K-005	p.27
香川大学	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「日本語技法」の教え方①-	3月8日(金)		K-006	p.27
香川大学	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「日本語技法」の教え方②-	3月8日(金)		K-007	p.28
香川大学	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-「情報整理の方法」の教え方-	3月11日(月)		K-008	p.28
香川大学	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方-協同学習の基本(入門編)-	3月11日(月)		K-009	p.29
香川大学	初年次教育の構成と実践: カスタマイズをどのようにするか	11月13日(火)		K-010	p.29
香川大学	大人数講義を魅力的にするテクニック	9月25日(火)		K-011	p.25
香川大学	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法-教員も学生も楽しい授業にするために-	11月20日(火)		K-012	p.31
香川大学	学生の参加を促す授業方法	未定		K-013	p.32
香川大学	クリッカーで教育・研究が変わる!	5月8日(火)		K-014	p.34
香川大学	次世代リーダー養成プログラム (第3回)	11月15日(木)~16日(金)		K-015	p.63
香川大学	高等教育トップリーダーセミナー	8月下旬(SPODフォーラム中)		K-016	p.65
香川県立保健医療大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	8月21日(火)		K-017	p.46
高松大学・高松短期大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	9月上旬		K-018	p.47
香川短期大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	6~7月中		K-019	p.47
愛媛大学	第18回授業デザインワークショップ	7月7日(土)~8日(日)		I-001	p.20
愛媛大学	第19回授業デザインワークショップ	9月5日(水)~6日(木)		I-002	p.20
愛媛大学	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法<夏季FD・SDスキルアップ講座>	1月中旬	遠隔	I-003	p.22
愛媛大学	グラフィック・シラバスの作成方法 (SPODフォーラムプログラム)	8月下旬(SPODフォーラム中)		I-004	p.23
愛媛大学	学生の能力を高める評価の方法<春季FD・SDスキルアップ講座>	4月4日(水)	遠隔	I-005	p.24
愛媛大学	学習成果をどう測定し、活用するか? (SPODフォーラムプログラム)	8月下旬(SPODフォーラム中)		I-006	p.51
愛媛大学	教室の雰囲気を変えるクラスルーム・コントロール術<春季FD・SDスキルアップ講座>	4月3日(火)	遠隔	I-007	p.30

愛媛大学	Eラーニング入門<夏季FD・SDスキルアップ講座>	9月7日(金)		I-008	p.35
愛媛大学	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<西四国対象>	9月25日(火)~26日(水)		I-009	p.36
愛媛大学	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	12月21日(金)~23日(日)		I-010	p.37
愛媛大学	講義のための話し方入門<夏季FD・SDスキルアップ講座>	8月31日(金)		I-011	p.42
愛媛大学	大人数講義法の基本 (SPODフォーラムプログラム)	8月下旬(SPODフォーラム中)		I-012	p.42
愛媛大学	大人数講義法の基本 (遠隔配信プログラム) <夏季FD・SDスキルアップ講座>	9月11日(火)		I-013	p.43
愛媛大学	ルーブリック評価入門-ブレない・速い・案件成績評価のスズメ<夏季FD・SDスキルアップ講座>	8月31日(金)		I-014	p.43
愛媛大学	学生を眠らせない講義法のコツ<春季FD・SDスキルアップ講座>	4月3日(火)		I-015	p.44
愛媛大学	動機を高める第1回目の授業づくり<春季FD・SDスキルアップ講座>	4月4日(水)		I-016	p.44
愛媛大学	動機を高め記憶に残る講義法-動機と記憶の理論-<夏季FD・SDスキルアップ講座>	8月28日(火)		I-017	p.45
愛媛大学	Adobe Premiere Elementsを使った動画教材作成法<夏季FD・SDスキルアップ講座>	9月4日(火)		I-018	p.45
愛媛大学	パワーポイント2010基本技・便利技<夏季FD・SDスキルアップ講座>	9月7日(金)		I-019	p.46
愛媛大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	9月中		I-020	p.48
愛媛大学	障がい学生に対応した授業方法入門編<夏季FD・SDスキルアップ講座>	9月7日(金)		I-021	p.50
愛媛大学	教育系競争的資金獲得のための申請書作成ワークショップ	3月中		I-022	p.51
愛媛大学	メンタルヘルス研修	6月下旬		I-023	p.52
愛媛大学	人権啓発研修	12月中旬		I-024	p.53
愛媛大学	高等教育機関における安全衛生	9月中		I-025	p.53
愛媛大学	大学人, 社会人としての基礎力養成プログラム研修 (レベルⅠ)	10月17日(水)~19日(金)		I-026	p.58
愛媛大学	大学人, 社会人としての基礎力養成プログラム研修 (レベルⅡ)	9月13日(木)~14日(木)		I-027	p.60
愛媛大学	大学人, 社会人としての基礎力養成プログラム研修 (レベルⅢ)	6月7日(木)~8日(金)		I-028	p.61
愛媛大学	学務系職員養成プログラム研修 (レベルⅡ)	7月中旬		I-029	p.62
愛媛大学	次世代リーダー養成プログラム (第1回)	6月21日(木)~23日(土)		I-030	p.63
愛媛大学	講師養成研修	5月中旬, 2月中旬		I-031	p.67
愛媛大学	教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ	9月22日(土)~23日(日)		I-032	p.70
愛媛大学	愛媛大学教育改革シンポジウム	3月中		I-033	p.75
愛媛県立医療技術大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	12月21日(金)		I-034	p.48
聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	大人数講義を魅力的にするテクニク	2月中		I-035	p.26
今治明德短期大学	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法-教員も学生も楽しい授業にするために-	9月21日(金)		I-036	p.31
高知大学	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ<新任教員FDワークショップ>	9月3日(月)~4日(火)		Y-001	p.21
高知大学	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方<春季FDセミナー>	1月30日(水)		Y-002	p.23
高知大学	成績評価とフィードバック-評価の原則からルーブリック評価まで-<秋季FDセミナー>	9月12日(水)		Y-003	p.25
高知大学	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン-考え方と進め方-<秋季FDセミナー>	9月6日(木)		Y-004	p.32
高知大学	アクティブラーニング-学生参加型授業のつくり方-<春季FDセミナー>	3月21日(木)		Y-005	p.33
高知大学	初年次科目のためのグループワークの技法<春季FDセミナー>	3月26日(火)		Y-006	p.33
高知大学	能動的学習支援者必須! グループワークのためのファシリテーション入門<春季FDセミナー>	3月27日(水)		Y-007	p.34
高知大学	自習を助ける教材を創る・発信するためのPowerPoint&Moodle入門<秋季FDセミナー>	9月7日(金)		Y-008	p.35
高知大学・高知工科大学	次世代リーダー養成プログラム (第4回)	1月24日(木)~26日(土)		Y-009	p.63
高知大学	大学職員のための企画力養成講座	7月23日(月)		Y-010	p.66
高知大学	ファシリテーション力養成道場	2月12日(火)~13日(水)		Y-011	p.71
高知県立大学・高知短期大学	授業アンケートを見直しませんか?-アンケートの効果的実施と活用方法-	9月上旬		Y-012	p.38
高知工科大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	7月25日(水)		Y-013	p.49
高知学園短期大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	9月18日(火)		Y-014	p.49
高知工業高等専門学校	高専生を元気にする学生指導法のコツ	9月24日(月)		Y-015	p.50

テーマ別プログラム一覧

プログラム名 (FDプログラム)	レベル・フェーズ			開催場所	ページ
	マイクロ	ミドル	マクロ		
授業の基本					
教育力開発基礎プログラム	I II			徳島大学	p.18
新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	I II			香川大学	p.19
第18回授業デザインワークショップ	I II			愛媛大学	p.20
第19回授業デザインワークショップ	I II			愛媛大学	p.20
学生の学びを支援する授業準備ワークショップ<新任教員FDワークショップ>	I II			高知大学	p.21
学生の学びを促すシラバスの書き方	I II			香川大学	p.22
学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	I II			愛媛大学	p.22
グラフィック・シラバスの作成方法 (SPODフォーラムプログラム)	I II			愛媛大学	p.23
学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方<春季FDセミナー>	I II			高知大学	p.23
基礎から学ぶ学習評価法	I II			香川大学	p.24
学生の能力を高める評価の方法<春季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.24
ルーブリック評価入門―ブレない・速い・楽チン成績評価のスズメ―<夏季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.43
成績評価とフィードバック―評価の原則からルーブリック評価まで―<秋季FDセミナー>	I II			高知大学	p.25
大人数講義を魅力的にするテクニック	I II			香川大学	p.25
大人数講義を魅力的にするテクニック	I II			聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	p.26
大人数講義法の基本 (SPODフォーラムプログラム)	I II			愛媛大学	p.42
大人数講義法の基本 (遠隔配信プログラム) <夏季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.43
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方―「レポートの書き方」の教え方―	I II			香川大学	p.26
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方―「プレゼンテーションの方法」の教え方―	I II			香川大学	p.27
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方―「日本語技法」の教え方①―	I II			香川大学	p.27
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方―「日本語技法」の教え方②―	I II			香川大学	p.28
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方―「情報整理の方法」の教え方―	I II			香川大学	p.28
大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方―協同学習の基本(入門編)―	I II			香川大学	p.29
初年次教育の構成と実践：カスタマイズをどのようにするか	I II			香川大学	p.29
教室の雰囲気を変えるクラスルーム・コントロール術<春季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.30
学生を眠らせない講義法のコツ<春季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.44
動機を高める第1回目の授業づくり<春季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.44
動機を高め記憶に残る講義法―動機と記憶の理論―<夏季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.45
講義のための話し方入門<夏季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.42
参加型学習					
効果的なグループワークの技法	I II			徳島大学	p.30
グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法―教員も学生も楽しい授業にするために―	I II			香川大学	p.31
グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法―教員も学生も楽しい授業にするために―	I II			今治明德短期大学	p.31
学生の参加を促す授業方法	I II			香川大学	p.32
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン―考え方と進め方―<秋季FDセミナー>	I II			高知大学	p.32
アクティブラーニング―学生参加型授業のつくり方―<春季FDセミナー>	I II			高知大学	p.33
初年次科目のためのグループワークの技法<春季FDセミナー>	I II			高知大学	p.33
能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門<春季FDセミナー>	I II			高知大学	p.34
I C T					
クリッカーで教育・研究が変わる！	I II			香川大学	p.34
Eラーニング入門<夏季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.35
自習を助ける教材を創る・発信するためのPowerPoint&Moodle入門<秋季FDセミナー>	I II			高知大学	p.35
Adobe Premiere Elementsを使った動画教材作成法<夏季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.45
パワーポイント2010基本技・便利技<夏季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.46

多様な学生への支援				
学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	I II			香川県立保健医療大学 p.46
学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	I II			高松大学・高松短期大学 p.47
学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	I II			香川短期大学 p.47
学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	I II			愛媛大学 p.48
学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	I II			愛媛県立医療技術大学 p.48
学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	I II			高知工科大学 p.49
学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	I II			高知学園短期大学 p.49
高専生を元気にする学生指導法のコツ	I II			高知工業高等専門学校 p.50
障がい学生に対応した授業方法入門編<夏季FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学 p.50

ファカルティ・ディベロップメント				
FDファシリテーター（FD担当者）養成研修		I II III IV		徳島大学 p.56
教育系競争的資金獲得のための申請書作成ワークショップ		I II III IV		愛媛大学 p.51

総合プログラム				
大学教育カンファレンスin徳島	I II III IV	I II III IV	I II	徳島大学 p.74
愛媛大学教育改革シンポジウム	I II III IV	I II III IV	I II	愛媛大学 p.75
SPODフォーラム	I II III IV	I II III IV	I II	徳島大学 p.76

プレFD				
教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ	I II			愛媛大学 p.70
ファシリテーション力養成道場	I II			高知大学 p.71

評価・アセスメント				
学習成果をどう測定し、活用するか？（SPODフォーラムプログラム）		I II III IV		愛媛大学 p.51
授業アンケートを見直しませんか？－アンケートの効果的実施と活用方法－	I II III IV	I II III IV		四国大学・四国大学短期大学部 p.38
授業アンケートを見直しませんか？－アンケートの効果的実施と活用方法－	I II III IV	I II III IV		高知県立大学・高知短期大学 p.38
マンネリ化しない公開授業の秘訣－公開授業の効果的実施方法－	I II III IV	I II III IV		徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 p.39
マンネリ化しない公開授業の秘訣－公開授業の効果的実施方法－	I II III IV	I II III IV		徳島工業短期大学 p.39
教育の質保証とIR（インスティテューショナル・リサーチ）		I II III IV	I II	阿南工業高等専門学校 p.40

ティーチング・ポートフォリオ				
ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<東四国対象>				徳島大学 p.36
ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ<西四国対象>				愛媛大学 p.36
高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ				阿南工業高等専門学校 p.37
高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ				阿南工業高等専門学校 p.37
高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ				愛媛大学 p.37

プログラム名<SDプログラム>	開催場所	ページ
職場における多様性と健康		
メンタルヘルス研修	愛媛大学	p.52
人権啓発研修	愛媛大学	p.53
高等教育機関における安全衛生	愛媛大学	p.53
ビジネススキル		
大学人、社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）	愛媛大学	p.58
大学人、社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）	愛媛大学	p.60
大学人、社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）	愛媛大学	p.61
学務系職員養成プログラム研修（レベルⅡ）	愛媛大学	p.62
大学職員のための企画力養成講座	鳴門教育大学	p.65
大学職員のための企画力養成講座	高知大学	p.66
リーダーシップ・組織開発		
次世代リーダー養成プログラム（第1回）	愛媛大学	p.63
次世代リーダー養成プログラム（第2回）	徳島大学・四国大学	p.63
次世代リーダー養成プログラム（第3回）	香川大学	p.63
次世代リーダー養成プログラム（第4回）	高知大学・高知工科大学	p.63
高等教育トップリーダーセミナー	香川大学	p.65
講師養成研修	愛媛大学	p.67

SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧

大学等名	プログラム名	対象校	区分	ページ
徳島				
徳島大学	効果的なグループワークの技法	SPOD全加盟校	FD	p.30
四国大学・四国大学短期大学部	授業アンケートを見直しませんか？-アンケートの効果的実施と活用方法-	SPOD全加盟校	FD	p.38
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	マンネリ化しない公開授業の秘訣-公開授業の効果的実施方法-	SPOD加盟校 (徳島県内のみ)	FD	p.39
徳島工業短期大学	マンネリ化しない公開授業の秘訣-公開授業の効果的実施方法-	SPOD全加盟校	FD	p.39
阿南工業高等専門学校	教育の質保証とIR (インスティテューショナル・リサーチ)	SPOD加盟校 (高専のみ)	FD	p.40
香川				
香川大学	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法 -教員も学生も楽しい授業にするために-	SPOD全加盟校	FD	p.31
香川県立保健医療大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	SPOD全加盟校	FD・SD	p.46
四国学院大学	FD・SDを効果的に進める組織づくり-事例紹介とお悩み相談-	学内向け	FD・SD	/
高松大学・高松短期大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	SPOD全加盟校	FD・SD	p.47
香川短期大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	SPOD全加盟校	FD・SD	p.47
香川高等専門学校	高専生を元気にする学生指導法のコツ	学内向け	FD	p.82
愛媛				
愛媛大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	SPOD全加盟校	FD・SD	p.48
愛媛県立医療技術大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	SPOD全加盟校	FD・SD	p.48
聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	大人数講義を魅力的にするテクニック	SPOD全加盟校	FD	p.26
松山大学・松山短期大学	FD・SDを効果的に進める組織づくり-事例紹介とお悩み相談-	学内向け	FD・SD	/
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	スタッフポート・ポートフォリオ入門-職員と大学が共に輝くために-	学内向け	SD	p.81
今治明德短期大学	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法 -教員も学生も楽しい授業にするために-	SPOD全加盟校	FD	p.31
環太平洋大学短期大学部	教育の質保証とは何か-スタンダード設定からアセスメントまで-	学内向け	FD	p.81
新居浜工業高等専門学校	高専生を元気にする学生指導法のコツ	学内向け	FD	p.82
弓削商船高等専門学校	ティーチング・ポートフォリオ入門-教育実践のリフレクション-	学内向け	FD	p.82
高知				
高知大学	大学職員のための企画力養成講座	SPOD全加盟校	SD	p.66
高知県立大学・高知短期大学	授業アンケートを見直しませんか？-アンケートの効果的実施と活用方法-	SPOD全加盟校	FD	p.38
高知工科大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	SPOD全加盟校	FD・SD	p.49
高知学園短期大学	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	SPOD全加盟校	FD・SD	p.49
高知工業高等専門学校	高専生を元気にする学生指導法のコツ	SPOD全加盟校	FD	p.50

[本件に関するお問い合わせ先]

SPOD事務局 (愛媛大学教育企画課)

TEL : 089-927-9154 E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp



FDプログラム

(教員対象)

プログラム番号 T-001

教育力開発基礎プログラム

FD

*主な対象

教員（講師または准教授昇任後2年以内）

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

1. FD活動の理念、活動計画を理解する。
2. 授業を計画し、実施し、評価する方法を体得する。
3. 授業研究の仕方を理解し、実践できるようにする。
4. FD参加者同士の仲間づくりをする。

*講師

川野卓二、宮田政徳、香川順子、吉田博 他（徳島大学大学開放実践センター）

*日時

8月31日（金）～9月1日（土）

*場所

徳島大学 大学開放実践センター2階（6号館 201）

*受講定員

30名

*主催

徳島大学 大学教育委員会・FD専門委員会

*メッセ

要問い合わせ

*申込先・問合先

徳島大学大学開放実践センター
E-mail: t-spod@cue.
tokushima-u.ac.jp

内容

1日目

1. オリエンテーション
研修のねらいと意義
進め方とスタッフ紹介
2. アイスブレイク
参加者自己紹介・交流
3. ワークショップ
よい授業・悪い授業
授業で大切にしたいこと
4. 講義Ⅰ よりよい授業実施のために
シラバスの意義、作成方法
授業設計と評価
5. ワークⅠ 授業設計
シラバス、授業計画の検討・修正
6. ワークⅡ 授業実践の方法
模擬授業の計画と準備
グループ内で模擬授業



2日目

7. 模擬授業実施（全体共有）
グループ代表による模擬授業
8. プログラムのまとめ
活動のふりかえり
修了証授与
アンケート

（備考）

- 二日間通しの参加となります。
- 一日だけの参加はできません。



▶参考資料

徳島大学FD推進ハンドブック（第1巻～第4巻）

▶受講者の声（2011年度 アンケートから）

- 講義方法を確認できた。
- 専門は違ってもゴールは一緒と強く感じました。参考になる所が多く活用させていただきます。
- 自分以外の人の講義を見ることができ、良い点はぜひ取り入れさせていただこうと思った。
- 自らをふりかえる機会を得たことが、最も良かったことです。
- 講義について参考になる意見を多数寄せられ今後活用できる点。
- 他の先生と交流できたこと。

▶準備物等

・ 事前に普段の授業（あるいは今後予定のある授業）のシラバス、ある日の授業計画（講義1回分）の準備が必要になります。また、初日に模擬授業を行いますので、ご自身が選ばれた担当授業の中からワンシーンを選び、スライド等をご準備頂くこととなります。

プログラム番号 K-001

新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」

FD

*主な対象

新規採用された教員（大学での授業担当経験5年以上を除く）参加を希望する教員

*対象校

SPOD加盟校(香川県内のみ)

*目標

授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連のプロセスをグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につける。

*講師

香川大学大学教育開発センター教員

*日時

9月20日(木)～21日(金)

*場所

四国電力(株)総合研修センター(高松市内)

*受講定員

30名

*主催

香川大学大学教育開発センター

*メー

要問い合わせ

*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail : sokyoyot@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

内容

1日目

1. オリエンテーション
2. アイスブレイク
3. グループワークⅠ「学生の考える良い授業と悪い授業」
4. 講義Ⅰ「シラバスの書き方」
目標設定の仕方
授業計画の立て方
5. グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」
目標設定
授業計画
シラバス作成
6. 講義Ⅱ「様々な授業方法」
講義形式のメリット・デメリット
双方向型授業のコツ
マイクロティーチング
7. 講義Ⅲ「よりよい成績評価の仕方」
成績評価の目的
評価の方法と評価対象
8. グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」
授業計画と評価計画
9. グループ発表Ⅰ「中間発表」
10. グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」
授業計画案作成

2日目

11. グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」
役割決定
授業の練習
12. グループ発表Ⅱ「ミニ授業」

(※宿泊研修です。1日だけの参加はできません。)

▶参考資料

『愛媛大学FDハンドブック もっと!! 授業を良くする』第1巻改訂第2版
『愛媛大学FDハンドブック もっと!! 授業を良くする』第2巻改訂第2版

▶受講者の声（アンケートなどから）

○自分にとっては、双方型の授業のメリットとデメリットを知ることができ、かつ、いろいろな双方向型授業のモデルを知ることができたことがすごく良かった。ここで学んだ、ブレーンストーミングやKJ法などは、道具（ペン、模造紙、付箋など）やどのようなワークを考えるかなどの下準備が大変ではあるが、実際に授業で使ってみようと思う。知識伝達の授業はこれまで繰り返してきたので、学生が自ら学び、自ら考えるきっかけになるような授業をこれからいろいろと試したり、目指したりして行きたいと思う。

○今回のワークショップでは様々な講義法を学び、少しでも双方向型の要素を取り入れることで講義にメリハリをつけることができ、学生の学習効果も上がることがよくわかった。また、普段我流で書いているシラバスについても、いろいろと問題点があることもよくわかった。ワークショップで指導されたことや指摘されたことを踏まえて、学生目線にたった、わかりやすく読みやすいシラバスの作成を心がけたい。さらに、最後の模擬講義で他のグループが取り入れていた様々な工夫も新鮮に感じ、参考になったので、取り入れていきたいと考えている。

プログラム番号 I-001, I-002

授業デザインワークショップ

FD

*主な対象

愛媛大学教員のうち、下記のいずれかに該当する者
 ①新規採用された教員（大学の授業担当経験5年以上を除く）
 ②新たに大学の授業を担当した教員
 ③昨年度対象者で都合により欠席した該当教員
 ④参加を希望する教職員
 SPOD加盟校教職員のうち、参加を希望する者

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

- 適切な目的・目標設定ができるようになる。
- わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 学習者の学習を促す要因を説明できる。
- グループ学習の手法を、自らの授業で導入するためのヒントを得る。

*講師

小林直人、佐藤浩章、山田剛史、仲道雅輝、大竹奈津子（愛媛大学教育企画室）

*日時

7月7日(土)～7月8日(日)(第18回)
 9月5日(水)～9月6日(木)(第19回)

*場所

久万高原ふるさと旅行村
 (7月, 第18回)
 国立大洲青少年交流の家
 (9月, 第19回)

*受講定員

7月 25名
 9月 40名

*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

*メッセ

要問い合わせ

*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
 E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

内容

1日目

- オリエンテーション ・研修の目的・目標の確認
 ・スタッフの紹介とお願い
- アイスブレイキング ・自己紹介とグループワーク
 ・アイスブレイキングの意義
- 講義Ⅰ 「シラバスの書き方」
 ・目的・目標の立て方
 ・授業計画の立て方
- グループワークⅠ 「共通教育科目の開発Ⅰ」
 ・目的・目標設定
 ・コースデザイン
- 講義Ⅱ 「何が学生の学びを促進するのか？」
- 講義Ⅲ 「様々な授業方法」
 ・講義形式のメリット・デメリット
 ・講義形式以外の授業方法
- 講義Ⅳ 「よりよい成績評価の仕方」
 ・成績評価の目的
 ・評価方法と評価対象
- グループワークⅡ 「共通教育科目の開発Ⅱ」
 ・コースデザイン
 ・学習評価
- 中間発表
- グループワークⅢ,Ⅳ 「共通教育科目の開発Ⅲ,Ⅳ」
 ・授業計画案作成

2日目

- グループワークⅤ 「共通教育科目の開発Ⅳ」
 ・ミニ授業練習
- ミニ授業 「ミニ授業（導入の10分）」
 ・授業紹介
 ・ミニ授業
 ・討議・検討
- 振り返り



* 1泊2日の宿泊研修となります。途中の出入りはできません。

▶参考資料

『愛媛大学FDハンドブック もっと!!授業を良くする』第1巻（オリジナルテキスト）
 『愛媛大学FDハンドブック もっと!!授業を良くする』第2巻（オリジナルテキスト）
 佐藤浩章 編『大学教員のための授業手法とデザイン』（玉川大学出版部）

▶受講者の声

○当初はあまり乗り気ではなかったが、スタッフの教育に対する姿勢と知識に驚かされてとても有意義な時間が過ごせました。ありがとうございました。
 ○専門を異にする他学部の教員と専門外のシラバスを作るという作業は、様々な考え方や物の見方に触れることができ、刺激に満ちたものだった。
 ○キャンパスを離れた自然の豊かな高原で、日常の煩雑な業務で疲労した心身をリフレッシュすることができました。タイトスケジュールにより内容の充実した研修が展開されたことにより、参加したことに一層大きな意義を感じました。数多くのグループワークを通して、学生の立場から改めて授業運営を見つめ直すことができました。
 ○研修を通じて、授業の意味や教員の役割を改めて考えることができ、学生の視点やレディネスについて意識するようになった点が良かったと思います。独り善がりな授業にしたいと強く思うようになりました。今回学んだことは、断続的に実践していきたいと思います。私は授業経験がなく不安を感じながら参加しましたが、分かりやすい講義内容だし、グループワークにも参加しやすく、構えなくても参加できる研修でした。このような有意義なワークショップにもっと多くの教員が参加することを望みます。

プログラム番号 Y-001

学生の学びを支援する授業準備ワークショップ (新任教員FDワークショップ)

FD

*主な対象

新任教員 (大学での授業担当経験5年未満)、新たに大学の授業を担当した教員および参加を希望する教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

塩崎俊彦, 立川明, 俣野秀典 (高知大学総合教育センター)

*日時

9月3日(月)~9月4日(火)
(2日間)9:00~17:00

*場所

高知大学共通教育棟3号館
1階310教室

*受講定員

40名

*主催

高知大学総合教育センター大学
教育創造部門

*メー

要問い合わせ

*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

目標

1. 適切な授業の目的・目標設定ができるようになる。
2. わかりやすいシラバスを書けるようになる。
3. 学習成果 (ラーニング・アウトカムズ) を意識して授業デザインができるようになる。
4. 学生参加型のグループ作業を自らの授業で導入することができるようになる。

内容

1日目

1. オリエンテーション/アイスブレイキング
2. グループワーク「良い授業とは？」
3. ミニレクチャー「目標設定と授業計画, シラバスの書き方」
4. グループワーク「共通教育科目の開発① (目標設定と授業計画)」
5. ミニレクチャー「様々な授業形態, それぞれのメリットとデメリット」
6. ミニレクチャー「様々な成績評価, その目的と方法」
7. グループワーク「共通教育科目の開発② (授業計画と評価の方法・スケジュール)」
8. グループ発表「グループワーク中間報告」
9. グループワーク「共通教育科目の開発③ (授業の計画・指導案)」

2日目

10. グループワーク「共通教育科目の開発④ (最終発表準備)」
11. グループ発表「新科目の紹介とミニ授業」
12. ふりかえり



▶参考資料

『大学教員のための授業方法とデザイン』(佐藤浩章編/玉川大学出版部)

『FDハンドブック Tips集 1~6』(高知大学総合教育センター)

『授業をもっと良くできる! 授業改善アンケート, ピア・レビュー, 授業参観の進め方』(高知大学総合教育センター)

▶受講者の声

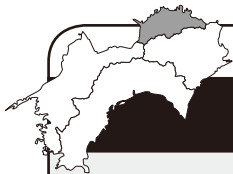
○シラバスの作り方(目的・目標・成績評価の書き方など)や注意点がよくわかった。

○「評価」も期末レポート(試験)の一発勝負だったので、今後は工夫しようと思いました。

○初めてグループワークを経験しましたが、メンバーと短時間で親密になることができたので良かったです。グループワークを自分の講義に活かそうと思いました。

○他の大学の方とグループワークの中で話ができて、授業の進め方や方法についてヒントを教わり、各々が抱えている問題点も共有できて良かった。

○グループワーク等に具体的なコメントを返して下さっており、今後に役に立つコメントを受講中多く頂きました。



プログラム番号 K-002

学生の学びを促すシラバスの書き方

FD

主な対象

教員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

葛城浩一 (香川大学大学教育開発センター)

日時

11月29日(木) 13:00~14:30

場所

香川大学生涯学習教育研究センター 第1講義室 (研究交流棟6階)

受講定員

50名

主催

香川大学大学教育開発センター

メー切

開講日2週間前, 先着順

申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail: sokyoyot@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

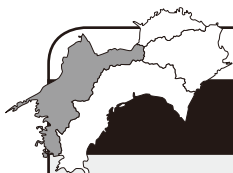
目標

- ・わかりやすいシラバスを書くことができるようになる。
- ・学習者が自学自習に励むようなシラバスを書くことができるようになる。

内容

1. シラバスとは何か
2. 授業題目・キーワードの書き方
3. 授業目的と到達目標の書き方
4. 授業内容・スケジュールの書き方
5. 受講生に関わる情報の書き方
6. 受講ルールの書き方
7. 教材情報の書き方
8. 評価情報の書き方

準備物 ご自分の授業のシラバスをご持参ください。



プログラム番号 I-003

学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法

遠隔 FD

主な対象

これから授業を担当する教員、これまで作ったシラバスをよりよいものにしたい教員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

山田剛史 (愛媛大学教育企画室)

日時

1月中旬

場所

愛大ミュージックアクティブ・ラーニングスペース2

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

メー切

開講日2週間前, 先着順

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

- ①適切な授業目的・目標設定ができるようになる。
- ②わかりやすいシラバスを書くことができるようになる。
- ③学習者が自学自習に励むようなシラバスを書くことができるようになる。

内容

1. シラバスとは何か?
 - ・定義
2. 授業題目・キーワードの書き方
 - ・英文併記
 - ・わかりやすく書く
3. 授業目的と到達目標の書き方
 - ・授業の目的の書き方
 - ・到達目標の書き方

▶参加者の声

- 目的と目標の違いがクリアになった。シラバスの重要性がより明確になった。
- シラバスを学生がどう利用しているか分かったので、シラバスの作成方法が納得できた。シラバスはなるべくたくさんさんの情報を明記したほうが良い事もわかった。シラバスの効果が最初に説明がありよかった。

4. 授業内容・スケジュールの書き方
 - ・無理のない進み具合
5. 受講生に関わる情報の書き方
 - ・受講にあたっての前提条件
 - ・ニーズと授業内容のミスマッチ防止
6. 受講ルールの書き方
 - ・受講マナー
7. 教材情報の書き方
 - ・学問への誘い
8. 評価情報の書き方

▶準備物

ご自分の授業のシラバスをご持参下さい

▶参考資料

『FDハンドブック第1巻』『FDハンドブック第2巻』(愛媛大学教育企画室作成)
佐藤浩章編『大学教員のための授業方法とデザイン』(玉川大学出版部)

4. 授業目的と到達目標の書き方

 - 1) 現実的
 - 2) わかりやすく
 - ・複数の目的・目標を混在させない。
 - ・知識/態度/技能に分けて書く
 - 3) カリキュラムの中での位置づけを明示

プログラム番号 I-004

グラフィック・シラバスの作成方法

FD

*主な対象

これから授業を担当する教員、これまで作ったシラバスをより良いものにしたい教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

佐藤浩章（愛媛大学教育企画室）

*日時

SPODフォーラム期間中

*場所

徳島大学

*受講定員

40名

*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

*メ切

開講日2週間前、先着順

*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. テキスト・シラバスのデメリットを述べるができる。
2. グラフィック・シラバスのメリットを述べるができる。
3. 自身のテキスト・シラバスをグラフィック・シラバスに表現することができる。

内容

一般的な文字で記述されたシラバスでは、学習内容の構造を示すのには限界があります。構造化されていない知識は学生の記憶には残りません。シラバスを図示化することで、学習構造はより明確になり、学生の理解度を高め、記憶度をあげることができます。

グラフィック・シラバスを作成する過程で、教員自身は学習内容の重複や欠損部分を知ると同時に、本当に学習し

てもらうべき部分（キーコンセプト）はどこかを明確に理解し、扱うべきトピックや教育順序の変更点を見出すことができます。

1. テキスト・シラバスのデメリット
2. グラフィック・シラバスとは何か
3. グラフィック・シラバスのメリット
4. グラフィック・シラバスの作成と相互ブラッシュアップ

ミニレクチャーの後は、ご自身のグラフィック・シラバスを作成する時間となります。参加者は、ご自分の授業のシラバスを持参ください。作成はこちらが用意する紙上で行いますが、パソコン上での作業を希望される方はノートパソコン等を持参ください。

プログラム番号 Y-002

学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方（春季FDセミナー）

FD*

*主な対象

授業改善をしたい教員、大学の教員を目指す学生

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

塩崎俊彦、立川明、俣野秀典（高知大学総合教育センター）

*日時

1月30日(水) 13:30~16:00

*場所

高知大学共通教育棟3号館1階310教室（予定）

*受講定員

30名

*主催

高知大学総合教育センター大学教育創造部門

*メ切

開講日2週間前、先着順

*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

目標

- ・学習成果（ラーニングアウトカムズ）を意識してシラバスを書くことができる。
- ・良いシラバスを書く必要性が理解できる。

内容

- ・ミニ講義「なぜ良いシラバスを書く必要があるか？（現状分析）」
- ・このワークショップの目標とプログラム
- ・レクチャーおよびワークショップ
 - ・レクチャー「各項目の書き方と注意点」
 - ・ワークショップ「良い目標の書き方」
 - ・ワークショップ「話の流れのセオリー」
- ・グループワーク「成績評価をどうするのか？」
- ・ミニ講義「いろいろな成績評価の方法」
- ・実習シラバスの作成（自分のシラバスを修正する）
- ・グループワーク シラバス交換とフィードバック
- ・プレゼンテーション「シラバス作成・修正の工夫」

準備物について

ご自身のシラバス

▶参考資料

「Faculty Development Handbook Vol.1 第二版 ～もっと!授業を良くするために～」 愛媛大学教育企画室

プログラム番号 K-003 **New!!****基礎から学ぶ学習評価法**

FD

主な対象

教員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

佐藤慶太 (香川大学大学教育開発センター)

日時

11月29日(水)15:00~16:30

場所

生涯学習教育研究センター 第1講義室 (研究交流棟6階)

受講定員

50名

主催

香川大学大学教育開発センター

***メー**

開講日2週間前、先着順

申込先・問合せ香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail: sokyoyot@jim.ac.kagawa-u.ac.jp***目標***

1. 学習評価の意義と原則について説明することができる。
2. 多様な学習評価方法を知り、自らの授業で活用できる。
3. 成績評価において注意すべき点を説明することができる。

内容

1. **成績評価の意義・目的**
どうして成績評価をするのか〔グループワーク1〕
2. **成績評価の原則**
いつ、なにを、どのように評価するのか
総括的評価と形成的評価
3. **さまざまな評価方法**
学習目的に応じた評価方法〔グループワーク2〕
よい成績評価の条件
成績評価のための工夫
ルーブリックを作ってみよう〔グループワーク3〕
4. **評価の際の注意点**
成績点と合否判定
GPA制度について
不正行為防止のために

▶受講者の声

- ルーブリックなど知ってはいたが、自分のレポート評価に具体的につながる観点がもてた。
- 評価方法や基準について作業したり、他の先生の考えを聞くことができた。

プログラム番号 I-005 **New!!****学生の能力を高める評価法のコツ**

遠隔

FD

主な対象

学習評価に関わる教員

対象校

SPOD全加盟校

目標

1. 学習評価の原則を説明することができる。
2. 形成的評価と総括的評価の違いと重要性を説明できる。
3. 多様な学習評価方法を知り、自らの授業で活用できる。

講師

山田剛史(愛媛大学教育企画室)

日時

4月4日(水)13:00~14:00

場所

愛大ミュージアム1階アクティブ・ラーニングスペース2

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

***メー**

開講日2週間前、先着順

申込先・問合せ愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp***内容***

1. 評価の基礎知識
2. テストに関するいくつかの知識
3. **総合的な評価**
 - ・ルーブリック評価
 - ・学生の自己評価・相互評価
 - ・行動を評価する実技試験

▶参考資料

項目	レベルA	レベルB	レベルC
準備	すべての適切な材料が揃っており、レポートに反映されている。	すべての材料が揃っているが、すべてが記述されていない。もしくは不足している。途中で補正しなくてはならない。	必要な材料がなく、レポートへの記述も少ない。大きな手直しがある。
手順	手順は正確な手順により書かれており、手順である。	手順はもっとも手順よく工夫することが可能であるが、不透明である。	不適切な手順である。
安全性	安全に執り行われており、安全である。	十分な安全性は確保されたが、リスクを伴った方法である。	危険な行為があった。
説明			
...			

プログラム番号 Y-003

成績評価とフィードバック -評価の原則からルーブリック評価まで- (秋季FDセミナー)

遠隔

FD

*主な対象

目標に準拠した評価方法を習得したい教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

俣野秀典（高知大学総合教育センター）

*日時

9月12日(水) 10:00~12:00

*場所

高知大学総合研究棟会議室3

*受講定員

30人

*主催

高知大学総合教育センター大学教育創造部門

*メ切

開講日2週間前、先着順

*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

目標

1. 成績評価の意義と目的を説明することができる。
2. 到達目標にあわせた評価の方法・基準を設定・開発できる。
3. 適切なフィードバックを行うことができる。
4. 客観的かつ厳格な成績評価を心がける。

内容

成績評価について、多様な評価基準を設定することが求められております。ある大学のシラバス入力手順説明書』では、「具体的な評価基準はルーブリック評価シートを事前に配布し、配点30点とする」との例も示されたりしており、「ルーブリックって何??」と、戸惑われた教員の方も多いと聞いております。

そこで、本プログラムは、ルーブリックを含めた教育の評価についての基本的な考え方を理解することを目的として実施されます。

1. 背景

- ・ 厳格な成績評価
- ・ 近年の高等教育における議論

2. 成績評価

- ・ 評価の意義と目的
- ・ 診断的・形成的・総括的評価

・ 評価規準と評価基準

・ 評価の手順・流れ

・ さまざまな成績評価の方法

3. ルーブリック評価

- ・ ルーブリックとは
- ・ ルーブリックの有効性
- ・ 国内外におけるルーブリックの例
- ・ ルーブリック作成ミニ演習

4. フィードバック

- ・ フィードバックの意義と目的
- ・ フィードバックを促す方法
- ・ 大人数講義でのフィードバック例

5. まとめ

※ルーブリックとは、「目標に準拠した評価」のための「基準」づくりの方法論であり、評価指標として活用されます。本プログラムでは、学生が何を学習するのかを示す評価規準と学生が学習到達しているレベルを示す具体的な評価基準を示すマトリクスからなる分析的ルーブリックを主に取り上げます。

▶受講者の声

- 参加したセミナーで最も目標達成を意識することができた。
- ルーブリック評価のことが分かった！特に有効な点が分かった！ありがとうございました！！

プログラム番号 K-011

大人数講義を魅力的にするテクニック

FD

*主な対象

教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

葛城浩一（香川大学大学教育開発センター）

*日時

9月25日(火) 13:00~14:30

*場所

生涯学習教育研究センター第1講義室
(研究交流棟6階)

*受講定員

50名

*主催

香川大学大学教育開発センター

*メ切

開講日2週間前、先着順

*申込先・問合せ

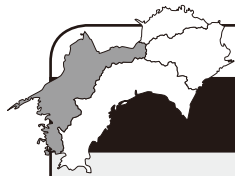
香川大学教育：学生支援室修学支援グループ
E-mail : sokyoyot@jim.ao.
kagawa-u.ac.jp

目標

自分の授業で応用可能なコツをひとつ以上持ち帰る。

内容

1. はじめに
2. 構成をしっかりと考える
3. 明確に話す
4. 匿名空間にしない
5. ペア/グループ・ワークを挿入する
6. 発問で刺激を
7. 資料配布・回収やテストを効率的に行う
8. 学習を阻害する行為を管理する
9. まとめ



プログラム番号 I-035

大人数講義を魅力的にするテクニック

FD

*主な対象

全教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

葛城浩一 (香川大学大学教育開発センター)

*日時

2月中

*場所

聖カタリナ大学 学部2号館

*受講定員

40名

*主催

聖カタリナ大学FD委員会・聖カタリナ大学短期大学部FD委員会・SPOD

*メ切

開講日の2週間前, 先着順

*申込先・問合せ先

聖カタリナ大学・短期大学部

学生部教務課

E-mail: kyoumuka@

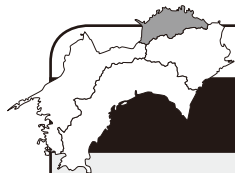
catherine.ac.jp

目標

自分の授業で応用可能なコツを一つ以上持ち帰る。

内容

1. はじめに
2. 構成をしっかり考える
3. 明確に話す
4. 匿名空間にしない
5. ペア/グループ・ワークを挿入する
6. 発問で刺激を
7. 資料配布・回収やテストを効率的に行う
8. 学習を阻害する行為を管理する
9. まとめ



プログラム番号 K-004

大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方 -「レポートの書き方」の教え方-

FD

*主な対象

教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

藤本佳奈 (香川大学教育・学生支援機構)

*日時

3月7日(木)13:00~14:30

*場所

生涯学習教育研究センター第1講義室 (研究交流棟6階)

*受講定員

50名

*主催

香川大学大学教育開発センター

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ先

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

E-mail: sokyoyot@jim.ac.

kagawa-u.ac.jp

目標

1. レポートの書き方の手順について説明することができる。
2. 出された課題に沿ったレポートを学生に書かせることができる。

内容

1. はじめに
2. レポートと感想文との違い
3. レポートの作成の手順
4. レポート作成のルール
5. まとめ

補論. 文献検索の方法

▶参考資料

香川大学大学教育開発センター編『大学入門ゼミハンドブック』
(参加者には配布いたします。)

▶受講者の声

- 教えるべき内容を具体的に把握することができた。
- ワークを交えて、学生の視点で受講できたのでよかった。

プログラム番号 K-005

大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方 - 『プレゼンテーションの方法』の教え方 -

FD

*主な対象

教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

葛城浩一 (香川大学大学教育開発センター)

*日時

3月7日(木) 14:40~16:10

*場所

生涯学習教育研究センター第1講義室
(研究交流棟6階)

*受講定員

50名

*主催

香川大学大学教育開発センター

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ先

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail : sokyoyot@jim.ao.
kagawa-u.ac.jp

目標

1. プレゼンテーションの方法について学ぶ必要性を述べることができる。
2. 分かりやすいプレゼンテーションにする方法を説明することができる。
3. 分かりやすいプレゼンテーションを行うことができる。

内容

1. はじめに
2. プレゼンテーションって何?
3. わかりやすいコンテンツ (内容)
4. わかりやすくするテクニック (技法)
5. わかりやすくするツール (道具)
6. プレゼンテーションの流れ
7. 聴き手の作法
8. もう一度発表してみよう!
9. まとめ

▶参考資料

香川大学大学教育開発センター編『大学入門ゼミハンドブック』
(参加者には配布いたします。)

▶受講者の声

- プレゼンで重要なポイントと教え方を学ぶことが出来ました。
- 実際に発表の準備をしてみても、授業のイメージを明確にもつことができた。

プログラム番号 K-006

大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方 - 『日本語技法』の教え方① -

FD

*主な対象

教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

高水 徹 (香川大学インターナショナルオフィス)

*日時

3月8日(金) 13:00~14:30

*場所

生涯学習教育研究センター第1講義室
(研究交流棟6階)

*受講定員

50名

*主催

香川大学大学教育開発センター

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ先

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail : sokyoyot@jim.ao.
kagawa-u.ac.jp

目標

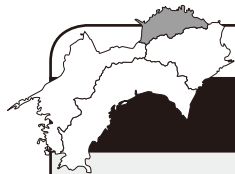
1. 大人としてのマナーを守り、情報として過不足のない用件のメールを書くことができる。
2. 手順を言語化し、聞き手にわかりやすく伝えることができる。
3. 文章を整理し、理解しやすく、誤りのない状態に仕上げることができる。

内容

- 技法1: 教職員へのメールの書き方
技法2: 書き言葉による手順の説明
技法3: 推敲の技法
- ・これらの技法がなぜ必要か。
 - ・これらの技法のポイントは何か。

▶参考資料

香川大学大学教育開発センター編『大学入門ゼミハンドブック』
(参加者には配布いたします。)



プログラム番号 K-007

大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方 -「日本語技法」の教え方②-

FD

*主な対象

教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

高水 徹 (香川大学インターナショナルオフィス)

*日時

3月8日(金)14:40~16:10

*場所

生涯学習教育研究センター第1講義室 (研究交流棟6階)

*受講定員

50名

*主催

香川大学大学教育開発センター

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail : sokyoyot@jim.ac.
kagawa-u.ac.jp

目標

(①からの続き)

4. 適切な表現を用いて, 2つの物事を比較・対照し, 文章で表現できる。
5. 文章のポイントが箇条書きでまとめることができる。
6. 文章の内容を, 必要な情報を損なわずに要約することができる。

内容

(①からの続き)

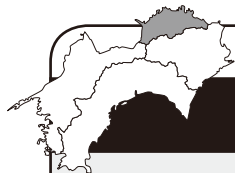
技法4: 比較・対照の技法

技法5: 箇条書きの技法

技法6: 要約の技法

- ・これらの技法がなぜ必要か。
- ・これらの技法のポイントは何か。

▶参考資料

香川大学大学教育開発センター編『大学入門ゼミハンドブック』
(参加者には配布いたします。)

プログラム番号 K-008

大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方 -「情報整理の方法」の教え方-

FD

*主な対象

教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

佐藤慶太 (香川大学大学教育開発センター)

*日時

3月11日(月)13:00~14:30

*場所

生涯学習教育研究センター第1講義室 (研究交流棟6階)

*受講定員

50名

*主催

香川大学大学教育開発センター

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail : sokyoyot@jim.ac.
kagawa-u.ac.jp

目標

- ① よいノートとはどのようなものか, 説明することができる
- ② うまくノートをとるためのコツを説明することができる

内容

1. ノートをとるってどういうこと?
2. よいノートの条件
3. よいノートをとるためのコツ
 - ・講義のスタイルの違い
 - ・ノートの種類
 - ・授業前/授業中/授業後にすること
 - ・ノートのとり方サンプル紹介
4. もう一度ノートをとってみよう
5. まとめ

▶参考資料

香川大学大学教育開発センター編『大学入門ゼミハンドブック』
(参加者には配布いたします。)

▶受講者の声

- 「ノートをとること」に対して無意識であったが, 学生にとっては重要なテーマであることを認識できた。
- ノートの取り方を教えることをしないとイケない時代なのだと思って受講しましたが, 納得できました。

プログラム番号 K-009

大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方ー協同学習の基本(入門編)ー

FD

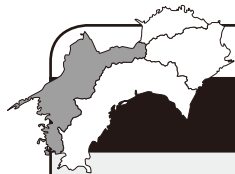
主な対象 教員	*目標* (1)協同学習の有効性について説明することができる。 (2)どのような協同学習があるのかを3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。 (3)自らの授業に協同学習を導入することができる。
対象校 SPOD全加盟校	
目標 右記参照	
講師 岩中貴裕 (香川大学大学教育開発センター)	*内容* 下記の順序で講座を行います。講座は講義の部分と演習の部分から成り立っています。 (1)協同学習とは？(講義)(30分程度) 協同学習についての基礎的な情報を提供し、協同学習が学びを高める根拠について説明します。その後、代表的な協同学習の手法をいくつか紹介します。 (2)協同学習を体験してみよう(演習)(30分程度) 授業の中で簡単に導入できる協同学習(話し合いの技法)を、3つ体験していただきます。 (3)協同学習を自分の授業に導入してみよう(演習)(20分程度) 各自の授業で、どのように協同学習の技法を導入したら良いのかについて考えてもらいます。 (4)質疑応答・まとめ(10分程度)
日時 3月11日(月)14:40~16:10	
場所 生涯学習教育研究センター第1講義室(研究交流棟6階)	
受講定員 24名	
主催 香川大学大学教育開発センター	
メ切 開講日2週間前、先着順	▶参考資料 香川大学大学教育開発センター編『大学入門ゼミハンドブック』(参加者には配布いたします。)
申込先・問合せ 香川大学教育・学生支援室修学支援グループ E-mail : sokyoyot@jim.ao. kagawa-u.ac.jp	▶受講者の声 ○協同学習、グループワークの手法が具体的に示され、よく分かった。 ○協同学習を体験をととして学習できた。

プログラム番号 K-010 **New!!**

初年次教育の構成と実践:カスタマイズをどのようにするか

FD

主な対象 教員	*目標* 初年次教育の構成と実践について情報提供と意見交換を行い、使えるようなヒントやアイデアを共有する。
対象校 SPOD全加盟校	
目標 右記参照	*内容* (可能ならば相互研修型FDを考えています。) 1. はじめに: 初年次教育の傾向 2. 初年次教育の効果と課題 3. 構成と実践~カスタマイズの例を通して 4. ふりかえり
講師 三宅岳史 (香川大学アーツ・サイエンス研究院)	
日時 11月13日(火)13:00~14:30	
場所 生涯学習教育研究センター第1講義室(研究交流棟6階)	
受講定員 50名	
主催 香川大学大学教育開発センター	
メ切 開講日2週間前、先着順	
申込先・問合せ 香川大学教育・学生支援室修学支援グループ E-mail : sokyoyot@jim.ao. kagawa-u.ac.jp	



プログラム番号 I-007

教室の雰囲気を変えるクラスルーム・コントロール術

*主な対象

教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

秦敬治（愛媛大学教育企画室）

*日時

4月3日（火）13:00～14:00

*場所

愛大ミュージックアクティブ・ラーニングスペース2

*受講定員

40名

*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

*メー

開講日2週間前、先着順

*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

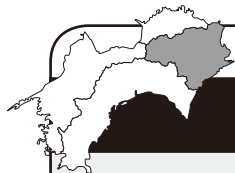
E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

- ①学生を授業に集中させることができる
- ②学生のモチベーションを保つことができる
- ③学生とうまくコミュニケーションを取ることができる

内容

「居眠りをさせないためのコツ」「私語をさせないためのコツ」といった、学生を授業にうまく引き込み、学生のモチベーションを最初から最後まで高く維持するための手法について学びます。とくに、授業の準備段階から、授業開始時、途中、終了時において、段階的に効果的な「しかけ」を活用することで、学生が集中して授業に取り組むようになる手法について、講師の実践例を紹介しながら学びます。



プログラム番号 T-002

効果的なグループワークの技法

*主な対象

SPOD加盟校の教職員、学生
・グループワークを授業に取り入れたい教員
・将来教える仕事に就きたい学生

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

俣野秀典（高知大学総合教育センター）

*日時

6月15日（金）16:30～18:30

*場所

徳島大学 大学開放実践センター3階
授業研究インテリジェントラボ

*受講定員

20名

*主催

徳島大学大学教育委員会・FD専門委員会、
SPOD

*メー

要問い合わせ

*申込先・問合せ

徳島大学大学開放実践センター

E-mail : t-spod@cue.

tokushima-u.ac.jp

目標

自身の授業の中で実践することができるグループワークの方法を、1つ以上持ち帰ることができる。

内容

“学びのプロセスに学生自身がどれだけ関わることができたか”が学習成果を左右すると言われています。ここ数年、グループワーク（グループ学習）を取り入れた授業が増えてきていることの大きな理由がここにあります。そこで本プログラムは、授業の一部にグループワークを取り入れたいと考えている教員を主な対象として、そのための基本的な考え方・いくつかのグループワークの手法・ファシリテーターとしての注意点を理解することを目的として実施されます。

1. いろいろなアイスブレイク
2. グループワーク／能動的学習の効果
3. 学生を参加させるための要素・技法
4. チームビルディング～グループからチームへ
5. 授業等への適用例

プログラム番号 K-012 **New!!**

グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法—教員も学生も楽しい授業にするために— **FD**
***主な対象**

全教員 (グループ学習を取り入れてみたい教員)

***対象校**

SPOD全加盟校

***目標**

右記参照

***講師**

香川順子 (徳島大学大学開放実践センター)

***日時**

11月20日(火) 13:00~15:00

***場所**

幸町北キャンパス524講義室

***受講定員**

30名

***主催**

香川大学大学教育開発センター, SPOD

***メ切**

開講日2週間前, 先着順

***申込先・問合せ**香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail : sokyoyot@jim.aokagawa-u.ac.jp***目標***

1. 協同的な学習を効果的に進めるための基本的な要素を説明できる。
2. 協同的な学習の技法について, 2つ以上説明することができる。
3. 学生が授業へ参加するためのアイデアを見出す。

内容

このプログラムでは, グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方について, その要素を押さえた上で, 具体的な技法を知り, ご自身の授業に取り入れるアイデアを考えることを目的としています。教員も学生も楽しい授業にするために, 取り組みやすい具体的な方法について学び, 参加者と一緒にご自身の授業に取り入れられる方法を考えていきます。

1. グループ学習を取り入れる前に確認すべきこと
2. グループ学習を効果的に行うための要素とは?
3. 学生を能動的にする様々な技法
4. 授業へ取り入れるためのアイデアを共に考える (ワーク)

▶準備物

グループ学習を取り入れてみたい科目のシラバス, あるいはすでにグループ学習を取り入れている場合はその科目のシラバスをお持ちください。

プログラム番号 I-036 **New!!**

グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法—教員も学生も楽しい授業にするために— **FD**
***主な対象**

全教員 (グループ学習を取り入れてみたい教員)

***対象校**

SPOD全加盟校

***目標**

右記参照

***講師**

香川順子 (徳島大学大学開放実践センター)

***日時**

9月21日(金) 13:00~15:00

***場所**

今治明德短期大学視聴覚室

***受講定員**

30名

***主催**

今治明德短期大学, SPOD

***メ切**

開講日2週間前, 先着順

***申込先・問合せ**今治明德短期大学FD委員会
E-mail : kouti@meitan.ac.jp***目標***

1. 協同的な学習を効果的に進めるための基本的な要素を説明できる。
2. 協同的な学習の技法について, 2つ以上説明することができる。
3. 学生が授業へ参加するためのアイデアを見出す。

内容

このプログラムでは, グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方について, その要素を押さえた上で, 具体的な技法を知り, ご自身の授業に取り入れるアイデアを考えることを目的としています。教員も学生も楽しい授業にするために, 取り組みやすい具体的な方法について学び, 参加者と一緒にご自身の授業に取り入れられる方法を考えていきます。

1. グループ学習を取り入れる前に確認すべきこと
2. グループ学習を効果的に行うための要素とは?
3. 学生を能動的にする様々な技法
4. 授業へ取り入れるためのアイデアを共に考える (ワーク)

▶準備物

グループ学習を取り入れてみたい科目のシラバス, あるいはすでにグループ学習を取り入れている場合はその科目のシラバスをお持ちください。

プログラム番号 K-013 **New!!****学生の参加を促す授業方法**

FD

主な対象

教員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

藤本佳奈 (香川大学教育学生支援機構)

日時

12月6日(木) 15:00~16:30

場所

幸町北キャンパス523講義室

受講定員

30名

主催

香川大学大学教育開発センター

メ切

開講日2週間前, 先着順

申込先・問合せ香川大学教育・学生支援室修学支援グループ
E-mail : sokyoyot@jim.ao.
kagawa-u.ac.jp***目標***

1. 学生の授業への参加を促す様々なツールや方法について理解し, 説明することができる。
2. 授業の目的・目標にあったツールや方法を選択し, 授業に導入することができる。

内容

1. 学生の「参加」とは
2. 質問や発言を促す
3. ディスカッションをリードする
4. 学生の参加を促す授業方法アラカルトまとめ

プログラム番号 Y-004

講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン (秋季FDセミナー)

FD

主な対象

学生の学びを向上させるために, グループ・ペア学習を授業の一部に取り入れたい教員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

俣野秀典 (高知大学総合教育センター)

日時

9月6日(木) 13:30~15:30

場所

未定

受講定員

30名

主催

高知大学総合教育センター大学教育創造部門

メ切

要問い合わせ

申込先・問合せ高知大学学務部学務課
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp***目標***

1. グループでの活動による学習の効果を説明できる。
2. 協同的な学習活動を生産的なものにするための条件 (要素) について二つ以上説明できる。
3. 学生を参加させるための技法を目的に応じて選択できる。

内容

“学びのプロセスに学生自身がどれだけ関わることができたか” が学習成果を左右すると言われていています。ここ数年, 学生参加型や双方向型授業といった名称の授業が増えてきていることの大きな理由がここにあります。

そこで本プログラムは, 授業の活動性を高めるために, 講義の一部にグループ学習やペア学習を取り入れてみたいと考えている教員を主な対象として, そのための考え方や方法を参加メンバーと共に学び, 理解することを目的として実施されます。

1. アイスブレイクの基本
2. 小グループ・ペア学習/能動的学習の効果
3. 学生を参加させるための要素・技法
4. 授業等への適用例
5. 学習課題の組み立て方
6. 振り返り

▶受講者の声

・協同学習の定義・効果・技法についてきちんと学ぶことができ, 本当に良かったと思います。

・ジグソー等の具体的手法や, それを取り入れた授業の実例を知ることができ, 自分のものに取り入れる際の参考になりました。

・系統的な知識を得ることができたので, 授業の改善に大変参考になりました。

プログラム番号 Y-005 **New!!****アクティブラーニング - 学生参加型授業のつくり方 - (春季FDセミナー) FD***

***主な対象**
学生の能動性を引き出したい教員および教員志望の学生

***対象校**
SPOD全加盟校

***目標**
右記参照

***講師**
立川明 (高知大学総合教育センター)

***日時**
3月21日(木) 13:30~16:30

***場所**
高知大学農学部 (物部キャンパス)

***受講定員**
30名

***主催**
高知大学総合教育センター-大学教育創造部門

***メモ**
要問い合わせ

***申込先・問合せ**
高知大学学務部学務課
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

目標
学生を授業に参加させるための手法を三つ説明できる。
学生の参加意欲を高める授業の組み立てができる。

内容

- ・グループを作ろう!
- ・アイスブレイキングしよう!
- ・学生参加を促す工夫・まずはじめにすること
- ・一方的講義を双方向に変える工夫
 - ・ Learning in Teaching (LiT) しよう
 - ・ ペアワーク, グループワークをしよう
 - ・ 個人の責任を果たす World Cafe
- ・ チーム・ビルディング入門
- ・ 進度を落とさずアクティブ・ラーニング, TBL入門

▶参考資料
「Tips 1 ~ 6」(高知大学総合教育センター)

プログラム番号 Y-006

初年次科目のためのグループワークの技法 (春季FDセミナー) FD

***主な対象**
グループワーク授業の担当教員, 特に初めてこの種の授業を担当する教員

***対象校**
SPOD全加盟校

***目標**
右記参照

***講師**
塩崎俊彦, 立川明, 俣野秀典 (高知大学総合教育センター)

***日時**
3月26日(火) 13:30~17:00

***場所**
高知大学共通教育棟3号館1階310教室

***受講定員**
30名

***主催**
高知大学総合教育センター-大学教育創造部門

***メモ**
要問い合わせ

***申込先・問合せ**
高知大学学務部学務課
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

目標

- ・ 2つのタイプのグループワーク授業のねらいが説明できる。
- ・ グループワーク授業において, 学習者の能動的な姿勢を引き出すための手法を, 実際に体験しながら理解する。
- ・ グループワークに関与する際に教員が注意すべき事柄を理解する。

内容

- ・ ミニ講義 グループワーク授業 / 2つのねらいをもって
- ・ ワークショップ
 - ① アイスブレイクの手法
 - ② チームビルディングの手法
 - ③ さまざまなグループワーク
ZIGZAG・ワールドカフェなど
 - ④ プレゼンテーションの工夫

模擬的にグループワークを行うことで, その運営方法を理解します。
・ 振り返り
ワークショップで得た知見をグループで振り返ります。

プログラム番号 Y-007

能動学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門 (春季FDセミナー) **FD******主な対象**

グループワークを取り入れている授業担当教員およびTA等として授業の補助を行う学生

***対象校**

SPOD全加盟校

***目標**

右記参照

***講師**

塩崎俊彦, 立川明, 俣野秀典 (高知大学総合教育センター)

***日時**

3月27日(水) 10:00~18:00

***場所**

高知大学共通教育棟3号館1階310教室

***受講定員**

30名

***主催**

高知大学総合教育センター大学教育創造部門

***メー**

要問い合わせ

***申込先・問合せ先**

高知大学学務部学務課

E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

目標

- ・グループワークを主とする授業担当者にとって必須となる能力：ファシリテーション力を身につける。
- ・グループ活動支援に必要なチームビルディングの方法を知る。
- ・チームビルディングゲームの進め方を知る。
- ・場の構築の重要性を理解する。
- ・フィードバックの重要性を理解する。
- ・ファシリテーションにおける注意点を知る。

▶受講者の声

- チームビルディングやチームを深めるための方法が分かった。
- 他の人の意見を聞くという体験ができ、その重要性に気づいた。

内容

一方的な講義形式の授業から学生参加型/双方向型授業への展開に対応する形で、授業のファシリテーター(学習支援・促進者)としての教員の役割の重要性が顕著になってきています。

そこで本プログラムは、グループワークを多用した授業において教員が知っておきたい授業ファシリテーションについてのマインドとスキルについて、特にチームビルディングを重点的に取り上げ、実際に体験しながら習得することを目的として実施されます。

- ・オリエンテーション
- ・導入エクササイズ「グループの作り方とアイスブレイク」
- ・グループ演習「体験学習を体験する」～振り返りと解説
- ・ファシリテーターとしての行動・姿勢
- ・全体の振り返り、分かち合い

※グループ演習(チームビルディングゲーム)は、参加者のニーズ・人数に応じて、下記より3~4種類をピックアップの予定。

- ・記者会見
- ・総当たりインタビュー
- ・学習スタイル
- ・コンセンサスを求めて
- ・私の価値観/ライフポジション
- ・パスは待ってられない
- ・グループプロセスの観察

プログラム番号 K-014

クリッカーで教育・研究が変わる！ **FD*****主な対象**

教員

***対象校**

SPOD全加盟校

***目標**

右記参照

***講師**

真鍋芳樹 (香川大学アドミッションセンター)

***日時**

5月8日(火) 13:30~15:30

***場所**

生涯学習教育研究センター第1講義室(研究交流棟6階)

***受講定員**

50名

***主催**

香川大学大学教育開発センター

***メー**

開講日2週間前、先着順

***申込先・問合せ先**

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

E-mail : sokyoyot@jim.ac.

kagawa-u.ac.jp

目標

- ・クリッカー&制御ソフト(TurningPoint)の使用方法を習得し、実際に使用できるようになる。
- ・クリッカーを用いた教育方法ならびに研究方法の展開を考えることができる。

内容

1. TurningPointのインストール
2. プレゼンテーション資料作成
 - 2-1.新規にスライドを作成する
 - 2-2.既存のPowerPointスライドを利用する
3. プレゼンテーション事前確認
4. プレゼンテーション実行
5. 集計結果の保存
6. 集計結果の利用

▶受講者の声

- クリッカーやTurningPointを実際にさわることができて、だいたいの操作法をざっと知ることができた。実際に授業に使用してみたい。
- 使い方が分かった。受講しなかったら、これは使えなかったと思う。

プログラム番号 I-008

Eラーニング入門

FD

*主な対象

Eラーニングを使ってみたい、Eラーニングで何ができるのか知りたい教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

平田浩一(愛媛大学教育学部)
佐々木隆志(愛媛大学総合情報メディアセンター)

*日時

9月7日(金) 15:30~17:30

*場所

総合メディアセンター演習室1

*受講定員

40名

*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. Eラーニングソフト Moodle を体験する。
2. Eラーニングで何ができるかを知る。
3. Eラーニングのコース作成法を学ぶ。

内容

1. Moodleとは
2. コースへのログイン
3. コンテンツ(文書&動画)のアップロード?
4. ファイルの取り扱い, ファイル名についての注意
5. フォーラム(掲示板)によるディスカッション
6. レポート課題の提出
7. 小テストの作成と実施?
8. 採点と成績(評定)の管理?
9. メールを送信(クイックメール)
10. ログの確認

▶参考資料



▶受講者の声

「資料が充実していて、わかりやすく受講できました。」

「学生とのコミュニケーションが出来き、細かい指導が可能だと思いました。」

プログラム番号 Y-008

自習を助ける教材を創る・発信するためのPowerPoint&Moodle入門(秋季FDセミナー)

FD*

*主な対象

プレゼン技術を高めたい教職員および学生
Moodle を使って教材公開や学生支援をしたい教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

立川明(高知大学総合教育センター)

*日時

9月7日(金) 13:30~15:30

*場所

高知大学共通教育棟3号館1階310教室

*受講定員

30名

*主催

高知大学総合教育センター大学教育創造部門

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

目標

PowerPoint資料をいろいろなファイル形式で保存する方法を知る。
Moodleの基本的取り扱いを知る。

内容

- ・レクチャーと実習「プレゼンテーションの工夫」
プレゼンテーション資料を作成するために必要な事柄, 実際にプレゼンテーションする上で注意すべき点を学びます
 - ・レクチャーと実習「音声付きPowerPoint資料の作成」
 - ・レクチャーと実習「様々な保存方法」
 - ・レクチャーと実習「Moodleへのログイン」
 - ・レクチャーと実習「コース作成」
 - ・レクチャーと実習「Moodleへのファイルアップロード」
 - ・レクチャーと実習「Moodleでの資料閲覧」
- PowerPointを使ってナレーション入り資料を作成し, pdfファイル形式で保存した物をMoodleで公開するための一連の操作を実習します。

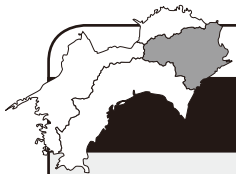
▶参考資料

「Moodle入門」井上博樹他(海文堂)

▶準備物について

簡単なプレゼン資料(5ページ程度)をPowerPointで準備して下さい。受講者は高知大学オンライン学習支援システム(Moodle)への登録が必要です。必ず事前申し込みを! ノートPCおよびPCIに接続できるマイク必携(貸し出し希望者は事前に連絡)。

申し込みに必要な事項: 氏名, 全学認証ID(高知大学教職員, 学生の場合), メールアドレス(所属機関で使用しているもの)



プログラム番号 T-003

ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ (東四国対象)

FD

主な対象

教員

対象校

SPOD加盟校
(東四国：徳島県、香川県)

目標

右記参照

講師

香川順子(徳島大学大学開放実践センター)、秦敬治(愛媛大学教育企画室)ほか

日時

1～3月中(3日間)

場所

未定

受講定員

20名

主催

徳島大学大学教育委員会・FD専門委員会

メ切

要問い合わせ

申込先・問合せ

徳島大学大学開放実践センター
E-mail : t-spod@cue.
tokushima-u.ac.jp

目標

- ・ティーチング・ポートフォリオとは何かを理解する。
- ・ティーチング・ポートフォリオの必要性・有効性について知る。
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成の要点と手順を理解する。
- ・ティーチング・ポートフォリオを作成する。

内容

3日間を通しての参加となります。メンターによるメンタリングを行いながら作成します。

<1日目>

1. オリエンテーション
2. 昼食会
3. 意見交換
4. メンタリング
5. TP作成作業

<2日目>

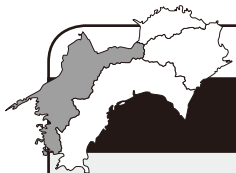
1. TP作成作業
 2. メンタリング
 3. 昼食会・意見交換
 4. TP作成作業
- (夜) 情報交換会 (任意)

<3日目>

1. TP作成作業
2. メンタリング
3. 昼食会・意見交換
4. TP作成作業
5. TP披露・修了式

▶参考資料

TP完成サンプル



プログラム番号 I-009

ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ (西四国対象)

FD

主な対象

西四国加盟校教員

対象校

SPOD加盟校
(西四国：愛媛県、高知県)

目標

右記参照

講師

秦敬治、大竹奈津子(愛媛大学教育企画室)ほか

日時

9月25日(火)～26日(水)
(2日間)

場所

愛媛大学愛大ミュージズ

受講定員

20名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

メ切

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

- ティーチング・ポートフォリオとは何かを理解する。
- ティーチング・ポートフォリオの必要性・有効性について知る。
- ティーチング・ポートフォリオ作成の要点と手順を理解する。
- ティーチング・ポートフォリオを作成する。

内容

2日間を通しての参加となります。メンターによるメンタリングを行いながら作成します。

<1日目>

1. オリエンテーション
2. 昼食会
3. 意見交換
4. メンタリング
5. TP作成作業

<2日目>

1. TP作成作業
 2. メンタリング
 3. 昼食会・意見交換
 4. TP作成作業
- (夜) 情報交換会 (任意)

<3日目>

1. TP作成作業
2. メンタリング
3. 昼食会・意見交換
4. TP作成作業
5. TP披露・修了式

▶参考資料

TP完成サンプル

プログラム番号 T-013, T-014, I-010

高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

FD

*主な対象

教員（教育歴5年以上を目安とします）、教育力向上を目指し参加を希望する教員）

*対象校

SPOD全加盟校（高専のみ）
※高専を対象としています。SPOD加盟校からの希望者があれば、参加状況により、受け付ける場合がありますので、ご連絡ください。

*目標

右記参照

*講師

松本高志（阿南工業高等専門学校）ほか

*日時

9月中(3日間)、
12月21日(金)~23日(日)(3日間)、
3月上旬(3日間)

*場所

9月中旬・3月上旬：
阿南工業高等専門学校会議室、
セミナー室（管理棟3階）
12月：
愛媛大学愛大ミュージズ

*受講定員

15名

*主催

阿南工業高等専門学校FD高度化推進室

*メ切

要問い合わせ

*申込先・問合せ

阿南工業高等専門学校FD高度化推進室
E-mail: matumoto@anan-nct.ac.jp

目標

ティーチング・ポートフォリオ（以下、「TP」という。）を用いて教員による主体的な教育力向上を目指します。TPは自己省察によって、教育業績を整理するのみならず、教員が抱いている教育への情熱を振り返り、その思いを授業改善、さらに教育力向上へ結びつける教員の意識改革（主体性）を重視するものです。

TP作成者（ワークショップ参加者）は次回メンター（助言者）として参加し、他者をメンタリングすることにより更なる教育効果が上がり、TP作成者の増加のみならず、メンター養成によって相乗効果が生まれることが期待されます。

内容

プログラムは以下のとおりです。3日間を通しての参加となります。

<1日目>

12:00～12:30 オリエンテーション
12:30～13:30 昼食会・意見交換
13:30～14:30 第1回個人ミーティング
14:30～17:00 TP作成作業

<2日目>

9:00～10:00 TP作成作業
10:00～11:00 第2回個人ミーティング
11:00～12:00 TP作成作業
12:00～13:00 昼食会・意見交換
13:00～17:00 TP作成作業
18:30～20:30 情報交換会(任意)

<3日目>

9:00～10:00 TP作成作業
10:00～11:00 第3回個人ミーティング
11:00～12:00 TP作成作業
12:00～13:00 昼食会・意見交換
13:00～15:00 TP作成作業、プレゼンテーション準備
15:00～16:30 TP披露・修了式、修了証書の授与

▶研修風景



▶準備物

事前に課題（スタートアップシート）を作成・提出していただきます。

▶参考資料

『大学教育を変える教育業績記録 ティーチング・ポートフォリオ作成の手引』ピーター・セルディン／著 大学評価・学位授与機構／監訳 栗田佳代子／訳（玉川大学出版）

▶受講者の声

○自分がやりたい教育というものが整理できた。
○スケジュール的には厳しかったのですが、自らの教育経験の統括を行えたらという意味から大変有意義であったと思います。これ程長い時間をかけて自らの教育について考えさせられた時は、今までありませんでした。

プログラム番号 T-009 **New!!****授業アンケートを見直しませんか? -アンケートの効果的実施と活用方法-** **FD*****主な対象***

授業アンケートの結果を今後の授業改善に生かしたいと思っている教員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

塩崎俊彦 (高知大学総合教育センター)

日時

9月中

場所

四国大学大会議室 (本館4階)

受講定員

50名

主催

四国大学FD委員会 (教育問題懇話会), SPOD

大切

要問い合わせ

申込先・問合せ四国大学教育・学生支援部学部
運営支援課
E-mail: gakuji@shikoku-u.ac.jp***目標***

- ・ 授業アンケートの目的と効果を説明できる。
- ・ アンケートから授業改善への手順を説明できる。

内容

- ・ ミニ講義
「授業評価アンケート」から「授業改善アンケート」へ/アンケート結果をどのように活用するか
- ・ ディスカッション
学習の質を高めるアンケートとは?

プログラム番号 Y-012 **New!!****授業アンケートを見直しませんか? -アンケートの効果的実施と活用方法-** **FD*****主な対象***

全教員 (授業アンケートの結果を今後の授業改善に活かしたいと思っている教員)

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

塩崎俊彦 (高知大学総合教育センター)

日時

9月上旬

場所

高知県立大学 池キャンパス

受講定員

40名

主催

高知県立大学・高知短期大学, SPOD

大切

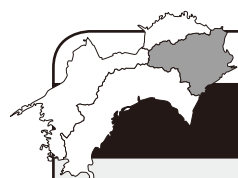
要問い合わせ

申込先・問合せ高知県公立大学法人 法人経営室
E-mail: houjin@cc.u-kochi.ac.jp***目標***

- ① 授業アンケートの目的と効果を説明できる
- ② アンケートから授業改善への手順を説明できる

内容

- ・ ミニ講義
「授業評価アンケート」から「授業改善アンケート」へ/アンケート結果をどのように活用するか
- ・ ディスカッション
学習の質を高めるアンケートとは?

プログラム番号 T-010 **New!!**

マンネリ化しない公開授業の秘訣 —公開授業の効果的実施方法— **FD**

*主な対象

公開授業の効果的な実施方法・活用方法を考えたい教員

*対象校

SPOD加盟校 (徳島県内のみ)

*目標

右記参照

*講師

川野卓二 (徳島大学大学開放実践センター)

*日時

未定

*場所

徳島文理大学 (徳島キャンパス)

*受講定員

150名

*主催

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部・SPOD

*メ切

要問い合わせ

*申込先・問合せ

徳島文理大学教育・研究支援グループ

E-mail : kyoken@tokushima.bunri-u.ac.jp

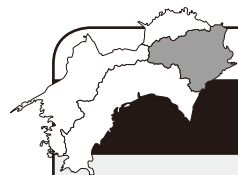
目標

1. 公開授業を行うことの意義と目的を説明できる
2. 公開授業に参加することの意義と目的を説明できる
3. 公開授業で活用できるチェックリストを作成する

内容

以下の内容について一緒に考えてみましょう。

1. 公開授業を行うとどんないいことがあるのでしょうか？
2. 公開授業を参観すると何かいいことがあるのでしょうか？
3. よりよい授業を行うには何に気をつければいのでしょうか？
(公開授業では何に注意して参加すればいのでしょうか？)

プログラム番号 T-011 **New!!**

マンネリ化しない公開授業の秘訣 **FD**

*主な対象

全教員、特に老練な教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

川野卓二 (徳島大学大学開放実践センター)

*日時

4月27日(金) 14:00~15:00

*場所

徳島工業短期大学本館1階会議室

*受講定員

25名

*主催

徳島工業短期大学, SPOD

*メ切

要問い合わせ

*申込先・問合せ

徳島工業短期大学事務局

E-mail : k.tsutsui@tokuco.ac.jp

目標

少人数教員による学園においては公開授業がマンネリ化しやすい。これを打破する方策について、講演指導を受ける。

内容

詳しい内容については、問い合わせ先にお問い合わせください。

プログラム番号 T-012

New!!

教育の質保証とIR (インスティテューショナル・リサーチ)

FD

主な対象

全教員

対象校

SPOD加盟校 (高専のみ)

目標

右記参照

講師

山田剛史 (愛媛大学教育企画室)

日時

12月中

場所

阿南工業高等専門学校4階マルチメディア室

受講定員

80名

主催

阿南工業高等専門学校点検・評価委員会, SPOD

メー切

要問い合わせ

申込先・問合せ先

阿南工業高等専門学校総務課

E-mail : s-hosasoumu@

anan-net.ac.jp

目標

1. 質保証の意義を説明することができる。
2. IRについて説明することができる。
3. 学生生活と学習に関する実態調査結果をふまえ、課題と改善を検討することができる。

内容

- ・講演「教育の質保証とIR (インスティテューショナル・リサーチ)」: 教育の質保証の意義を学び, IRに関する多様な実践例を理解する。
- ・ワークショップ: 学生生活と学習に関する実態調査結果から, 課題と改善を考える。



FD/SDプログラム

(教職員対象)

プログラム番号 I-011

講義のための話し方入門

FD/SD

主な対象

教員、とりわけ講義を受け持つようになって間もない教員 (I-012とセットで受講することが推奨されますが、単独受講も大歓迎です)

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

小林直人 (愛媛大学教育企画室)
飯島永津子 (愛媛大学医学部教育協力者)

日時

8月31日(金)15:30~17:30

場所

愛大ミュージアム階アクティブ・ラーニングスペース2

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

大切

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. 「学生中心の大学」の実現のために“よい”授業ができるようになる。
⇒ “良い”授業とは？
・わかりやすい授業
・知的な緊張感のある授業
・学生が積極的に参加し自ら考える授業
2. 講義をするときに注意が必要な話し方のコツを、講習中の実習を通して習得し、習得したことを自分の授業に生かすことができる。

内容

1. イントロダクション

- ・本日のメニュー
- ・本日の目的と目標

▶受講者の声

- 子音でわかりにくい言葉の事例を聞いて納得。
- 自分では声は大きいし、大丈夫と思ってましたが、話し方には話す内容も大事だということを再認識しました。

▶参考資料

「大学教員のための授業方法とデザイン」
佐藤・編、玉川大学出版部、2010

2. 講師が気をつけていること

- ・学生にとってわかりやすい話し方とは？
- ・どうしたらわかりやすい話し方ができるか？
- ・発音しにくい言葉
- ・区別しにくい言葉

3. 実例を元に演習

- ・聞き手が理解しやすい話し方
- ・どう話すか？の前に何を話すか？

4. 休憩とストレッチ

5. 外部講師 (教育協力者) による発声練習

- ・大きな声を出すためには？
- ・はっきりと発音するためには？

6. まとめ・セルフアセスメント

- ・あらためて、「良い」授業とは？

7. 質疑応答

どうしたら 分かりやすい話し方ができるか？

—小林が気をつけていること—

- ・ ゆっくり話す・大きな声で話す
- ・ 子音をはっきり話す
- ・ 否定後や文末を強調する
- ・ アイ・コンタクトして話す
- ・ 聞き手に近寄って行って話す
- ・ 特に抑揚をつけて前後に間を入れて何度も繰り返して
- ・ キーワードを強調して話す
- ・ 紛らわしい言い方は避ける
- ・ 板書やプリントを併用する



プログラム番号 I-012

大人数講義法の基本

FD/SD

主な対象

教員、とりわけ講義を受け持つようになって間もない教員 (I-011とセットで受講することが推奨されますが、単独受講も大歓迎です)。また、職員の参加も歓迎します。

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

小林直人 (愛媛大学教育企画室)

日時

SPODフォーラム期間中

場所

徳島大学

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点), SPOD

大切

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. 「学生中心の大学」の実現のために“よい”授業ができるようになる。
⇒ “良い”授業とは？
・わかりやすい授業
・知的な緊張感のある授業
・学生が積極的に参加し自ら考える授業
2. 様々な授業スキルを実際の体験を通して習得し、習得したことを自分の授業に生かすことができる。

▶受講者の声

- 学生がノートに書き写しているときに教員は何をするかということが参考になった。
- 大人数講義で、学生とコミュニケーションをとる方法。授業に参加させる方法。授業効果を高める方法等々について、非常に詳しく具体的に学ぶことができた。

内容

1. はじめに 敵を知り己を知る
2. 「授業スキル」のいろいろ
3. 参加/体験型授業の例
グループワークを経験する
4. 「キーワード」を明示する
5. 休憩とストレッチ
6. 「板書」の基本テクニック
7. 「プリント」の基本テクニック
8. 「コミュニケーション」の基本テクニック
9. まとめとセルフアセスメント
あらためて、「良い」授業とは？
10. 質疑応答

▶参考資料

「大学教員のための授業方法とデザイン」
(佐藤・編、玉川大学出版部、2010)

「成長するティップス先生」
(池田ら著、玉川大学出版部、2001)

プログラム番号 I-013

大人数講義法の基本 - 遠隔配信プログラム -



*主な対象

教員、とりわけ講義を受け持つようになって間もない教員 (I-011とセットで受講することが推奨されますが、単独受講も大歓迎です)。また、職員の参加も歓迎します。

*対象校

SPOD全加盟校 (愛媛大学からの遠隔配信を受信できること、または受信できる施設にて受講すること)

*目標

右記参照

*講師

小林直人 (愛媛大学教育企画室)

*日時

9月7日(金) 15:30~17:30

*場所

愛大ミュージック1階アクティブ・ラーニングスペース2

*受講定員

40名

*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

*メ

要問い合わせ

*申込先・問合先

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. 「学生中心の大学」の実現のために“よい”授業ができるようになる。
⇒ “良い”授業とは？
 - ・わかりやすい授業
 - ・知的な緊張感のある授業
 - ・学生が積極的に参加し自ら考える授業
2. 様々な授業スキルを実際の体験を通して習得し、習得したことを自分の授業に生かすことが出来る。

内容

1. はじめに 敵を知り己を知る
2. 「授業スキル」のいろいろ
3. 参加/体験型授業の例
グループワークを経験する
4. 「キーワード」を明示する
5. 休憩とストレッチ
6. 「板書」の基本テクニック
7. 「プリント」の基本テクニック
8. 「コミュニケーション」の基本テクニック
9. まとめとセルフアセスメント
あらためて、「良い」授業とは？

▶参考資料

「大学教員のための授業方法とデザイン」(佐藤・編, 玉川大学出版部, 2010)
「成長するティップス先生」(池田ら著, 玉川大学出版部, 2001)

プログラム番号 I-014

ループリック評価入門 - プレない・速い・楽チン成績評価のススメ -



*主な対象

成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

佐藤浩章 (愛媛大学教育企画室)

*日時

9月11日(金) 13:00~15:00

*場所

愛大ミュージック1階アクティブ・ラーニングスペース2

*受講定員

40名

*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

*メ

要問い合わせ

*申込先・問合先

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. ループリック評価のメリットを説明することができる。
2. 自らの授業で活用できるループリックを作成する。

*ループリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。

内容

ループリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、時間内に自らの授業で活用できるループリックを作成します。作成し

▶参考資料

Dannelle D. Stevens 2004, *Introduction to Rubrics: An Assessment Tool to Save Grading Time, Convey Effective Feedback and Promote Student Learning*, Stylus Publishing, U.S. (購入の必要はありません)

項目	レベルA	レベルB	レベルC
課題	すべての項目が満たされている。明確な目標設定と、その達成に向けた具体的な計画がある。	ほとんどの項目が満たされている。目標設定と計画があるが、やや不明確な点がある。	一部の項目が満たされている。目標設定と計画が不明確である。
準備	必要な資料や道具を事前に準備し、授業の進行に支障がない。	ほとんどの資料や道具を事前に準備しているが、一部不足がある。	一部の資料や道具を事前に準備しているが、授業中に不足が生じる。
実施	授業の進行がスムーズで、学生が積極的に参加している。	ほとんどの項目が満たされているが、一部の項目が不明確である。	一部の項目が満たされているが、授業の進行が不明確である。
評価	評価の基準が明確で、学生に伝えている。	ほとんどの項目が満たされているが、一部の項目が不明確である。	一部の項目が満たされているが、評価の基準が不明確である。

▶準備物について

各自パソコンを持参してください。持参出来ない方は、貸出可能ですので、愛媛大学教育企画室までお問い合わせください (数量限定)。

たループリックは、他者と共有することができます。

1. ループリックとは何か？
2. なぜループリックを使うのか？
3. ループリックをどうやって作成するか？
ループリック作成の4段階
第1段階：振り返り (リフレクティング)
第2段階：リスト作成
第3段階：グループ化とラベリング
第4段階：適用
4. ループリック作成 (個人ワーク)
5. ブラッシュアップ (ペアワーク)

▶受講者の声

○ループリックとは、どのようなものであるべきか、深く理解することができました。学生・教員双方のためのループリック作りを行うことで、学習意欲を引き出せるのではないかと思います。
○これまでレポートや授業記録を提出させた後、教員コメントを書くのに手間・時間をかけていたので、今後は効率よく評価できると思います。また、授業態度の評価基準もきちんとしたものではなかったので、学生との合意でやれるのが双方のメリットになると思います。

プログラム番号 I-015 **New!!****学生を眠らせない講義法のコツ**

遠隔 FD/SD

主な対象

講義を受け持つようになって間もない教員。また、受講を希望される職員の参加も歓迎します。

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

小林直人(愛媛大学教育企画室)

日時

4月3日(火)11:00~12:00

場所

愛大ミュージアム1階アクティブ・ラーニングスペース2

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

***メー**

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

- 1 講義中に学生の集中力を維持するための様々な講義スキルを学ぶ。
- 2 自分が担当する講義で活用できる講義の“パーツ”を列挙できる。
- 3 自分の講義中に複数の“シーン”を切り替えることができる。

内容

(この講習自体が授業のメタファーです。授業の“シーン”が切り替わる様子を体験してください。)

- 1 小テストを体験してみる:「授業の“パーツ”」を列挙する
- 2 学生に質問を投げかける方法を体験してみる:大教室でのコミュニケーション
- 3 「Think, Pair, Share」の手法を体験してみる:小規模のグループワーク
- 4 質疑応答
- 5 アクティブ・ラーニングについて考えてみる:得るものと失うもの
- 6 宿題を出すことについて:授業時間外学習を促すために
- 7 まとめ

▶参考資料

「大学教員のための授業方法とデザイン」
佐藤・編, 玉川大学出版部, 2010

▶準備物について

自分が担当する授業のシラバス(もしあれば)

プログラム番号 I-016 **New!!****動機を高める第1回目の授業づくり**

遠隔 FD/SD

主な対象

教職員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

佐藤浩章(愛媛大学教育企画室)

日時

4月4日(水)11:00~12:00

場所

愛大ミュージアム1階アクティブ・ラーニングスペース2

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

***メー**

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. 1回目の授業ですべき2つの事を説明できる。
2. 人間関係の緊張関係を低減する方法を複数説明できる。
3. 学習動機を高めるコース・クエスチョンを作成できる。

内容

第1回目の授業を、オリエンテーションをして早めに終了したり、概要はすでにシラバスに掲載していることを理由にすぐに授業を開始してしまっていないか? 第1回目の授業は、学生の学習動機を高めるために、重要な機会です。第一に人間関係の緊張関係を低減すること(具体的には、教員と学生との距離を縮め、学生同士の人間関係の緊張を短時間で下げる)、第二に学習動機の緊張関係を高めること(具体的には、学期内の授業が終わるまで継続して知的探究心を維持するコース・クエスチョンを問いかけること)で、学生の学習のスタートをより刺激的なものとすることができます。

▶準備物について

参加者は、ご自分の授業のシラバスをご持参ください。

プログラム番号 I-017 **New!!****動機を高め記憶に残る講義法 — 動機と記憶の理論 —**

FD/SD

主な対象

学習者の動機を高め、記憶に残る授業を理論的な根拠に基づき、作り上げたいと考えている教職員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

佐藤浩章(愛媛大学教育企画室)

日時

8月28日(火) 13:00~16:00

場所

愛大ミュージアムアクティブ・ラーニングスペース2

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

メ切

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. 主要な動機づけ理論を説明できる。
2. 記憶に関する理論を説明できる。
3. 動機づけ理論と記憶に関する理論を自らの授業で活用できる。

内容

一方的な講義法の限界が指摘され、アクティブ・ラーニングが大学教育の現場にも普及していますが、いまだ講義法は学習者が「情報獲得」するためには有効な手法ですし、最も多くの大学教員が使っている手法でもあります。こんな時代だからこそ、原点に立ち戻って、「講義法」の王道を学習してみませんか。講義法を通して、動機を高めるにはどうしたらよいか、記憶に残るように説明するにはどうしたらよいかについて学習します。その際、各種研究により明らかになった理論を、自らの授業で活用する方策を立て、参加者相互のブラッシュアップにより、より良いものにしていきます。

1. はじめに

- ・過去のインストラクション分析

2. 現状分析

- ・演習(マイクロティーチング)
- ・振り返り

3. 動機づけ

- ・動機の重要性
- ・いかにして学生を動機づけるか
- ・学生の一般的動機

4. 記憶

- ・二種類の記憶
- ・忘却の原因
- ・記憶を促進する要因

5. 方策立案

- ・演習(マイクロティーチング)
- ・振り返り

プログラム番号 I-018

Adobe Premiere Elementsを使った動画教材作成法

FD/SD

主な対象

動画の基本編集と各種形式ファイルへの書き出し、DVDへの書き込み方法を知りたい方

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

二神透(愛媛大学防災情報研究センター)

日時

9月4日(火) 13:00~15:00

場所

総合情報メディアセンター第1演習室

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

メ切

開講日2週間前、先着順

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. Premiere Elementsの基本操作の習得
2. 複数動画の編集操作の習得
3. wmv,mpeg,DVDへの動画保存と再生

▶参考資料***内容***

1. はじめに
2. ソフトの起動
3. 画面説明
 - ・プロジェクトウィンドウ
 - ・モニタウィンドウ
 - ・ランタイムウィンドウ
4. 編集
 - ・ファイルの貼り付け
 - ・ファイルの確認
5. 映像に変化をつける
 - ・エフェクトの挿入
6. 録画したビデオの編集
 - ・タイトルの編集・保存
7. BGMの挿入
8. 各種形式ファイル書き出し
9. DVDへの書き込み
10. ムービーの再生

▶受講者の声

- 授業で、例えば実験操作を映像にとって学生に示すことに役立てようと思っている。
- 初めて動画の取り込みを経験したので是非講義に試してみたい。

プログラム番号 I-019

パワーポイント2010基本技・便利技

FD/SD

主な対象

パワーポイントの基本から、図形・写真・グラフ・動画の挿入・アニメーションについて学びたい方

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

二神透 (愛媛大学防災情報研究センター)

日時

9月7日(金) 13:00~15:00

場所

総合情報メディアセンター演習室 1

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

メ切

要問い合わせ

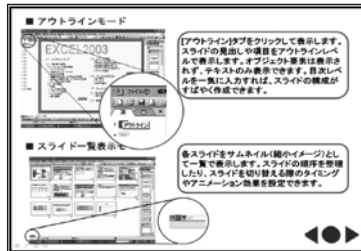
申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

1. プレゼンテーションと基本操作の習得
2. 図形・写真・表やグラフの作成・挿入
3. 動画の挿入・ハイパーリンクの活用
4. 各種アニメーションの設定と実行

▶参考資料



▶受講者の声

- 今まで適当に使っていた機能の効率的な使い方が良く分かった。
- 基本的なものから、とても分かりやすく学べてよかったです。

内容

1. 基本操作編
 - ・効果的なプレゼンとは
 - ・Power Point2010の基本
 - ・スライド作成の基本
2. 図形・写真・表やグラフの作成・挿入
 - ・図形を描こう
 - ・写真の加工
 - ・表を作成しよう
 - ・グラフを作成しよう
 - ・パワーポイントへの挿入
3. 動画の挿入・ハイパーリンクの活用
 - ・ハイパーリンクとは
 - ・動画の挿入
4. 最終調整、資料準備編
 - ・スライドのデザイン
 - ・スライドショーの設定
 - ・配布資料の作成
5. プレゼンテーション実行編
 - ・スライドショー
 - ・動作設定ボタンの利用
 - ・アニメーション

プログラム番号 K-017

New!!

学生の自立を促す学生支援の実践とコツ

FD/SD

主な対象

右記参照

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

佐藤慶太 (香川大学教育開発センター)

日時

8月21日(火) 15:00~17:00

場所

香川県立保健医療大学205講義室

受講定員

70名

主催

香川県立保健医療大学FD委員会, SPOD

メ切

要問い合わせ

申込先・問合せ

香川県立保健医療大学
E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp

主な対象

- ・学生支援や学生の能力開発に意欲のある教職員
- ・ピアサポート、ボランティア、リーダーシップに関心のある学生

目標

学生の自立を促すために教職員の関わりについて、他大学の正課・正課外活動等の事例とコツを学び、自大学での取り組み案のたたき台を構築することを目指します。

内容

- ・事例大学 (国立4大学) の実践事例紹介 (実践事例とその特徴紹介と成果報告)
- ・導入の仕掛け (どうやって大学や学生、教職員を巻き込むか、大学に組み込みを認めてもらうか)
- ・事例大学での教職員の関わりのコツ (学生を自立させるためのコツ)
- ・学生の生の声紹介 (学生プレゼンもしくはDVD映像)
- ・質疑応答
- ・自大学で取り組むためのたたき台作成

▶準備物

- ・パソコン, プロジェクター, スクリーン, レーザーポインター付き遠隔マウス, 付箋紙, 模造紙, 水性カラーマジック, A4用紙

プログラム番号 K-018 **New!!****学生の自立を促す学生支援の実践とコツ**

FD/SD

主な対象

右記参照

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

佐藤慶太 (香川大学大学教育開発センター)

日時

9月上旬

場所

高松大学, 高松短期大学 2号館1階2105・2106講義室

受講定員

100名

主催

高松大学, 高松短期大学, SPOD

***メー**

要問い合わせ

申込先・問合せ高松大学・高松短期大学 総務部企画課
E-mail: kikaku@takamatsu-u.ac.jp***主な対象***

- ・学生支援や学生の能力開発に意欲のある教職員
- ・ピアサポート, ボランティア, リーダーシップに関心のある学生

目標

学生の自立を促すために教職員の関わりについて, 他大学の正課・正課外活動等の事例とコツを学び, 自大学での取り組み案のたたき台を構築することを目指します。

内容

- ・事例大学 (国立4大学) の実践事例紹介 (実践事例とその特徴紹介と成果報告)
- ・導入の仕掛け (どうやって大学や学生, 教職員を巻き込むか, 大学に組み込みを認めてもらうか)
- ・事例大学での教職員の関わりのコツ (学生を自立させるためのコツ)
- ・学生の生の声紹介 (学生プレゼンもしくはDVD映像)
- ・質疑応答
- ・自大学で取り組むためのたたき台作成

▶準備物

パソコン, プロジェクター, スクリーン, レーザーポインター付き遠隔マウス, 付箋紙, 模造紙, 水性カラーマジック, A4用紙

プログラム番号 K-019 **New!!****学生の自立を促す学生支援の実践とコツ**

FD/SD

主な対象

学生の自立を促す支援をしたいと考える全教職員

対象校

全SPOD加盟校

目標

右記参照

講師

葛城浩一 (香川大学大学教育開発センター)

日時

6~7月中

場所

未定

受講定員

80人

主催

香川短期大学, SPOD

***メー**

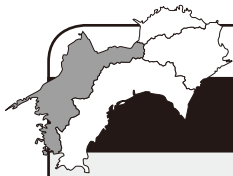
要問い合わせ

申込先・問合せ香川短期大学
E-mail: hino@kjc.ac.jp***目標***

学生の現状を分析し, 学生の自立を促すために何が必要かを理解して, 実践的な支援をするための手ごかりをつかむ。

内容

- ・事例大学 (国立4大学) の実践事例紹介 (実践事例とその特徴紹介と成果報告)
- ・導入の仕掛け (どうやって大学や学生, 教職員を巻き込むか, 大学に組み込みを認めてもらうか)
- ・事例大学での教職員の関わりのコツ (学生を自立させるためのコツ)
- ・学生の生の声紹介 (学生プレゼンもしくはDVD映像)
- ・質疑応答
- ・自大学で取り組むためのたたき台作成

プログラム番号 I-020 **New!!**

学生の自立を促す学生支援の実践とコツ

FD*SD

主な対象

右記参照

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

吉田 博 (徳島大学開放実践センター)

日時

9月中

場所

愛大ミュージアムアクティブラーニングスペース2

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点), SPOD

メー切

要問い合わせ

申込先・問合せ先

愛媛大学・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

主な対象

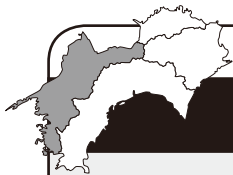
- ・学生支援や学生の能力開発に意欲のある教職員
- ・ピアサポート, ボランティア, リーダーシップに関心のある学生

目標

学生の自立を促すために教職員の関わりについて, 他大学の正課・正課外活動等の事例とコツを学び, 自大学での取り組み案のたたき台を構築することを目指します。

内容

- ・事例大学 (国立4大学) の実践事例紹介 (実践事例とその特徴紹介と成果報告)
- ・導入の仕掛け (どうやって大学や学生, 教職員を巻き込むか, 大学に組み込みを認めてもらうか)
- ・事例大学での教職員の関わりのコツ (学生を自立させるためのコツ)
- ・学生の生の声紹介 (学生プレゼンもしくはDVD映像)
- ・質疑応答
- ・自大学で取り組むためのたたき台作成

プログラム番号 I-034 **New!!**

学生の自立を促す学生支援の実践とコツ

FD*SD

主な対象

右記参照

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

秦 敬治 (愛媛大学教育企画室)

日時

12月21日(金)13:00~

場所

愛媛県立医療技術大学 合同講義室 (南棟1階, 116号室)

受講定員

60名

主催

公立大学法人愛媛県立医療技術大学, SPOD

メー切

要問い合わせ

申込先・問合せ先

経営企画グループ
E-mail: shiba-nobuhiko@epu.ac.jp

主な対象

- ・学生支援や学生の能力開発に意欲のある教職員
- ・ピアサポート, ボランティア, リーダーシップに関心のある学生

目標

学生の自立を促すために教職員の関わりについて, 他大学の正課・正課外活動等の事例とコツを学び, 自大学での取り組み案のたたき台を構築することを目指します。

内容

- ・事例大学 (国立4大学) の実践事例紹介 (実践事例とその特徴紹介と成果報告)
- ・導入の仕掛け (どうやって大学や学生, 教職員を巻き込むか, 大学に組み込みを認めてもらうか)
- ・事例大学での教職員の関わりのコツ (学生を自立させるためのコツ)
- ・学生の生の声紹介 (学生プレゼンもしくはDVD映像)
- ・質疑応答
- ・自大学で取り組むためのたたき台作成

プログラム番号 Y-013 **New!!****学生の自立を促す学生支援の実践とコツ**

FD/SD

主な対象

右記参照

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

立川明 (高知大学総合教育センター)

日時

7月25日(水) 13:30~16:00

場所

高知工科大学

受講定員

50名

主催

高知工科大学, SPOD

メー切

要問い合わせ

申込先・問合せ

高知工科大学・人事部

E-mail: personnel@ml.kochi-tech.ac.jp

主な対象

- ・学生支援や学生の能力開発に意欲のある教職員
- ・ピアサポート, ボランティア, リーダーシップに関心のある学生

目標

学生の自立を促すために教職員の関わりについて, 他大学の正課・正課外活動等の事例とコツを学び, 自大学での取り組み案のたたき台を構築することを目指します。

▶参考資料

Tips 6 (高知大学総合教育センター)

内容

- ・事例大学 (国立4大学) の実践事例紹介 (実践事例とその特徴紹介と成果報告)
- ・導入の仕掛け (どうやって大学や学生, 教職員を巻き込むか, 大学に取り組みを認めてもらうか)
- ・事例大学での教職員の関わりのコツ (学生を自立させるためのコツ)
- ・学生の生の声紹介 (学生プレゼンもしくはDVD映像)
- ・質疑応答
- ・自大学で取り組むためのたたき台作成

プログラム番号 Y-014 **New!!****学生の自立を促す学生支援の実践とコツ**

FD/SD

主な対象

右記参照

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

塩崎俊彦 (高知大学総合教育センター)

日時

9月18日(火) 14:00~16:00

場所

高知学園短期大学 大会議室

受講定員

80名

主催

高知学園短期大学FD委員会, SPOD

メー切

要問い合わせ

申込先・問合せ

高知学園短期大学教務課

E-mail: kyoumu@kouchi-gc.ac.jp

主な対象

- ・学生支援や学生の能力開発に意欲のある教職員
- ・ピアサポート, ボランティア, リーダーシップに関心のある学生

目標

学生の自立を促すために教職員の関わりについて, 他大学の正課・正課外活動等の事例とコツを学び, 自大学での取り組み案のたたき台を構築することを目指します。

内容

- ・事例大学 (国立4大学) の実践事例紹介 (実践事例とその特徴紹介と成果報告)
- ・導入の仕掛け (どうやって大学や学生, 教職員を巻き込むか, 大学に取り組みを認めてもらうか)
- ・事例大学での教職員の関わりのコツ (学生を自立させるためのコツ)
- ・学生の生の声紹介 (学生プレゼンもしくはDVD映像)
- ・質疑応答
- ・自大学で取り組むためのたたき台作成

プログラム番号 Y-015 **New!!****高専生を元気にする学生指導法のコツ**

FD/SD

主な対象

教職員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

坪井泰士 (阿南工業高等専門学校)

日時

9月24日(月)13:30~15:30

場所高知工業高等専門学校 図書館
視聴覚室***受講定員***

30名

主催

高知工業高等専門学校, SPOD

***メッセ**

要問い合わせ

申込先・問合せ高知工業高等専門学校総務課
E-mail: s-hosa@
jm.kochi-ct.ac.jp***目標***

高専の教育現場で起きている事例について、学生の人間関係の悩み、保護者との連携、教員間の協同など広範な学生サポート力を獲得する。

**▶参考資料**

生徒指導提要 (文部科学省), 「高専におけるクラス経営・生活指導ワークブック」(坪井作成)

内容

1. サポートを必要としている学生の存在を認識する。
2. 学生サポートが必要な事例について、シチュエーション毎にあげることができる。
3. 同事例への具体的で効果的であると思われる対応について、説明することができる。
4. 学校としての学生サポートのあり方について、意見を述べることができる。
5. 学生サポートについて助言しあえる関係をつくる。

▶受講者の声

- 学生サポートについて網羅的に把握・整理できた。個別事例も具体的に参考になった。
- 高専特有の組織、状況を踏まえていて、具体性があった。
- 学生指導を、よりシステマティック (効率的) にできるようになると感じた。

プログラム番号 I-021

障がい学生に対応した授業方法入門編

FD/SD

主な対象

教職員 (特に障がい学生が在籍している学部の教職員)

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師平尾智隆 (愛媛大学学生支援センター)
石田隼人 (愛媛大学バリアフリー推進室)
太田琢磨 (愛媛大学バリアフリー推進室)
原田美藤 (愛媛大学アカデミックアドバイザー)***日時***

9月7日(金)10:00~12:00

場所

愛大ミュージックアクティブラーニングスペース2

受講定員

30名

主催教育・学生支援機構学生支援センター、
教育学生支援部バリアフリー推進室、
教育企画室 (教職員能力開発拠点)***メッセ**

要問い合わせ

申込先・問合せ愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp***目標***

1. 障がいについての基礎知識をもとに具体的な説明ができるようになる。
2. 障がいに応じた修学上のニーズを理解する。
3. 障がい学生支援の方策について工夫ができるようになる。

**▶参考資料**<http://www.ehime-u.ac.jp/section/bfree/index.html>**▶準備物について**

受講生が用意するものは特にありません。

内容

近年、心身に障がいのある者の大学への入学が増加しています。それにとともに、健常学生とは違う様々な修学上の支援・配慮が大学の責任として認識されるようになってきました。しかし、一部の先進的な支援事例を除いては、高等教育機関での障がい学生の修学支援・配慮は、その構成員の理解と実践の上に成り立っているとはまだまだ言い難い状況です。そこで本プログラムでは、先進的な事例をいきなり学ぶのではなく、障がいとは何かを学び、障がい学生が高等教育機関で学ぶ際にどのような苦労があるのかを実習を通じて体験します。このプログラムは、高等教育機関の構成員1人ひとりが障がいを理解し、意識のレベルでのバリアフリーを実現することを目的とした入門プログラムです。特に、専門的な知識や技術は必要としません。多くの方の参加をお待ちしています。

プログラム番号 I-022 **New!!****教育系競争的資金獲得のための申請書作成ワークショップ**

FD/SD

主な対象

これまでに教育系競争的資金獲得のための申請書を作成したことがある教職員。また今後、教育系競争的資金獲得のための申請書を作成する可能性のある教職員の方を歓迎いたします。

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

秦 敬治、佐藤浩章、山田剛史、仲道雅輝、大竹奈津子（愛媛大学教育企画室）

日時

3月中

場所

愛大ミュージアムアクティブラーニングスペース2

受講定員

30名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

メロ

開講日2週間前、先着順

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

目標

- ①所属学部・学科の教育課題を複数あげることができる。
- ②上記課題の解決を目的として、プロジェクトを企画することができる。
- ③資金申請書執筆の10のコツを参照しながら、上記企画を魅力的に記載することができる。
- ④他組織の申請書の内容を聞き、共同申請の可能性を検討することができる。

内容

高等教育に関する予算状況が厳しい中、各大学・学部には、教育系競争的資金（文部科学省等による教育改革を支援する資金、学内GP等の資金など）の獲得が、継続して求められています。こうした資金の獲得にむけて、申請書作成時のテクニックやポイントについて学びながら、実際に申請書を完成させていきます。

また、資金申請にあたっては、組織間連携が求められています。これに対応するため、参加者内で、取組内容を共有することにより、共同申請の可能性を探っていきます（希望しない場合は、共有しないこともできます）。

研修形態は、ミニレクチャーと、同じ組織内の参加者でのペアワークを組み合わせ

実施されます。ペアワークでは、机の上での分類作業やパソコンを使った文書作成を行います。

※同じ機関、部局内で、2名ないし4名といった偶数名での参加が望ましい。1名でも作業は可能ですが、作業負荷が高くなります。また3名でも作業は可能ですが、パソコンでの共同作業がしにくくなります。

<ワークショップの流れ>

1. オープニング・セッション
 - ・研修のねらいと意義
 - ・進め方とスタッフ紹介
2. ミニレクチャー
 - ・申請書作成10のコツ
3. ペアワーク
 - ・各学部の教育課題抽出と整理
4. ペアワーク
 - ・申請書執筆
5. 発表会とブラッシュアップ
6. クロージング・セッション
 - ・まとめと振り返り
 - ・今後の計画案

▶準備物について

これまでに教育系競争的資金に申請されたことがある方は過去の申請書をご持参下さい。また申請予定の申請書のフォーマットがある方はそれを持参ください。

プログラム番号 I-006 **New!!****学習成果をどう測定し、活用するか？**

FD/SD

主な対象

学習成果に関わる教職員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

山田剛史（愛媛大学教育企画室）

日時

フォーラム期間中

場所

徳島大学

受講定員

40名

主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

メロ

開講日2週間前、先着順

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

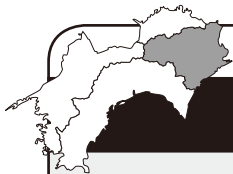
目標

1. 学習成果測定をめぐる動向について知り、理解することができる。
2. 学習成果測定に用いられる様々な方法の特徴について知り、理解することができる。
3. 教育改善に活かすためにデータを見る目を身に付けることができる。
4. 所属組織において学習成果測定の結果を有効活用するための方策についてデザインすることができる。

内容

学習成果測定は、教育の質保証に関する国際的動向の中で喫緊の課題として注目されています（例えば、OECDのAHELO等）。国内では中教審による「学士力」や日本学術会議による「分野別の教育課程編成上の参照基準」等が提起され、急速にアウトカムに基づく学士課程教育の体系化が求められています。しかし、国内外ともに学習成果の測定は概念の曖昧さも含めて十分に議論や実践が成熟しているとは言えない状況です。同時に、その測定方法も多様で、唯一の解は存在しません。そこで、自らの所属する機関の特性・文脈を踏まえつつ、学生調査などを始めとして様々な観点から学習成果の測定に関する多様な実践を蓄積し検証していく必要があります。

本プログラムでは、そうした学習成果測定をめぐる議論を概観し、いくつかの事例やワークを踏まえて、所属組織において望ましい学習成果測定の手段や活用方法について共に深めていきたいと思います。



プログラム番号 T-004

FD・SDセミナー

遠隔

FD/SD

*主な対象

SPOD加盟校の教職員、学生

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*日時

奇数月に実施
(年4回程度実施予定)

*場所

徳島大学 大学開放実践センター3階
授業研究インテリジェントラボ等

*受講定員

40名程度

*主催

徳島大学大学教育委員会・FD専門委員会

*メ切

要問い合わせ

*申込先・問合せ

徳島大学大学開放実践センター
E-mail: t-spod@cue.
tokushima-u.ac.jp

目標

教育方法・授業改善のために利用できる、様々な方法を習得するためのスキルアップと、学生支援や研究支援に必要な能力開発を目指す。

▶研修風景

(2011年度FD・SDセミナーより)



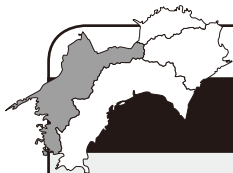
内容

現段階では未定であるが、開催する約1か月前までには決定し、決定次第ホームページ等でテーマ、詳細な内容、及び日時、場所等を周知する。

※参考として2010年度、2011年度に実施したセミナーのテーマを紹介する。

- ・授業時間外の英語学習支援体制
- ・学生と共に進める徳島大学のFD & 学生支援の展望
- ・「共通教育賞」受賞者から学ぶ授業改善
- ・ティーチング・ポートフォリオ入門
- ・徳島大学でICTを活用した授業を始めるためには
- ・聴衆応答システム(クリッカー)の実践入門
- ・心底からの教育一青は藍より出でて藍より青しー
- ・SPOD事業についてーこれまでの振り返りと今後の展望ー

※実施希望テーマ案として、「ラーニング・コモンズの取り組み」、「Institutional research (IR)について」などが挙げられている。



プログラム番号 I-023

メンタルヘルス研修

FD/SD

*主な対象

教員、事務系職員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

外部講師

*日時

6月上旬

*場所

愛媛大学会議室

*受講定員

40名

*主催

愛媛大学総務部人事課

*メ切

要問い合わせ

*申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課
E-mail: jinshoku@stu.ehime-u.ac.jp

目標

・教員及び事務系職員に対し、不調者の早期発見・早期対処方法等についての基礎知識を習得させることにより、学生・教職員の心の健康保持増進を図る。

内容

メンタルヘルスへの対応について



プログラム番号 I-024

人権啓発研修

FD/SD

*主な対象

教職員, 学生 (注)

*対象校

SPOD全加盟校 (注) ただし、
学生は愛媛大学のみ

*目標

右記参照

*講師

外部講師

*日時

12月中旬

*場所

愛媛大学会議室

*受講定員

40名

*主催

愛媛大学総務部人事課

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課

E-mail: jinshoku@stu.ehime-u.ac.jp

目標

・学生及び教職員に対し、人権問題についての正しい認識を養うとともに、人権侵害を防止し、より一層快適な教育環境及び職場環境を整えることを目的とする。

内容

ハラスメントの予防 ～セクハラ・パワハラのない大学のために～



プログラム番号 I-025

高等教育機関における安全衛生

FD/SD

*主な対象

教職員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

濱井盟子 (愛媛大学医学部安全衛生管理室), 他

*日時

9月中

*場所

愛媛大学

*受講定員

20名

*主催

愛媛大学総務部人事課

*メ切

開講日2週間前, 先着順

*申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課

E-mail: jinshoku@stu.ehime-u.ac.jp

愛媛大学施設基盤部安全衛生管理課

E-mail: anzen@stu.ehime-u.ac.jp

目標

1. 高等教育機関の職員として求められ安全衛生についての素養を習得することができる。
2. 他機関と課題を共有し意見交換することによって、自機関の安全衛生に係る課題解決が推進される。

内容

1. 安全衛生の基礎知識
2. 高等教育機関の安全衛生の動向について
3. 愛媛大学の取り組み紹介
4. グループワークによる課題提起及び意見交換





FDer養成プログラム

(ファカルティ・ディベロッパー対象)

プログラム番号 T-005

FDファシリテーター養成研修

FDer

*主な対象

FDを担当する教員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

川野卓二・宮田政徳・香川順子・
吉田博 (徳島大学大学開放実践
センター)

*日時

6月9日(土)~10日(日)

*場所

独立行政法人国立青少年教育振
興機構「国立淡路青少年交流の
家」(兵庫県南あわじ市)

*受講定員

30名

*主催

徳島大学 大学教育委員会・F
D専門委員会

*メー

要問い合わせ

*申込先・問合せ

徳島大学大学開放実践センター
E-mail: t-spod@cue.
tokushima-u.ac.jp

目標

この研修は一泊二日の合宿形式で行い、各大学でFDを企画・実施する立場にあるFDリーダーを養成するものである。FD担当者として次の三つの目標を達成することを目指している。

1. FD活動の理念と活動計画を理解し、独自のFDプログラムを開発する。
2. FDリーダーとして活動できる能力と資質を体得する。
3. FDリーダー間の仲間づくり、FDネットワークづくりをする。

内容 (予定)

1日目

①オリエンテーション

(研修のねらいと進め方)

②アイスブレイク

③FD活動の理解

・FDとは何か?

・徳島大学全学FD推進プログラムの理解

④FDファシリテーターの役割とFD実践

・FDファシリテーターとは?

・各部署FDの紹介とその視点

⑤各部署FDの課題把握(ワーク)

⑥FDプログラムの企画・立案(ワーク)

〈夜〉交流会

2日目

①プログラム評価の仕方(講義・ワーク)

②FDプログラムの仕上げ(ワーク)

③FDプログラムの発表と相互交流

④研修のまとめ(感想・アンケート)

(備考)

※ワークの部分は、グループでのワークを中心に実施していきます。

※二日間通しの参加となります。一日だけの参加はできません。

※徳島大学~会場までの移動は、往復借り上げバスとなります。

▶研修風景 (2011年度FDファシリテーター養成研修より)



▶受講者の声 (2011年度FDファシリテーター養成研修アンケートより)

- FDの目的について理解できた。
- FDに関する知識を修得できた。
- FDの事例を学んだ。
- FDについて時間をかけて考えた。
- FDのプログラムの作成手順を理解してプログラムを作ることができた。
- 他大学、他学部のFDの現状を理解して交流することで仲間ができた。
- 他大学、他学部の先生方との交流で様々な問題を共有できた。

▶参考資料

FD担当者必携マニュアル第1巻「FDプログラムの開発・実施・評価」

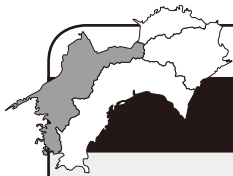
▶準備物

- FD担当者必携マニュアル第1巻「FDプログラムの開発・実施・評価」
- FDプログラム作成用ノートパソコン
- FDプログラム「実施要項」及び「日程」のテンプレート(事前配布予定)



SDプログラム

(職員対象)



プログラム番号 I-026

大学人、社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)

SD

主な対象

係員相当級の職員

対象校

SPOD全加盟校

目標

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

講師

外部講師、SPOD内講師

日時

10月17日(水)～19日(金)
2泊3日

場所

愛媛大学会議室

受講定員

30名

主催

愛媛大学(教職員能力開発拠点)、SPOD

メッセ

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課
E-mail : jinshoku@stu.
ehime-u.ac.jp

内容

大学人、社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)のうち、5つの研修科目を実施する。(原則として全部受講とするが、部分受講も可。)

■ビジネスマナー入門編

目標

- ・ビジネスマナーの基本を実践することができる
- ・一般的なビジネス文書を作成することができる
- ・議事録を作成することができる
- ・基本的な電話対応、接客対応を行うことができる

内容

- ・ビジネス文書とは ～基礎知識
- ・ビジネス文書作成時のポイント
- ・文書作成スキルを向上させるヒント
- ・議事録作成のポイント
- ・ビジネスマナーの基本
- ・来客対応・訪問のマナー
- ・電話対応
- ・「ハウ・レン・ソウ」の重要性

■コミュニケーション入門

目標

- ・傾聴することができる
- ・周囲の者と積極的に会話することができる
- ・上司、同僚に相談することができる

内容

- ・コミュニケーションのスタートライン
- ・職場のコミュニケーション～周囲の気持ちを理解する
- ・「聴く」スキル＝「傾聴力」のポイント
- ・「訊く」スキル＝「質問力」のポイント
- ・言いたいことをわかりやすく伝えるスキル



■プレゼンテーション入門***目標***

- ・相手に分かりやすい資料を作成することができる
- ・相手に分かりやすい説明をすることができる

内容

- ・プレゼンテーションの基礎
- ・誰でも簡単にプレゼンテーションを成功させるコツ
- ・プレゼンテーション資料の作成
- ・分かりやすい話しの組み立て方
- ・分かりやすい話し方
- ・「ヒアリング」スキルとは？

■職員キャリア形成入門***内容***

- ・自分のキャリアを話すことができる
- ・自分のキャリアプランニングを作成することができる
- ・自己管理を行うことができる

内容

- ・キャリアとは
- ・個人の特性を把握する
- ・これからを考える ～この2年、10年を主体的に生きる

■リーダーシップ入門***目標***

- ・リーダーシップ（必要性、スタイル等）について述べるができる
- ・フォロアーシップ（必要性、手法等）について述べるができる
- ・自己の仕事レベルでリーダーシップを発揮することができる
- ・自己の仕事レベルでフォロアーシップを発揮することができる

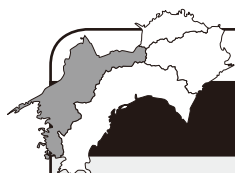
内容

- ・リーダーシップとは
- ・リーダーシップを発揮するための仕事力
- ・リーダーシップを発揮するための人間力

▶受講者の声

- グループワークが多く、他大学の人と交流する良い機会になり、また、社会人としての基礎を基本から学ぶことができ、大変勉強になった。
- プレゼンテーションの講義内容が充実していて、必要なスキルだったので、受講できて良かった。





プログラム番号 I-027

大学人、社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)

SD

主な対象

OA事務中級職員（業務で多数のExcel形式の表、データや帳票等を使用している方）、職位不問

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

外部講師、SPOD内講師

日時

9月13日(木)～14日(金)
(1泊2日)

場所

愛媛大学会議室

受講定員

30名

主催

愛媛大学（教職員能力開発拠点）、SPOD

メ切

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課
E-mail: jinshoku@stu.
ehime-u.ac.jp

目標

・高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

内容

大学人、社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅡ）のうち、情報科学応用編 区分2「Access」を実施する。（原則として全部受講とするが、部分受講も可。）

■情報科学応用編「Access」

（Microsoft Office Access2010の活用方法をパソコンを用いた演習を交えて習得します。）

目標

- ・データベースとテーブルを作成できる
- ・リレーションシップを定義できる
- ・クエリの作成と編集ができる
- ・フォームの作成と編集ができる
- ・レポートの作成と編集ができる
- ・マクロの作成と編集ができる

内容

- ・テーブルの作成方法、データ型、フィールドプロパティ、オートナンバー型など、Accessの基本的な内容を学習し、さらにデータのインポートやエクスポート、テーブルのフィルタ機能について
- ・テーブルの構成とリレーションシップについて
- ・クエリの利用について
- ・クエリの結合方法と集計、アクションクエリについて
- ・フォームについて作成方法とその利用方法について
- ・メイン/サブフォームについて
- ・目的のレポートを作成する方法と、宛名ラベルウィザードを使ってレポートからラベルを作成する方法について
- ・レポートのレイアウトの変更方法、演算コントロール
- ・マクロの基礎からマクロを利用したメインパネルを作成
- ・バックアップの取り方、依存関係の確認方法など便利な機能

プログラム番号 I-028

大学人、社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅢ)

SD

主な対象

課長，課長補佐相当級の職員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

外部講師，SPOD内講師

日時

6月7日(木)～8日(金)
(1泊2日)

場所

愛媛大学会議室

受講定員

30名

主催

愛媛大学（教職員能力開発拠点），SPOD

メロ

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課
E-mail : jinshoku@stu.
ehime-u.ac.jp

目標

- ・高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

内容

大学人，社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅢ）のうち，大学政策論区分1・2・3を実施する。（原則として全部受講とするが，部分受講も可。）

■大学政策論

目標

- ・危機管理対応・管理体制の構築を行うことができる
- ・ハラスメントに対する防止・対応を行うことができる
- ・大学の意思決定，ルールに対して改善策を提案することができる
- ・規程の制定・改正にあたり，他の諸規程との調整を行うことができる
- ・社会動向に応じた大学の方針の企画立案を行うことができる
- ・大学の理念や建学の精神をもとに大学政策を策定することができる

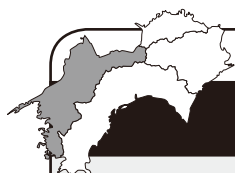
内容

詳しい内容については，愛媛大学総務部人事課にお問い合わせください。
詳細は決まり次第，SPODホームページ（<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>）に掲載しますので，ご参照ください。

▶受講者の声

- 他大学の方との交流や情報交換ができた。
- 専門的な知識，スキルを身につけることができ，視野が広がった。



プログラム番号 I-029 **New!!**

学務系職員養成プログラム研修(レベルⅡ) SD

主な対象

係長・主任相当級の職員

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

SPOD内講師

日時

7月中旬
(1泊2日)

場所

愛媛大学会議室

受講定員

30名

主催

SPOD, 愛媛大学(教職員能力
開発拠点)

メー切

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学教育企画課
E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp

目標

・高等教育機関の学務系業務担当職員として求められる専門的な素養を習得することができる

内容

学務系職員養成プログラム(レベルⅡ)のうち、5つの研修科目を実施する。(原則として全部受講とするが、部分受講も可。)

■学生相談実践

目標

- ・学生の抱える問題や相談に適切にアドバイスをすることができる。
- ・問題のある学生に対して、指導教員及び学内関係機関と連携して対応することができる。

内容

※受講者募集時の募集要項参照。

■学生危機管理対応実践

目標

- ・学生生活における危険性(携帯電話・PC等サイト、カルト、薬物等)から学生を守る対応策を考えることができる。

内容

※受講者募集時の募集要項参照。

■入試情報分析論

目標

- ・受験生、保護者、高校とのニーズについて分析することができる
- ・入試に関するデータを分析することができる

内容

※受講者募集時の募集要項参照。

■インターンシップ支援実践

目標

- ・インターンシップ受入企業と連絡調整をすることができる。
- ・インターンシップ受入企業を開拓することができる。

内容

※受講者募集時の募集要項参照。

■高等教育比較・分析論

目標

- ・高等教育施策と自大学等の現状を比較・分析することができる。
- ・他大学等と自大学等の教育内容を比較・分析することができる。

内容

※受講者募集時の募集要項参照。

プログラム番号 I-030, T-006, K-015, Y-009

次世代リーダー養成プログラム

SD

*主な対象

- 以下の条件を満たす者。
- ・40歳以下を原則とする。
- ・各機関の長が推薦する者。
- ・SPOD加盟校の職員。
- ・次世代リーダー養成研修受講希望者は、スタッフ・ポートフォリオWSを受講し、受講申し込み時に提出すること。
- ・受講にあたっての抱負が明確であり、受講申込時に文書（400文字程度）で提出できる者。
- ・専門職養成プログラム（共通教育・専門教育）のレベルⅡを修了した者、または、それと同等の能力があると認められた者。

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

外部講師、SPOD内講師

*日時

第1回6月21日(木)～23日(土)
 第2回7月19日(木)～21日(土)
 第3回11月15日(木)～16日(金)
 第4回1月24日(木)～26日(土)

*場所

第1回 愛媛大学
 第2回 徳島大学・四国大学
 第3回 香川大学
 第4回 高知大学・高知工科

*受講定員

15名

*主催

SPOD

*協力校

高知大学

*メ切

要問い合わせ

*申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課
 E-mail : jinshoku@stu.
 ehime-u.ac.jp

目的

将来、事務職員がトップリーダー（経営者・管理者）として、大学等の経営を担うために必要な知識（理論）・技能（実践力）・態度を段階的に養成する。

目標

【知識（理論）】

大学等の経営に必要な以下のことができる

- ・高等教育に関する知識・理論（高等教育論、高等教育史、高等教育政策・行政、教育関係法、教育財政）を応用する。
- ・経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する知識・理論を応用する。
- ・リーダーシップに関する知識・理論を応用する。

【技能（実践力）】

上記の知識を利用して、大学等の大局的な運営に必要な以下のことができる。

- ・情報収集・分析を行う。
- ・企画策定・提案を行う。
- ・判断を行う。
- ・折衝・調整を行う。
- ・後継者育成を行う。

【態度】

- ・学生を中心とした教育活動に積極的に働きかけることができる。
- ・立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。
- ・リーダーとしてふさわしい言動をとることができる。

内容

1年目

第1回

1日目

- ・オリエンテーション
- ・アイスブレイク
- ・二年目受講生とのメンタリング

2日目

- ・リーダーシップ論&実践Ⅰ
- ・大学職員論

3日目

- ・自大学プレゼンテーションⅠ

第2回

1日目

- ・課題プレゼンテーション
- ・高等教育政策論

2日目

- ・SD演習
- ・高等教育ⅠR
- ・課題プレゼンテーション

3日目

- ・二年目受講生によるSPODフォーラムプログラム講義と講評

第3回

1日目

- ・二年目受講生とのメンタリング実践Ⅱ
- ・大学行政管理日米比較

2日目

- ・大学行政管理日米比較の振り返り
- ・課題レポート講評
- ・トップリーダーとの対談準備
- ・トップリーダーとの対談

3日目

- ・SD論
- ・大学改革プレゼンテーション

第4回

1日目

- ・トップリーダー対談振り返り
- ・大学の構成員等を巻き込んだプロジェクトの構築



2日目

- ・二年目受講生による修了プロジェクト発表
- ・コミュニケーションを『みる』
- ・インストラクショナルデザイン (ID) を活用した職員による企画・立案マネジメント

3日目

- ・二年目に向けての意見交換
- ・講話

2年目**第5回****1日目**

- ・メンター入門
- ・ミーティング・アイスブレイク
- ・一年目受講生へのメンタリング

2日目

- ・SPODフォーラム用シラバス作成
- ・プロジェクト企画進捗報告

3日目

- ・一年目受講生による自大学プレゼンテーション

第6回**1日目**

- ・SPODフォーラム準備
- ・プロジェクト企画進捗報告

2日目

- ・SPODフォーラム準備
- ・高等教育IR

3日目

- ・SPODフォーラムプログラム講義と講評

第7回**1日目**

- ・一年目受講生へのメンタリング実践Ⅱ
- ・大学行政管理日米比較

2日目

- ・大学行政管理日米比較の振り返り
- ・一年目受講生の課題レポート講評
- ・プロジェクト企画進捗状況
- ・SPOD-SDプログラム講師を目指して

3日目

- ・SPOD-SDプログラム講師を目指して
- ・一年目受講生による大学改革プレゼンテーション

第8回**1日目**

- ・二年間の振り返り (次世代リーダー養成プログラム改善)
- ・一年目受講生による大学の構成員等を巻き込んだプロジェクトの構築

2日目

- ・修了プロジェクト発表・最終口頭試問

3日目

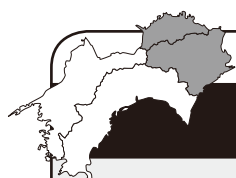
- ・SDプログラム構築実践
- ・講話
- ・修了式

***修了要件***

- ・全日程の9割以上出席。
- ・全ての課題 (レポート, プレゼンテーション, ディスカッション, 実践等) をこなし, 合格すること。
- ・最終口頭試問で合格すること。
- ・全てのプログラムについてA~Dの4段階で評価し, 総合判定A~Cの評価を得ること。
- ・修了後は, SPODのSD講師に登録すること。

▶受講者の声

- 課題をこなすことで, 特に大学改革など, 知らなかった知識やプレゼンテーションスキルを身につけることができた。
- メンター・メンティーの関係は今までに経験したことがなく, 早速実践している。
- ポートフォリオ作成を通じて, 自分について深く掘り下げて考えられた。
- 受講生が少人数のため, 講師と受講生の意見交換や質疑応答が活発になるところが良い。



プログラム番号 K-016

高等教育トップリーダーセミナー

SD

*主な対象

大学、短期大学及び高等専門学校
の学長、校長、理事、副学長、
事務局長、部長クラス

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

外部講師、SPOD内講師

*日時

SPODフォーラム期間中

*場所

徳島大学

*受講定員

未定

*主催

SPOD

*協力校

香川大学

*メ切

要問い合わせ

*申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課
E-mail : jinshoku@stu.
ehime-u.ac.jp

目的

・高等教育界をリードする大学等のトップリーダー（経営者・管理者）として、
大学等の経営管理を担うために必要な情報を収集し、トップリーダーとしての能力
を高めることを目的とする。

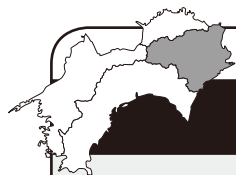
内容

下記のプログラムの中から、希望するプログラムを選択し、受講する。

【プログラム】

- (1) 教育論・高等教育論
- (2) 高等教育史
- (3) 教育法規
- (4) 高等教育政策・行政
- (5) 高等教育財政
- (6) 経営管理
- (7) 財務管理
- (8) 危機管理
- (9) 教育研究の水準向上
- (10) 地域・諸外国との連携や貢献
- (11) リーダーシップ論
- (12) 学生支援論

※特定非営利活動法人大学職員サポートセンターが行っているプログラムを参考



プログラム番号 T-008

大学職員のための企画力養成講座

SD

*主な対象

職員

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

右記参照

*講師

秦 敬治（愛媛大学教育企画室）

*日時

7月13日（金）

*場所

鳴門教育大学（地域連携セン
ター 多目的教室）

*受講定員

30名

*主催

鳴門教育大学経営企画本部人事
課、SPOD

*メ切

要問い合わせ

*申込先・問合せ

鳴門教育大学経営企画本部
人事課人事労務チーム
E-mail : jinji@naruto-u.ac.jp

目標

- (1) 問題発見手法を実践することができる
- (2) 多くの情報をグループ化することができる
- (3) 問題解決提案を行うことができる
- (4) 企画を効果的にプレゼンテーションすることができる

内容

大学職員に必要な能力として「問題発見・解決能力」がよく取り上げられていま
す。このプログラムは、大学改革、業務改善を行って行く上での、「問題発見・
解決能力」と「企画提案力」の手法を学ぶものです。研修のための研修ではな
く、このプログラムで身につけた手法や企画書を実際に大学に持ち帰り、上司や
大学に提案できるよう、実践に即したスタイルで行います。大学や今の業務に疑
問や改善点を持たれている職員の方はもちろん、どうやって見つけたらよいか、
提案したら良いのか分からない職員の方もどうか遠慮なく参加ください。

プログラム番号 Y-010

大学職員のための企画力養成講座

SD

主な対象

職員（原則として採用後4～10年未満の係員）

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

秦 敬治（愛媛大学教育企画室）

日時

7月23日(月)13:00～17:00

場所

高知大学総合研究棟2階
会議室1

受講定員

30名

主催

高知大学人事課, SPOD

大切

要問い合わせ

申込先・問合せ

高知大学総務部人事課
労務管理係

E-mail : kj08@kochi-u.ac.jp

目標

- ・問題発見手法を実践できる。
- ・多くの情報をグループ化することができる。
- ・問題解決提案を行うことができる。
- ・企画を効果的にプレゼンテーションすることができる。

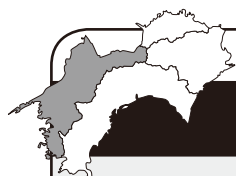
内容

職員に必要な能力として「問題発見・解決能力」がよく取り上げられている。このプログラムは、大学改革、業務改善を行っていく上での「問題発見・解決能力」と「企画提案力」の手法を学ぶものである。研修のための研修ではなく、このプログラムで身につけた手法や企画書を実際に大学に持ち帰り、上司や大学に提案できるよう、実践に即したスタイルで行う。

▶受講者の声

- 日々の業務の課題を見つけ出し、改善を考えることで、仕事に対する意識が高まった。
- 同年代の職員と行うことで、自分だけが思っていたのではないことを知った。グループとチームの違いを感じた。13時から集中して1つのことに取り組むことで、より仲間意識を感じられた。企画は難しいものだと思っていたが、今日学んだことをつみかさねだと知った。
- 仕事上の問題点をじっくり考えることで、改善に対する意欲が出た。普段関わらない人と話せて良かった。





プログラム番号 I-031

講師養成研修

SD

主な対象

平成22年度・平成23年度講師養成研修を受講したSPOD加盟校の職員、次世代リーダー養成研修の修了者及び修了予定者（1期生・2期生）

対象校

SPOD全加盟校

目標

右記参照

講師

外部講師

日時

1回目：5月中旬
2回目：2月中旬

場所

愛媛大学会議室、他

受講定員

20名

主催

愛媛大学（教職員能力開発拠点）、SPOD

メ切

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課
E-mail：jinshoku@stu.
ehime-u.ac.jp

目標

- ・ SPOD－SD講師としての心構えを持つことができる
- ・ 研修プログラムをデザインすることができる
- ・ 研修技法を述べることができる

内容

大学人、社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅠ）のうち、リーダーシップ入門、ビジネスマナー入門編を実施をする。（原則として全部受講とするが、部分受講も可。）

【1回目】

■ビジネスマナー入門編

目標

- ・ 大学人、社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅠ）のうち、ビジネスマナー入門編の講師をすることができる

内容

- ・ 研修講師の役割と心構え
- ・ 研修プログラムデザイン
- ・ レッスンプラン作成
- ・ インストラクションの技術
- ・ 研修技法
- ・ インストラクション演習



【2回目】

■リーダーシップ入門

目標

- ・ 大学人、社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅠ）のうち、リーダーシップ入門の講師をすることができる

内容

- ・ 研修講師の役割と心構え
- ・ 研修プログラムデザイン
- ・ レッスンプラン作成
- ・ インストラクションの技術
- ・ 研修技法
- ・ インストラクション演習



▶受講者の声

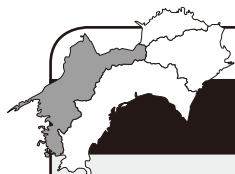
- 実践が多く、自分の癖や弱点や改善点を再認識できて良かった。
- 今まで人前で話すことはあったが、構成は考えられていなかったため、今後の参考になった。また、意識が高まった。





プレFDプログラム

(大学院生対象)



プログラム番号 I-032

教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ

プレFD

主な対象

将来、初等・中等教育や高等教育機関等で教える仕事に就きたい大学院生

対象校

SPOD全加盟校

目標

1. 教え方の基本について説明ができるようになる。
2. 大人の学習の動機づけについて説明ができるようになる。
3. 自分の考えや知識を適切に伝えることができるようになる。
4. メンタリングの基本について説明ができるようになる。

講師

仲道雅輝、大竹奈津子(愛媛大学教育企画室)
吉田博(徳島大学大学開放実践センター)
山内一祥(佐賀大学高等教育開発センター)

日時

9月22日(土)～23日(日)

場所

愛大ミュージム1階アクティブラーニングスペース2

受講定員

30名

主催

愛媛大学教育学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

メッセ

要問い合わせ

申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
E-mail: info@iec.ehime-u.ac.jp

内容

1日目

1. オリエンテーション
 - ・研修の目的・目標の確認
 - ・スタッフの紹介とお願い
2. アイスブレイキング
 - ・自己紹介
 - ・グループワーク
3. グループワークⅠ
4. 講義Ⅰ
 - 「学びを促す授業と学びを妨げる授業」
 - 「セミナーの作り方」
 - ・教え方の基本
5. グループワークⅡ
 - 「授業開発Ⅰ」
 - ・目標設定
 - ・授業プラン作成
6. 講義Ⅱ
 - 「成人学習論」
 - ・動機づけ
7. 講義Ⅲ
 - 「メンタリングの基本」
 - ・メンタリングの基礎知識
 - ・メンタリングのコツ
8. グループワークⅢ
 - 「授業開発Ⅱ」
 - ・授業プラン作成
9. グループワークⅣ
 - 「授業開発Ⅲ」
 - ・授業プラン作成
10. グループワークⅤ
 - 「授業開発Ⅳ」
 - ・授業プラン作成

2日目

11. 講義Ⅲ
 - 「効果的なプレゼンテーション方法」
 - ・論理的に話すコツ
 - ・魅せるプレゼンの方法
12. グループワークⅥ
 - 「授業開発Ⅴ」
 - ・授業プラン作成
13. グループ発表
 - 「授業プランのプレゼン」
 - ・授業プラン紹介
 - ・他グループからのコメント
 - ・討議・検討
14. 閉会式・振り返り

※宿泊研修です。
※二日間通しの参加となります。一日だけの参加はできません。
※内容については、参加者の方のニーズにより変更することがあります。

▶参加者の声

- 研究発表の時、授業の時など、私生活でも、フレームを持って人に伝えるべきことを正確に伝える必要があるときに有効な知識やスキルが学べた。
- 教える仕事に関する不安が少し解消され、どう指導すればいいか、考えるのが楽しみになりました。
- 同じ院生同士で、なおかつ分野や大学の異なる方との交流ができたので、貴重だと思うし、本当に楽しく取り組むことができた。
- 授業プランを提出し、その後何度も改善点を指摘していただき、ありがとうございました。その視点で見ることによって、はじめて自分たちが満足できるプラン作りができたと思います。初心者である自分たちを導いてくれて感謝しています。
- 内容が実践的だった。
- サークルの後輩がよく自分のところへ相談に来るのでメンタリングはすぐに実践できると思った。



プログラム番号 Y-011

New!!

ファシリテーション力養成道場

プレFD

*主な対象

話し合いの質を高めたい学部生・院生、実際の授業でファシリテーターを経験したい学生

*対象校

SPOD全加盟校

*目標

1. ファシリテーターらしい言動について自分の言葉で説明できる。
2. 話し合いのコンテンツとプロセスを区別できる。
3. 話し合いの場のデザインのポイントを挙げられる。
4. 意識的に傾聴と質問ができる。
5. 話し合いの時にボードの横に立つことができる。
6. ファシリテーションについてさらに勉強しようと思える。

*講師

俣野秀典・塩崎俊彦・立川明
(高知大学総合教育センター)

*日時

2月12日(火)～13日(水)
10:00～17:00

*場所

高知大学共通教育棟3号館1階
310教室

*受講定員

40名

*主催

高知大学コラボレーション・サポート・パーク

*大切

要問い合わせ

*申込先・問合せ先

高知大学学務部学務課
E-mail: y-spod@
kochi-u.ac.jp

本プログラムは、ファシリテーションの考え方を知り、必要最低限の知識・技術を習得することにより、話し合いのファシリテーションを実践できるようになることを目的に開催されます。

ミニレクチャーとワークを交互に織り交ぜながら進めますので、参加者全員がファシリテーションを体感することができます。

内容

1日目

1. オープニング：趣旨の理解／アイスブレイク
2. FT（ファシリテーション）の考え方と基本を身につける I
3. FTの考え方と基本を身につける II
4. グループプロセスを観察する

2日目

1. アイスブレイク～模造紙にイロイロ書いてみよう
2. FG（ファシリテーション・グラフィック）の基本を身につける
3. FGのための図解の方法と板面の使い方
4. 総合演習

▶参考資料

畠中智子(2008)『つばやきの育て方』南の風社

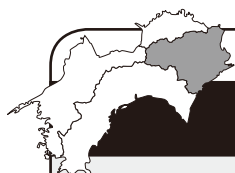
▶参加者の声

- 難しい内容かと思って構えていましたが、2日とも楽しく仲良く過ごせました。
- 学んだことをすぐに体験しながら行うスタイルが良かったです。
- 何よりも楽しい要素が多かった。かつ、悩めた。
- いままでの話し合いの方法と全く違う方法で、うまく話し合いができるということを知った。
- 基礎的なことを学べたことは非常に満足ですが、これからの努力がもっと必要だと感じました。





総合プログラム



プログラム番号 T-007

大学教育カンファレンスin徳島

FD/SD

主な対象

教職員、学生、一般市民

対象校

SPOD 全加盟校

目標

特色ある授業実践・授業改善例やFD・SDの実践例を発表し、自身または、自機関での教育改善に生かすための情報を共有する。

発表者

教職員、学生

日時

12～1月中旬

場所

徳島大学 大学開放実践センター 1階講義室等

受講定員

特になし

主催

徳島大学 大学教育委員会・FD専門委員会

切

要問い合わせ

申込先・問合せ

徳島大学大学開放実践センター
E-mail: t-spod@cue.
tokushima-u.ac.jp

内容

- ・特色ある授業実践例や授業改善例の発表と意見交換
- ・FD・SD実践例の発表と意見交換
- ・ワークショップによる模擬授業
- ・ラウンドテーブルによる課題の共有と意見交換
- ・教育・FD・SDに関する特別講演

○開催概要

- ・1年間の教育活動を総括する場で、四国の高等教育機関で行なわれている教育実践の先駆的な取り組みを共有し、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認することを目的に開催する。
- ・各プログラムでは、各大学・部局における特色ある授業実践例や授業改善例などの報告・討議が行われ、その場で担当者と質疑応答ができ、より詳しい情報収集をすることができる。
- ・発表の形式には、「口頭発表」「ポスター発表」「ワークショップ」および「ラウンドテーブル」がある。2011年度も各学部及び、徳島県内の高等教育機関から発表があり、口頭発表は24件、ポスター発表は18件、ワークショップ1件、ラウンドテーブル2件であった。そのなかで徳島大学外からの発表が4件あり、ラウンドテーブルⅡでは、学外からの3名を含めた話題提供があった。また、「学士課程カリキュラムの開発への視点」と題した特別講演が行われた。このように、1日を通してさまざまな形態のプログラムが実施され、高等教育に関する情報交換が行われる。

○研究発表について（2012年度）

- ・発表者は、常勤・非常勤を問わず、SPOD加盟校の教職員・学生・院生から募集する。
- ・発表内容：全学共通(教養)教育、学部専門教育、大学院教育、公開講座等の授業に関わるもの、また、職員や学生の能力開発に関わるものであること。教育改善・授業改善や、職能開発に関する実践報告にとどまらず、実践成果の評価の分析、および考察を含む発表を歓迎する。

▶準備物

特になし。当日、発表抄録の配布あり。



【研修風景】(特別講演&ワークショップ:平成23年度大学教育カンファレンスin徳島より)

▶参加者の声 (平成23年度大学教育カンファレンスin徳島より)

- カリキュラム開発に関する特別公演が非常に理論的・体系的な話でよく理解できた。
- 他大学の取り組みを知ることができた。
- 個々の取り組み、技能がただちに自分に当てはまるとは言えないが、各先生・学生さんの熱意を感じ大変刺激になりました。
- 授業の工夫(ラウンドテーブルⅡ)はいろいろなアイデアがあって自分もいろいろ考える余地がある。

プログラム番号 I-033

愛媛大学教育改革シンポジウム

FD/SD

*主な対象

愛媛大学の教育内容・方法の改善について興味を持っている教職員、学生等

*対象校

SPOD 全加盟校

*目標

ポスターセッションでの質疑応答や講演の傍聴を通じ、現在、愛媛大学で進めている教育内容・方法の改善に関する取組について理解を深める。

*講師

愛媛大学教員（愛大GP取組担当者）

*日時

1～3月中

*場所

愛媛大学城北キャンパス

*受講定員

特になし。入場自由。

*主催

愛媛大学教育改革諮問委員会

*メー

要問い合わせ

*申込先・問合先

愛媛大学教育企画課

E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp

内容

愛媛大学では、平成18年度から、学内での優れた教育取組に支援を行う「教育改革促進事業」（愛媛大学GP）を行っており、採択取組の進捗状況と成果について情報発信することを目的に、毎年「教育改革シンポジウム」を開催しています。主に、採択取組のポスターセッションと講演を中心に行っており、特にポスターセッションでは、その場での質疑応答を通じて、取組担当者の生の声をきくことができます。



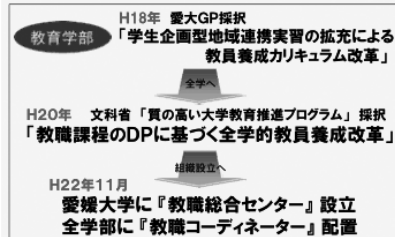
▶参考：愛媛大学GPとは

愛媛大学における優れた教育改革の取組を取り上げ、教育経費の重点配分を行い、教育の高度化・活性化を図る事業。学士課程及び大学院課程における組織基盤的な教育改革プログラムや組織横断的な教員グループによる創生的な教育開発プロジェクトを学内から公募。事業期間は2年間で、毎年12件程度の取組を採択。採択された取組の中には、さらに内容を発展させ、文部科学省のGPに応募、採択された例もある。

▶参考資料

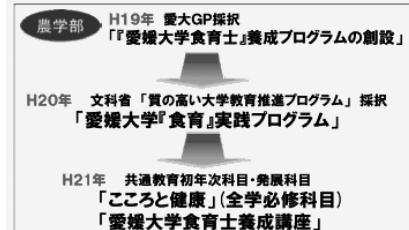
愛媛大学教育改革促進事業とは？

採択取組からの全学展開の事例1



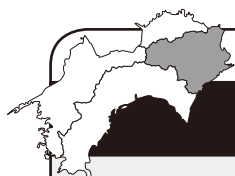
愛媛大学教育改革促進事業とは？

採択取組からの全学展開の事例2



▶受講者の声

- 学内の取り組みで知らないこともあり、興味深く聞けました。
- 同様の取り組みを考え、実施していることの参考になるものが多かった。
- 他の取り組みを知ることで、自身の学部での取り組みに活かすことができる。



SPOD フォーラム 2012

FD/SD

*主な対象

教育改善に関心のある教職員

*対象校

SPOD 全加盟校

*日時

8月22日(水)～24日(金)

*場所

徳島大学共通教育4号館など

*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD), 教職員能力開発拠点

*問い合わせ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局 (愛媛大学教育学生支援部教育企画課)
 TEL 089-927-9154
 E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp

SPODフォーラムは…

大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラム、ならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

【SPODフォーラムの特徴】

特徴1. 多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップリーダー、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえます。

特徴2. 職場で使える実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムを数多く開講します。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴3. SDプログラムも多数開講

SPODでは、FD同様にSD(職員の能力開発)に力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講します。

【SPOD フォーラム2012の特徴】

特徴1. 統一テーマ:「学生に深い学びをもたらすために」を設定

SPODフォーラム全体の統一テーマを設定し、すべてのプログラムに統一感を持たせた。特にシンポジウムでは、学生に深い学びをもたらすためにアクティブラーニングを取り上げ、研究、実践の面から学生の深い学びについて考えていきます。

特徴2. 専門分野別、高等専門学校対象プログラムの実施

専門分野別ラウンドテーブルや高等専門学校を対象にしたプログラム等、幅広いニーズに対応したプログラム構成となっております。

特徴3. SPOD - SDプログラムの実施

昨年より引き続き、多種多様で実践的なSDプログラムを実施する予定です。SPOD - SDプログラムに興味のある方は是非ご参加ください。

特徴4. 学生、大学院生対象のワークショップの拡大

これまで実施してきた機関ごとのチーム制によるプログラムから、幅広い機関からの参加が可能となるよう、学生個人での参加を受け付けます。さまざまな学生が情報交換、交流を中心にしてワークを行います。

最新情報は、WEBで随時更新していきますので、ご確認ください(昨年同様、WEB上のみでの申込みを予定)

<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>





学内向け研修プログラム

学内向け研修プログラム

徳島大学

大学開放実践センター TEL : 088-656-9865 FAX : 088-656-9865
E-mail : t-spod@cue.tokushima-u.ac.jp 担当者 / 吉田

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
授業コンサルティング・授業研究会	「教育力開発基礎プログラム」受講者+希望者	随時	大学開放実践センターの教員が中心となり授業改善のためのコンサルティングを行う。方法としては、授業参観(ビデオ録画・学生アンケートを含む)を行い、それらのデータをもとに授業記録を作成し、授業研究会を行う。学部FD委員会と共催で開催する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

香川大学

教育・学生支援室修学支援グループ TEL : 087-832-1152 FAX : 087-832-1155
E-mail : sokyoyot@jim.ao.kagawa-u.ac.jp 担当者 / 川畑

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教員研修会	新規採用者(全学教員)	4月23日月	本学の新任教員を対象に、国立大学法人を取り巻く諸情勢と本学の今後の課題及び大学教育等について、理解を深めることを目的とする。
全学共通教育の平成25年度実施に向けた研修会	全教員(特に平成25年度全学共通教育担当予定の教員)	12月11日(火)	全学共通科目担当にあたって、第1部では全学共通教育における現状と課題を把握し、現在取り組んでいる事業及び事務的な手続について知る。第2部では、各分科会に分かれ、授業改善に関する具体的な事例紹介と設定したテーマについての意見交換を行い、全学共通教育に関する理解を深める。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

愛媛大学

教育・学生支援機構 教育企画室 TEL : 089-927-8922 FAX : 089-927-8922
E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp 担当者 / 大竹

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月4日～5日	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
放送大学研修	事務系・技術系職員	第1学期:4月上旬～ 第2学期:10月上旬～	放送大学の授業受講を通じて職務遂行に必要な知識を修得させ、その資質の向上を図ることを目的とする。
有期契約職員研修	有期契約職員(事務系)	4月下旬	新たに採用になった有期契約職員(事務系)に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
英語研修	教職員、有期契約職員	前期:5月上旬～ 後期:11月上旬～	職員の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。
会計系実務研修	事務系職員(主に会計系以外)	7月下旬	大学改革の推進等により、大学の会計系事務も複雑多岐にわたることから、会計系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務系職員に会計系事務の必要な知識を修得させるとともに、事務系職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とし、職員相互の意識及び資質の向上を図る。
IT研修	事務系職員、有期契約職員	8月下旬	本学の事務系職員に、情報セキュリティ、応用ソフトウェア関係の研修を実施することにより、パソコン利用に必要な知識・技術を修得させ、事務情報化推進の一助とする。
総務系実務研修	事務系職員(主に総務系以外)	9月上旬	大学改革の推進等により、大学の総務系事務も複雑多岐にわたることから、総務系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務系職員に総務系事務の必要な知識を修得させるとともに、事務系職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とし、職員相互の意識及び資質の向上を図る。
研究支援・社会連携系実務研修	事務系職員(主に研究支援・社会連携系以外)	10月上旬	大学改革の推進等により、大学の研究支援・社会連携系事務も複雑多岐にわたることから、研究支援・社会連携系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務系職員に研究支援・社会連携系事務の必要な知識を修得させるとともに、事務系職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とし、職員相互の意識及び資質の向上を図る。
教育学学生支援実務研修	事務系職員(主に学務系以外)	12月上旬	大学改革の推進等により、大学の学務系事務も複雑多岐にわたることから、学務系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務系職員に学務系事務の必要な知識を修得させるとともに、事務系職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とし、職員相互の意識及び資質の向上を図る。

愛媛大学 TA・SA 研修会	TA・SAを活用する教員及び新TA・SA採用予定者	4月6日(金)	TA・SAの心構えや業務に就く際の注意事項を学び、わかりやすく教える技術を習得することを目的とする
教育コーディネーター研修会	各学部の教育コーディネーター	年4回程度	教育コーディネーター間意思疎通を図り、教育改革の方向性について共通認識を持つことを目的としている。研修会テーマは毎回、全学的かつ重要な教育課題となるものを採りあげている。
マネジメント研修	学部長、学科長等	未定	学部長、学科長クラスを対象としてマネジメントについての研修を実施する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

高知大学 学務部学務課 TEL:088-844-8652・8140 FAX:088-844-8367 E-mail:y-spod@kochi-u.ac.jp 担当者/有澤			
研修名	対象者	開催時期	目的・内容
全学新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月6日(金)	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
新任職員研修	新規採用者(一般職員、施設系技術職員含む)	4月24日(火)～26日(木)	新たに採用となった事務職員に対し、本学の理念・目標など大学運営の基礎となる事項について理解させるとともに、新規採用職員として業務遂行に必要な基本的知識を習得させる。
学務系初任者研修	学務部(学務経験者を除く)に新たに勤務することになった職員	5月	学務をめぐる諸課題と学務部業務全般に関わる基礎的知識を習得させることを目的とする。
法人会計職員研修	会計事務に関わる職員ほか	8月下旬	国立大学法人会計基準及び高知大学の会計規則等に関する知識を深め、会計事務に係る理解と実務への応用力を身につける。
TA基礎講習	新TA採用予定者	9月3日	業務に対する心構えや基本的な注意事項について学び、授業サポートの充実とTA資質の向上を目的とする。
放送大学研修	附属学校教員、看護師等医療職員、事務職員(技術職員含む)	第1学期 4月上旬～ 第2学期 10月上旬～	本学職員に対し、自己啓発意欲の高揚と能力開発のために、放送大学の授業科目を受講して自己研鑽を行う機会を与えることにより、大学職員としての資質の向上を図る。
英会話研修(初級・中級)	窓口業務など職務上英会話が必要とする者及び英会話能力を向上させたい者	(初級) 5月17日(木)～ 7月26日(木) (中級) 11月～1月	事務職員に対し、大学の国際化に対応するため、英会話能力を身につけさせ、国際交流の推進役として“国際感覚のある職員を育成”することを目的とする。
事務職員研修報告会	全事務職員	各部(課)主催 随時 全学主催 12月	事務職員を対象に、研修受講者の発表能力(プレゼンテーション)の向上、受講しなかった者への情報提供等を目的とする。
学務系実務研修	学務部職員	年度内数回	学務関係の学外研修において得た情報や最新の学務をめぐる情報などの共有を図るとともに、講師となった学務部職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とする。
研究協力部SD研修会	研究協力部職員	年度内数回	研究協力部職員の幅広い知識を習得するとともに職員の連携を図ることを目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

鳴門教育大学 経営企画本部 人事課 人事労務チーム TEL:088-687-6265 FAX:088-687-6072 E-mail:jijin@naruto-u.ac.jp 担当者/林			
研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任職員研修	新規採用者(教職員)	4月上旬	新任職員に対し、本学の中期目標・中期計画を基に本学が達成すべき諸課題等について研修を行い、本学の職員として必要な基礎知識を養うことを目的とする。
放送大学研修	事務系職員	第1学期: 4月上旬～ 第2学期: 10月上旬～	長期的な視点から業務への活用効果も考慮に入れた上で、選択した放送大学の授業科目を本学の事務系職員に履修させることにより、職務遂行に必要な幅広い知識を身に付けさせ、職員としての資質の向上を図ることを目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

四国大学・四国大学短期大学部

学部運営支援課 TEL: 088-665-9909 FAX: 088-665-9958
E-mail: gakuji@shikoku-u.ac.jp 担当者/石田

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新規採用教職員研修	新規採用者 (教職員)	4月上旬	本学教職員としての心構え並びに勤務にあたってこれからの教育や職務に対する必要な知識等を習得することを目的とする。
ポートフォリオ研修会	全教職員	4月・9月・ 2月	ポートフォリオシステムの更なる周知、徹底を図り、利用促進に繋げることを目的に実施する。
就業力育成セミナー	全教職員	8月	学生への「就業力育成」に関する意識の向上やノウハウを学ぶことを目的に実施する。
パソコン研修	教職員	8月・9月	情報セキュリティ対策の研修、ワード、エクセル等の練習問題に取り組みながら様々なテクニックを確認し、事務処理能力を向上していくことを目的とする。
大学事務運営懇話会	職員	9月	事務を本務とする職員が自らの研修と情報交換を行うことで、大学職員としての資質向上を図ることを目的とする。
人権啓発問題研修会	教職員	9月中旬	人権尊重の徹底と人権啓発の充実及び人権への意識を高めることを目的とする。
キャリア相談研修会	全教職員	9月・2月	学生のキャリア相談に応じる力量を向上させることを目的に実施する。
ハラスメント研修会	教職員	2月	セクハラ、アカハラ、パワハラについての認識を深めるとともに、修学、教育研究、就労上のすべてのハラスメントの防止及び排除することを目的とする。
教育問題懇話会	教職員	未定	これからの教育諸問題に対する適切な対応や指導の在り方についてお互いに意見交換を行い、解決策を探っていく。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

教育・研究支援グループ TEL: 088-602-8670 FAX: 088-602-8781
E-mail: kyokeng@tokushima.bunri-u.ac.jp 担当者/新見

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修会	新任教職員	4月4日(水)	新任教職員に対し、本学の教職員としての使命と心構えについて自覚させるとともに、服務及び学務について理解させ、業務遂行に必要な基礎知識と能力等を要請することを目的とする。
研究授業	全教員	前期及び後期	授業改善を目的とし、教員相互の授業参観を実施する。
防災研修	全教職員	12月初旬	火災・地震・津波に対応する知識、役割等の研修を通して災害時の対応の仕方を身につけることを目的とする。
セクシャルハラスメント防止研修会	全教職員	2月中旬	セクシャルハラスメント防止の講演会を開催する。
学内人権教育研修会	全教職員	2月中旬	人権教育の視点から、講演会を開催する。
AED(自動体外式除細動器)講習会	全教職員	2月下旬	救急体制強化のための講演会を開催する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

高松大学・高松短期大学

総務部企画課 TEL: 087-841-2164 FAX: 087-841-3064
E-mail: kikaku@takamatsu-u.ac.jp 担当者/高橋

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者 (教職員)	4月2日	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
FD研修会	専任教員, 非常勤講師	9月中旬, 2月中旬	全教員を対象に、本学における教育の現状と課題について理解を深め、具体的な対策を講じることを目的に、年2回実施する。
研究授業	専任教員, 非常勤講師	6月, 12月	授業の改善のために、各学部、学科で年2回研究授業を実施する。授業後には検討会を行い、互いの授業改善に活かすことを目的とする。
SD研修会	専任職員	8月上旬, 1月上旬	活気のある事務局づくりを目指し、大学職員としての意識、知識、資質向上を目的に、年2回実施する。
放送大学研修	専任職員	第1学期: 4月上旬~ 第2学期: 10月上旬~	放送大学の科目を履修することで、職員の資質向上及び自己啓発を目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部

学生部教務課 TEL: 089-993-1082 FAX: 089-993-0900
E-mail: kyoumuka@catherine.ac.jp 担当者/矢野

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教員研修	新規採用者(教員)	4月3日(火)	新たに採用になった教員に対して、本学教員としての使命と心構えを自覚させるとともに、本学の建学の精神、教育理念、業務遂行に必要な基礎知識を養成することを目的とする。
F D 研修会	専任教員	3月	全専任教員を対象に、授業・教授法の改善、カリキュラム改善、組織の整備・改善等、更なる教育力向上を図ることを目的として実施する。
事務職員研修会	事務職員	8月 12月 3月	時宜に応じたテーマの選定により、事務職員として必要な知識、情報、技術の習得を図る。また、学外研修において得た知識や情報の報告を行うことにより、その共有化を図るとともに、報告者のプレゼンテーション能力の向上を図る。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

TEL: 089-931-6211 FAX: 089-934-9055
E-mail: tokunaga@shinonome.ac.jp 担当者/徳永

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月2日(月)	新任教職員に対し、本学の建学の精神、学園の沿革および教育体制等について理解を深める。
学園創立記念教職員研修会	教職員	9月14日(金)	学園創立記念日(9月16日)にあわせ、建学の精神の浸透ならびに教育目的達成のために研修会を実施する。
S D 研修会	事務職員	3月	事務職員の能力向上を目的とする。
スタッフ・ポートフォリオ入門 一職員と大学が共に輝くために	事務職員	8月10日(金)	<p><目標> 1. スタッフ・ポートフォリオとは何かを説明することができる。 2. スタッフ・ポートフォリオの有益性を人事マネジメントの面から説明することができる。 3. スタッフ・ポートフォリオの有益性を職員個人の面から説明することができる。 4. スタッフ・ポートフォリオ作成の際に重要なポイントを説明することができる。</p> <p><内容> スタッフ・ポートフォリオとは、職員自らがキャリア形成を圖れ、組織としてはこれにより職員一人ひとりの可能性や潜在能力を知ることができるツールのことです。本プログラムでは、スタッフ・ポートフォリオの詳しい定義やその有益性を説明した後に、SPOD-SDでの活用例及び愛媛大学での導入例や実際にスタッフ・ポートフォリオを作成した職員の声を聞き、実践例を示します。スタッフ・ポートフォリオは大学や大学職員人事マネジメントにどのような影響や効果を与えるのでしょうか。また、職員個人にどのような影響や効果があるのでしょうか。さらには、スタッフ・ポートフォリオは簡単に作成することができるのでしょうか。作成する際に重要なことは何でしょうか。このような疑問を一つずつ解決できるようなプログラムとなっています。</p>

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

環太平洋大学短期大学部

総務課 TEL: 0895-22-0274 FAX: 0895-22-0274
E-mail: fujita@aitan.ac.jp 担当者/藤田

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月初旬	新任教職員に対し、本学の建学の精神、学園の沿革および教育体制等について理解を深める。
FD研修「教育の質保証とは何か-スタンダード設定からアセスメントまで-」	教員	9月上旬	事例分析やワークを踏まえて、望ましい学習成果測定の手法や活用方法を習得することにより、教員の資質向上を図ることを目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

今治明德短期大学

TEL: 0898-22-7279 FAX: 0898-22-7857
E-mail: smori@meitan.ac.jp 担当者/原

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
ピアレビュー	希望する教員	5月、10月	授業観察と意見交換により、担当者と観察者の双方の授業力の向上を図る。学生に「学ぶ側から良い授業作りに参加する」意識が高まることも期待される。
新任職員研修(FD/SD)	新任教職員	4月4日(水)	<p>I. 本学の設置目的に沿ってその職能を十分に発揮できるよう、着任にあたって次の項目について理解を深める FD/SD: 本学の建学の精神と沿革、中長期計画、学則等の諸規程、服務規程と勤務要領、校務分掌、年間行事予定等 FD: 教育目的と教育課程、カリキュラム構造、学科業務、教育倫理、等 II. 大学教職員としてのICT入門講座(1) SD: 学内の円滑な職務連携を図るため、本学サーバ・イントラネットの基本情報と操作スキルを修得する。</p>
大学教職員としてのICT入門講座(2)(SD)	希望する教職員	8月か9月	職務の円滑な遂行のために必要なパソコン操作のスキルを修得する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

阿南工業高等専門学校

総務課 TEL: 0884-23-7212 FAX: 0884-22-5424
E-mail: s-hosasoumu@anan-nct.ac.jp 担当者/吉本

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
夏季教員研修会	全教員	9月下旬	年に2回、時機にあったテーマを決めて、講演、分科会、ワークショップ等を実施し、教員の資質向上と円滑な学校運営を図ることを目的とする。
冬季教員研修会	全教員	11月下旬	

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

香川高等専門学校

総務課 TEL: 087-869-3864 FAX: 087-869-3819
E-mail: s_hosa@t.kagawa-nct.ac.jp 担当者/笹嶋

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教員研修	新任教員	4月・6月・10月	本校の新任教員に対して、教員としての心構えを自覚させるとともに、学校運営上必要な基礎知識の修得及び資質の向上を図ることを目的とする。
FD・SD研修会	全教職員	7月24日(火)	本校の課題とその対策を討議することにより、全教職員がそれらを共有する機会とすることを目的とする。
教育実践事例報告会	全教職員	12月	学生の教育意欲を増進させる教育実践事例や創意工夫などFDに寄与する事項を公開することにより、教職員のFDに対する意識高揚を目的とする。
高専生を元気にする学生指導法のコツ	全教員	8月頃	<p>目標：高専の教育現場で起きている事例について、学生の人間関係の悩み、保護者との連携、教員間の協同など広範な学生サポート力を獲得する。</p> <p>内容：1. サポートを必要としている学生の存在を認識する。 2. 学生サポートが必要な事例について、シチュエーション毎にあげることができる。 3. 同事例への具体的で効果的であると思われる対応について、説明することができる。 4. 学校としての学生サポートのあり方について、意見を述べるができる。 5. 学生サポートについて助言しあえる関係をつくる。</p> <p>講師：坪井泰士（阿南工業高等専門学校）</p>

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

新居浜工業高等専門学校

学生課教務係 TEL: 0897-37-7724 FAX: 0897-37-7844
E-mail: kyoumu-c@off.niihama-nct.ac.jp 担当者/井上、高倉

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
高専生を元気にする学生指導法のコツ	教員	6月中旬	<p>目標：高専の教育現場で起きている事例について、学生の人間関係の悩み、保護者との連携、教員間の協同など広範な学生サポート力を獲得する。</p> <p>内容：1. サポートを必要としている学生の存在を認識する。 2. 学生サポートが必要な事例について、シチュエーション毎にあげることができる。 3. 同事例への具体的で効果的であると思われる対応について、説明することができる。 4. 学校としての学生サポートのあり方について、意見を述べるができる。 5. 学生サポートについて助言しあえる関係をつくる。</p> <p>講師：坪井泰士（阿南工業高等専門学校）</p>

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

弓削商船高等専門学校

学生課教務係 TEL: 0897-77-4620 FAX: 0897-77-4693
E-mail: kyoumu@yuge.ac.jp 担当者/衣川、羽藤

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月1日	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
ティーチング・ポートフォリオ入門-教育実践のリフレクション-	教員	6月15日	ティーチング・ポートフォリオ入門について、FD活動の一環として教育活動の改善に結びつけることを目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

高知工業高等専門学校

総務課 TEL: 088-864-5601 FAX: 088-864-5606
E-mail: s-hosa@jm.kochi-ct.ac.jp 担当者/三宮

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月上旬	新たに採用になった教職員に対し、本校教職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
放送大学研修	教職員	1学期・2学期	放送大学高知地域学習センターの協力のもとに、職務遂行に必要な幅広い知識及び視野、基本的な社会知識を習得させ、教職員の資質の向上を図ることを目的とする。
セクハラ防止講習会	教職員	12月上旬	職場におけるセクシュアル・ハラスメント防止に対する正しい理解と学生に接する際に留意すべきことについてのさらなる認識を高めることを目的とする。
心身の健康管理に関する講習会	教職員	12月上旬	教職員の心身の健康管理について毎回テーマを絞り、正しい理解と対処方法についての知識を高めることを目的とする。
救命救急講習会	教職員	年2回実施	心肺蘇生法とAEDの使い方を学び、迅速かつ適切に応急処置を行うことができるようにすることを目的とする。 この講習会は、南国市消防本部の協力により、救急隊員による講習及び実習を実施する。
新任教員FD研修	教職員	通年	通年にわたり、指導教員との相互授業参観や指導教員からの授業方法等に関するアドバイス等を受けることで、授業力や教育力を向上させ、学生によりよい授業が提供できる教員育成を目的とする。
FD研修会	教職員	未定	テーマを絞った教育改善のための研修会を実施する。 (例) PBLとは? 楽しい授業とは?
教員の相互授業参観	教職員	7月中旬～9月中旬	教員が相互に授業を参観し、授業改善への意識の向上を図るとともに、学生が授業に取り組む姿勢を見学して授業改善の必要性を感じてもらうことを目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。



各種研修プログラムの
お申し込み・お問い合わせ
について

■お申し込み・お問い合わせ先一覧■

徳島大学 〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町1-1

徳島大学 大学開放実践センター (担当/吉田)

TEL : 088-656-9865 FAX : 088-656-9865 E-mail : t-spod@cue.tokushima-u.ac.jp
ホームページ <http://www.tokushima-u.ac.jp/>

鳴門教育大学 〒772-0051 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748

鳴門教育大学 経営企画本部人事課人事労務チーム (担当/林)

TEL : 088-687-6265 FAX : 088-687-6072 E-mail : jinji@naruto-u.ac.jp
ホームページ <http://www.naruto-u.ac.jp/>

香川大学 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

香川大学 教育・学生支援室修学支援グループ (担当/野口)

TEL : 087-832-1153 FAX : 087-832-1155 E-mail : gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
ホームページ <http://www.kagawa-u.ac.jp/>

愛媛大学 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

【FDプログラム】愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 (担当/大竹)

TEL : 089-927-8922 FAX : 089-927-8922 E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp

【SDプログラム】愛媛大学 総務部人事課 (担当/上甲, 神谷)

TEL : 089-927-9047 FAX : 089-927-9027 E-mail : jinshoku@stu.ehime-u.ac.jp
ホームページ <http://www.ehime-u.ac.jp/>

高知大学 〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5-1

【FDプログラム】高知大学 学務部学務課 (担当/井上)

TEL : 088-844-8652 FAX : 088-844-8367 E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

【SDプログラム】高知大学 総務部人事課SD担当 (担当/中澤)

TEL : 088-844-8140 FAX : 088-844-8367 E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp
ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

香川県立保健医療大学 〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281番地1

香川県立保健医療大学 (担当/吉本・間嶋)

TEL : 087-870-1212 FAX : 087-870-1212 E-mail : hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/daigaku/>

愛媛県立医療技術大学 〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地

愛媛県立医療技術大学 経営企画グループ (担当/芝)

TEL : 089-958-2111 FAX : 089-958-2177 E-mail : shiba-nobuhiko@epu.ac.jp
ホームページ <http://www.epu.ac.jp/>

高知県立大学・高知短期大学 〒781-8515 高知県高知市池2751-1

高知県公立大学法人 法人経営室 (担当/黒原, 福島)

TEL : 088-847-8574 FAX : 088-847-8670 E-mail : houjin@cc.u-kochi.ac.jp
ホームページ <http://www.u-kochi.ac.jp/>

高知工科大学 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

高知工科大学人事部 (担当/伊勢, 古谷)

TEL : 0887-53-1112 FAX : 0887-57-2000 E-mail : personnel@ml.kochi-tech.ac.jp
ホームページ <http://www.kochi-tech.ac.jp/>

四国大学・四国大学短期大学部 〒771-1192 徳島市応神町古川

四国大学教育・学生支援部学部運営支援課 (担当/石田)

TEL : 088-665-9909 FAX : 088-665-9958 E-mail : gakuji@shikoku-u.ac.jp
ホームページ <http://www.shikoku-u.ac.jp/>

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 〒770-8514 徳島市山城町西浜傍180

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 教育・研究支援グループ (担当/新見)

TEL : 088-602-8670 FAX : 088-602-8781 E-mail : kyokeng@tokushima.bunri-u.ac.jp
ホームページ <http://www.bunri-u.ac.jp/>

高松大学・高松短期大学 〒761-0194 香川県高松市春日町960番地

高松大学・高松短期大学 総務部企画課 (担当/金田)

TEL : 087-841-2164 FAX : 087-841-3064 E-mail : kikaku@takamatsu-u.ac.jp
ホームページ <http://www.takamatsu-u.ac.jp>

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部 〒799-2496 愛媛県松山市北条660

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部 学生部教務課 (担当/矢野)

TEL : 089-993-1082 FAX : 089-993-0900 E-mail : kyoumuka@catherine.ac.jp
ホームページ <http://www.catherine.ac.jp/>

徳島工業短期大学 〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏蓮花谷100番地

徳島工業短期大学 事務局 (担当/筒井)

TEL : 088-672-2311 FAX : 088-672-2162 E-mail : k.tsutsui@tokuco.ac.jp
ホームページ <http://www.tokuco.ac.jp>

香川短期大学 〒769-0201 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地

香川短期大学 (担当/日野)

TEL : 0877-49-8049 FAX : 0877-49-5252 E-mail : hino@kjc.ac.jp
ホームページ <http://www.kjc.ac.jp/>

今治明德短期大学 〒794-0073 愛媛県今治市矢田甲688

今治明德短期大学 FD委員会 (担当/原)

TEL : 0898-22-7279 FAX : 0898-22-7857 E-mail : smori@meitan.ac.jp
ホームページ <http://www.meitan.ac.jp>

高知学園短期大学 〒780-0955 高知県高知市旭天神町292-26

高知学園短期大学教務課 (担当/佐竹)

TEL : 088-840-1121 FAX : 088-840-1123 E-mail : kyoumu@kochi-gc.ac.jp
ホームページ <http://www.kochi-gc.ac.jp>

阿南工業高等専門学校 〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

阿南工業高等専門学校 総務課 (担当/吉本)

TEL : 0884-23-7212 FAX : 0884-22-5424 E-mail : s-hosasoumu@anan-nct.ac.jp
ホームページ <http://www01.anan-nct.ac.jp/>

高知工業高等専門学校 〒783-8508 高知県南国市物部乙200-1

高知工業高等専門学校総務課 (担当/三宮)

TEL : 088-864-5601 FAX : 088-864-5606 E-mail : s-hosa@jm.kochi-ct.ac.jp

■お申し込み方法■

下記の内容を開催大学の申し込み先にメールで送付ください。

- ①氏名
- ②所属大学
- ③所属学部，所属部署など
- ④職種（教員，職員等）
- ⑤プログラム番号
- ⑥プログラム名

※遠隔配信プログラムをご希望の場合は，その旨も一緒にお知らせください。

各プログラムには，受講定員があります。そのため，申し込み受付は，先着順とさせていただきます。

SPODは，加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため，原則としてSPOD加盟校以外の教職員の皆様が研修プログラムを受講する場合には，研修料を徴収させていただきます。（研修料については下の表をご参照ください。）

区 分	2時間以下のプログラム	1日で終了するプログラム	1泊2日のプログラム	2泊3日以上プログラム	左記に関わらず外部委託する研修プログラムの研修料は，委託費の総額を受講定員で除した金額とする。
研修料	2,000円	3,000円	5,000円	7,000円	

【研修料に関するお問い合わせ先】

SPOD事務局（愛媛大学教育企画課）

TEL：089-927-9154 E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp

■ SPODホームページについて ■

SPODホームページでは、研修プログラムやSPODフォーラムの内容を随時更新し公表しています。また、これまでのSPODの取組についても掲載しておりますので、是非、ご参照ください。

The screenshot displays the SPOD homepage with the following elements:

- Header:** SPOD logo and name in Japanese and English: "SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education".
- Navigation:** TOP, SPODについて, 各種リンク, サイトマップ, and a search bar.
- Left Sidebar:**
 - イベント情報
 - SPODについて (設置目的, 規約, 取組内容, 関連情報, 加盟校一覧, 研修講師一覧)
 - 研修テキストを見る (FD ファカルティディベロップメント, SD スタッフディベロップメント)
 - 関連資料を見る (会議 協議会等, 調査・報告)
 - メルマガ登録
 - 各種様式
 - 加盟校専用 (要ID, PW)
- Main Content:**
 - 学生豊かな学びと成長を支援する 実践的の力量をもった 高等教育のプロフェッショナルの輩出 (Network member list: 33 schools)
 - SPODフォーラム2011 (Completed notice)
 - SPODシンポジウム2010 (Completed notice)
 - 4月のイベント情報:
 - 【愛媛/研修/FD】「学生の能力を高める評価法のコツ」を4月4日(水)に開催
 - 【愛媛/研修/FD・SD】「学習動機を高める第1回目の授業づくり」を4月4日(水)に開催
 - 【愛媛/研修/FD】教室の雰囲気を整えるクラスルームコントロール術を4月3日(火)に開催
 - 【愛媛/研修/FD・SD】学生を眠らせない講義法のコツを4月3日(火)に開催
 - 更新情報:
 - 【徳島/会議/FD・SD】平成23年度第3回T-SPOD会議(平成23年12月28日開催)
 - 【全体/会議/FD・SD】平成23年度第4回SPODネットワークコア運営協議会(平成23年8月22日(月)開催)
 - 【全体/シンポジウム/FD・SD】高等教育機関におけるマネジメント-危機管理と情報開示の意義-(平成23年8月25日(木)開催)
 - 【全体/シンポジウム/FD・SD】高等教育機関におけるマネジメント-危機管理と情報開示の意義-(平成23年8月25日(木)開催)
 - 【全体/研修/FD・SD】トッリーダーセミナー(平成23年8月25日(木)開催)
- Footer:** Contact information for the SPOD Secretariat (Ehime University) and copyright notice: Copyright (C) 2009 SPOD All Rights Reserved.

SPODホームページアドレス <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

研修プログラムガイド 2012

平成24年5月 発行

発行 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(事務局：愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

TEL/FAX 089-927-9154

E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

ホームページ <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)」は、
加盟校の共同事業として運営しています。

SPOD=Shikoku

Professional and
Organizational

Development Network in Higher Education

